

芦屋市の教育に関する現状データ

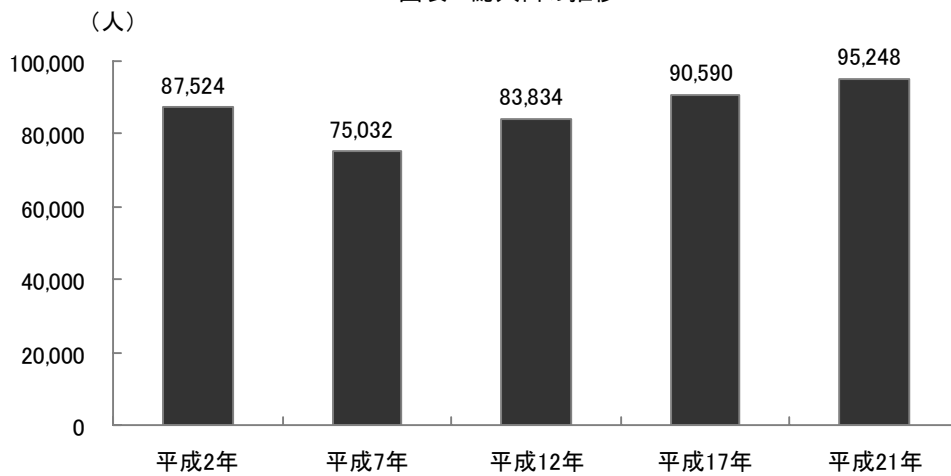
目 次

1 基本資料	1
(1) 芦屋市の人口等	2
(2) 人口の将来予測(暫定値)	4
(3) 市立学校園児・児童・生徒・学級数の年度別推移	6
(4) 保育サービスの提供状況	7
2 学校教育に関する資料	9
(1) 芦屋市子ども見守り巡回パトロール	10
(2) CAP講習会 実施結果(平成20年度)	12
(3) オープンスクール(学校公開) に係る実施状況調査(平成21年度)	13
(4) 学校評議員 組織一覧表(平成20年度)	15
(5) 学校評価結果(平成20年度)	17
(6) 市内公立校の進学状況	21
(7) 中学進学に関する意識調査	27
(8) 子ども読書の街づくり推進事業	33
(9) 全国学力・学習状況調査結果(平成21年度)	36
(10) 特別支援学級 障がい種別在籍数 年次別推移	45
(11) 幼稚園特別支援教育に係る加配教員等配置申請及び配置数	46
(12) 小・中学校不登校児童生徒の実数	47
(13) 適応教室通級(在籍)児童生徒の実数	47
(14) 日本語理解が不十分な児童生徒数の経年変化	48
(15) 環境体験事業	49
(16) 自然学校推進事業	51
(17) 定期健康診断結果	53
(18) 学校給食の状況	55
(19) 体力テスト結果	58
3 社会教育・家庭教育に関する資料	59
(1) 第2次芦屋市生涯学習推進基本構想 からみる社会教育の状況(抜粋)	60
(2) 芦屋川カレッジ, 芦屋川カレッジ大学院の状況	72
(3) 生涯学習に関する意識調査(抜粋)	73
(4) 総合計画策定のための市民アンケート調査(抜粋)	94
(5) 次世代育成支援対策推進行動計画 のためのアンケート調査(抜粋)	102

1 基本資料

(1) 芦屋市の人口等

図表 総人口の推移



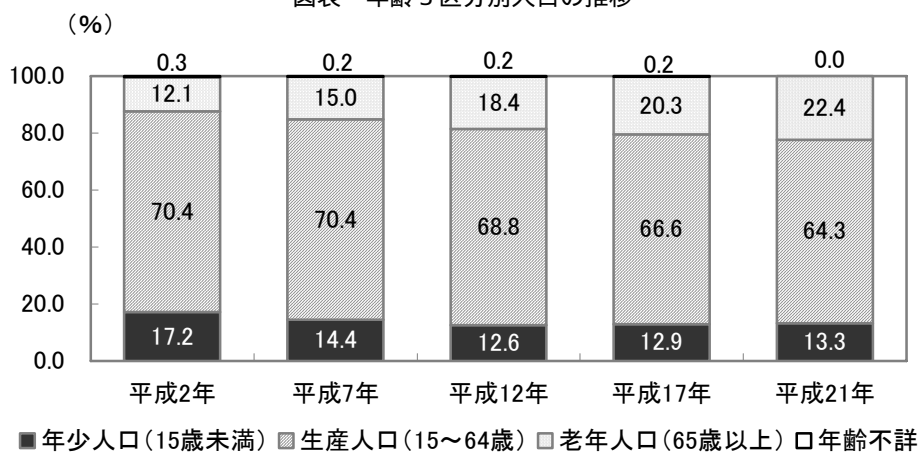
資料：平成2年～平成17年は国勢調査（各年10月1日現在）
平成21年は住民基本台帳及び外国人登録人口合計（10月1日現在）

図表 人口異動状況

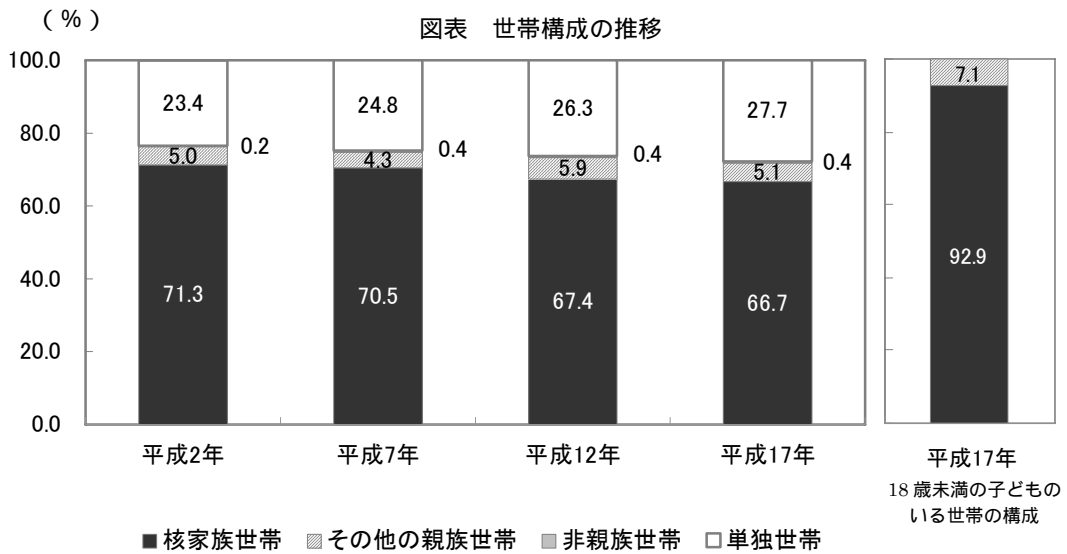
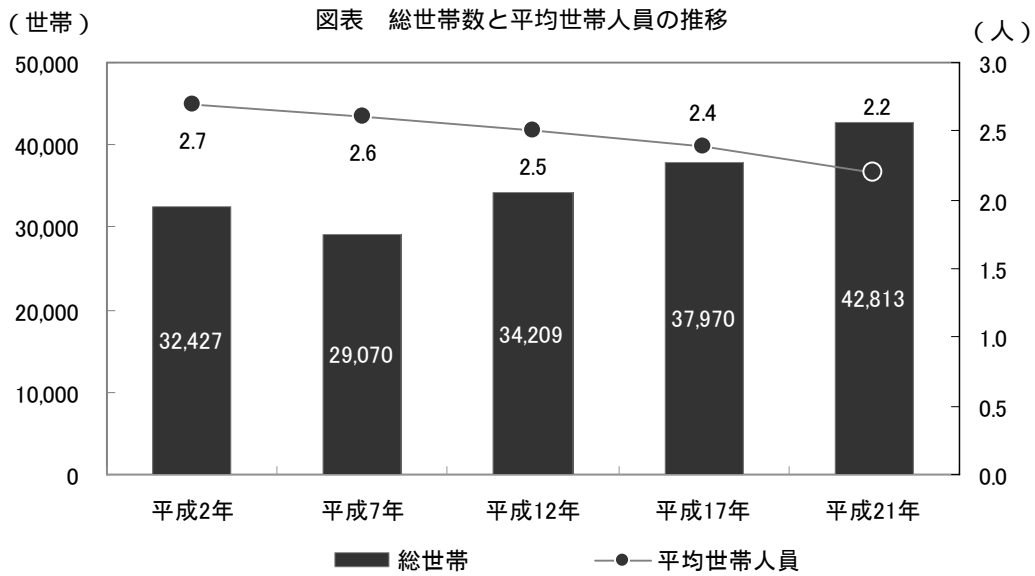
	出生・死亡			転入・転出			純増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成16年度	830	679	151	6,372	6,201	171	322
平成17年度	799	718	81	6,673	5,961	712	793
平成18年度	874	684	190	6,340	6,999	659	469
平成19年度	894	783	111	6,418	5,811	607	718
平成20年度	824	692	132	6,082	5,460	622	754

単位：人 資料：事務報告書（芦屋市）（各年度3月末現在）

図表 年齢3区分別人口の推移



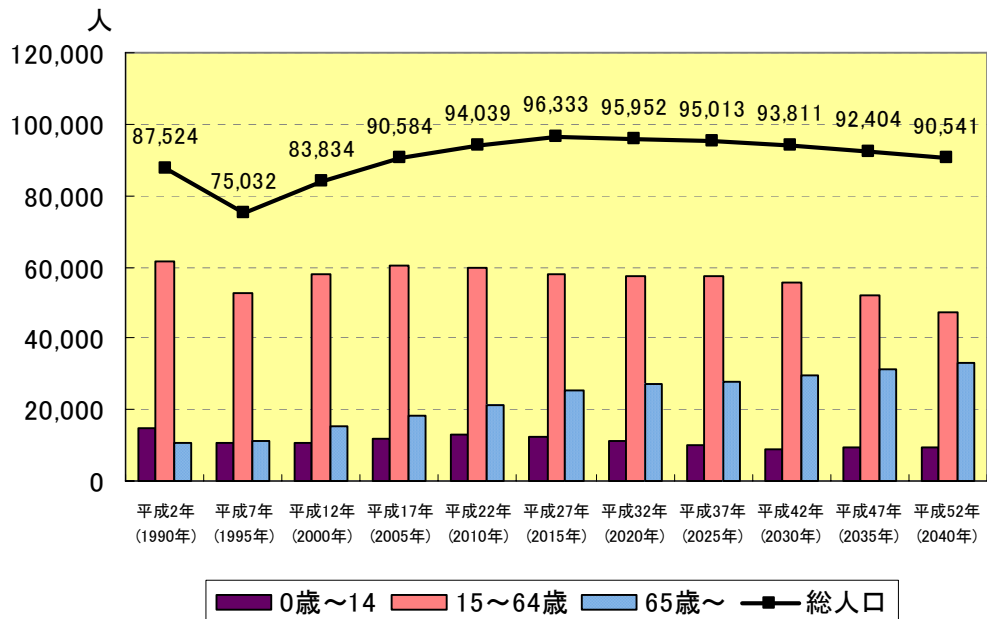
資料：平成2年～平成17年は国勢調査（各年10月1日現在）
平成21年は住民基本台帳及び外国人登録人口合計（10月1日現在）



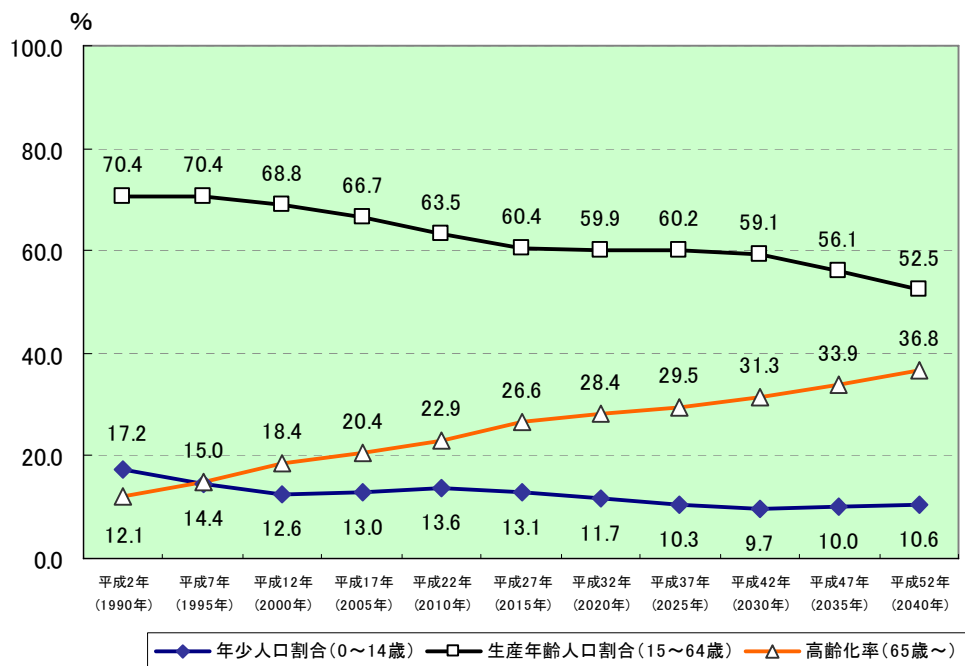
資料：平成2年～平成17年は国勢調査（各年10月1日現在）
 平成21年は住民基本台帳及び外国人登録から算出（10月1日現在）

(2) 人口の将来予測 (暫定値)

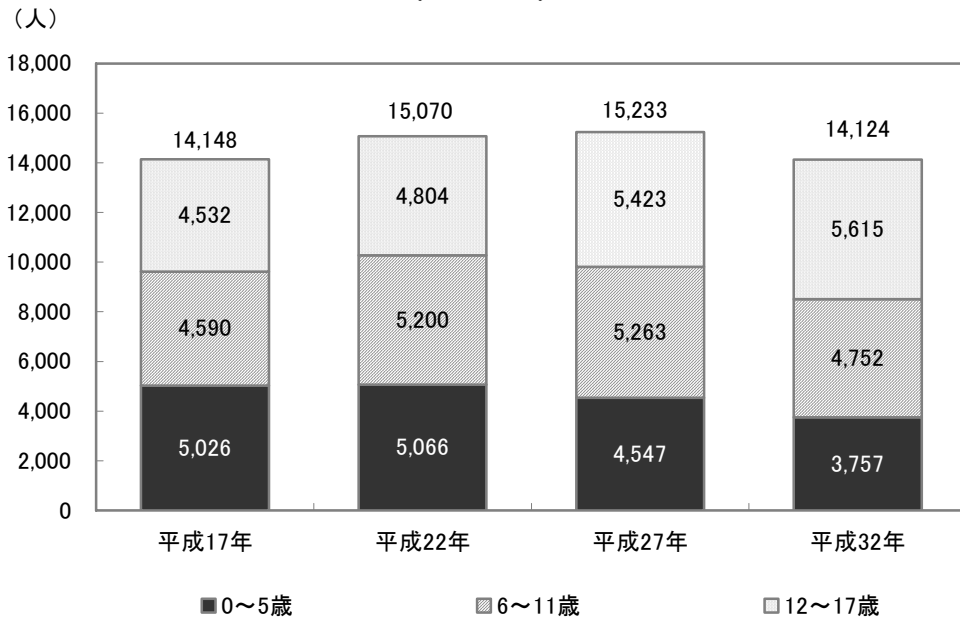
図表 将来推計人口(市全体)



図表 将来推計人口の年齢3区分別人口割合(市全体)



図表 児童数（18歳未満）の将来予測



資料：人口推計の関係のデータはすべて、平成17年以前は国勢調査(10月1日現在)
平成22年以降は推計児童数として算出

(3) 市立学校園園児・児童・生徒・学級数の年度別推移

(平成21. 5. 1現在)

校 園 名	17年度		18年度		19年度		
	学級数	人 数	学級数	人 数	学級数	人 数	
高校	芦屋高等学校	4	107	2	52		
中学校	精道中学校	15 (1)	529 (2)	15 (2)	538 (2)	15 (2)	533 (4)
	山手中学校	12 (4)	407 (8)	12 (4)	403 (7)	12 (4)	412 (6)
	潮見中学校	9 (3)	327 (6)	11 (3)	352 (8)	11 (2)	363 (4)
	小 計	36 (8)	1,263 (16)	38 (9)	1,293 (17)	38 (8)	1,308 (14)
小学校	精道小学校	17 (2)	545 (6)	19 (2)	580 (6)	19 (2)	622 (5)
	宮川小学校	16 (2)	552 (5)	19 (2)	584 (5)	20 (2)	620 (5)
	山手小学校	15 (3)	493 (7)	15 (3)	513 (9)	16 (3)	523 (10)
	岩園小学校	18 (3)	598 (7)	19 (2)	665 (8)	20 (3)	692 (11)
	朝日ヶ丘小学校	15 (1)	478 (2)	15 (1)	477 (3)	16 (1)	485 (3)
	潮見小学校	13 (1)	416 (4)	13 (1)	422 (3)	15 (1)	432 (3)
	打出浜小学校	16 (2)	498 (5)	17 (2)	512 (6)	18 (3)	524 (8)
	浜風小学校	12 (1)	361 (1)	12 (1)	341 (2)	12 (1)	330 (3)
	小 計	122 (15)	3,941 (37)	129 (14)	4,094 (42)	136 (16)	4,228 (48)
幼稚園	精道幼稚園	3	75	4	93	4	91
	宮川幼稚園	7	197	8	199	6	173
	岩園幼稚園	4	96	4	104	4	92
	小槌幼稚園	4	105	4	103	4	101
	朝日ヶ丘幼稚園	4	75	4	76	4	73
	西山幼稚園	4	80	4	90	4	95
	伊勢幼稚園	5	122	4	97	4	92
	潮見幼稚園	4	90	4	106	4	100
	浜風幼稚園	3	72	3	75	3	72
	小 計	38	912	39	943	37	889
合 計	200 (23)	6,223 (53)	208 (23)	6,382 (59)	211 (24)	6,425 (62)	

校 園 名	20年度		21年度		
	学級数	人 数	学級数	人 数	
高校	芦屋高等学校				
中学校	精道中学校	15 (3)	544 (5)	16 (3)	578 (5)
	山手中学校	11 (3)	375 (6)	11 (3)	389 (8)
	潮見中学校	11 (3)	365 (7)	11 (1)	367 (3)
	小 計	37 (9)	1,284 (18)	38 (7)	1,334 (16)
小学校	精道小学校	20 (2)	637 (6)	21 (2)	675 (5)
	宮川小学校	21 (2)	656 (5)	22 (2)	677 (5)
	山手小学校	17 (3)	542 (11)	19 (2)	587 (8)
	岩園小学校	22 (3)	750 (9)	23 (3)	768 (10)
	朝日ヶ丘小学校	17 (1)	499 (3)	17 (1)	490 (3)
	潮見小学校	16 (1)	471 (5)	17 (2)	495 (6)
	打出浜小学校	18 (3)	545 (7)	19 (3)	540 (7)
	浜風小学校	11 (2)	319 (5)	12 (2)	325 (9)
	小 計	142 (17)	4,419 (51)	150 (17)	4,557 (53)
幼稚園	精道幼稚園	4	83	4	79
	宮川幼稚園	6	155	7	176
	岩園幼稚園	4	89	4	89
	小槌幼稚園	4	115	4	86
	朝日ヶ丘幼稚園	4	76	4	83
	西山幼稚園	4	100	4	106
	伊勢幼稚園	4	102	4	90
	潮見幼稚園	4	100	4	96
	浜風幼稚園	4	78	2	64
小 計	38	898	37	869	
合 計	217 (26)	6,601 (69)	225 (24)	6,760 (69)	

() は特別支援学級を外書

(4) 保育サービスの提供状況

図表 認可保育所の定員数と入所児童数の推移

		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		定員数	入所児童数	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数
公立	打出保育所	90	90.2	90	95.7	90	88.4	90	84.0	90	91.0
	大東保育所	60	65.3	60	64.5	60	61.9	60	63.7	60	65.5
	精道保育所	90	93.0	90	96.9	90	96.2	90	93.5	90	94.5
	岩園保育所	60	63.6	60	63.5	60	63.2	60	59.7	60	61.5
	緑保育所	80	81.9	80	84.5	80	78.0	80	79.1	80	85.1
	新浜保育所	100	101.7	100	102.0	100	98.3	100	98.0	100	97.6
	小計	480	495.9	480	507.3	480	486.1	480	478.4	480	495.3
私立	芦屋こぼと保育園	30	35.8	30	35.2	30	34.4	30	34.4	30	34.0
	さくら保育園	45	46.4	45	49.8	45	49.4	45	50.9	45	51.8
	あゆみ保育園	21	21.7	21	22.5	21	20.5	21	21.0	21	23.9
	浜風夢保育園	-	-	60	14.0	60	51.3	60	53.0	60	58.9
	山手夢保育園	-	-	-	-	-	-	120	117.7	120	141.7
	小計	96	104.0	156	121.6	156	155.6	276	277.1	276	310.4
	合計	576	599.9	636	628.9	636	641.7	756	755.5	756	805.7
他市委託	-	25.7	-	26.4	-	27.5	-	22.4	-	20.0	
総合計	-	625.6	-	655.4	-	669.3	-	778.0	-	825.8	
入所率	104.1%		98.9%		100.9%		99.9%		106.6%		

* 入所児童数は月平均（小数点2位以下切捨て）

* 合計欄は端数処理していない

資料：事務報告書（芦屋市）（各年度3月末現在）

図表 認可保育所の年齢別入所児童数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
0歳	52.5	57.0	59.3	66.7	73.2
1歳	93.4	97.0	98.1	130.3	127.4
2歳	107.8	114.6	112.9	134.2	138.5
3歳	122.5	122.2	136.5	142.2	163.1
4歳	128.7	124.5	136.8	155.5	157.9
5歳	120.5	140.0	125.5	148.9	165.5

* 入所児童数は月平均（小数点2位以下切捨て）

* 他市委託を含む

資料：事務報告書（芦屋市）（各年度3月末現在）

図表 認可保育所の待機児童数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
0歳	5	8	8	3	6	20
1歳	16	29	44	28	38	78
2歳	11	17	32	18	29	37
3歳	23	24	19	15	22	39
4歳	9	22	7	2	6	9
5歳	0	3	4	0	0	3
合計	64	103	114	66	101	186

資料：こども課（各年度4月1日現在）

2 学校教育に関する資料

(1) 芦屋市子ども見守り巡回パトロール

- 趣 旨 この要領は、市民が安心して暮らすことのできる安全なまちづくりのため、特に子どもの通学路における安全を確保することを目的として市が行う子ども見守り巡回パトロール（以下「巡回」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。
- 巡回区域 市内中学校区ごとに1台ずつ巡回するものとする。
- 巡回日 小学校登校日とする。
- 巡回時間 午後1時～午後4時。ただし、学校教育課長から担当小学校校区的下校時間変更の連絡があった場合は、できるだけそれに合わせるものとする。
- 巡回体制等 (1) 巡回は、月毎に各部等において担当するものとする。
(2) 各部等に巡回指導員（以下「指導員」という。）を正副各1名置く。指導員は、所属する部の担当月の前月末までに部内の巡回当番表（様式1）を作成し、学校教育課長並びに市民参画課長に提出する。当番表によれない場合も各部内で責任をもって巡回を行うものとする。
(3) 巡回を担当する市職員（以下「巡回員」という。）は、管財・検査課長が指定した公用車を使用して2名1組で担当の中学校区を巡回する。
(4) 指導員は、部等の担当月が終了後すみやかに巡回実施月報（様式2）を学校教育課長並びに市民参画課長に提出する。
(5) 指導員は、翌月の担当部の指導員へ必要な情報等を伝え、円滑な引継ぎに努めるものとする。
- 巡回要領等 (1) 巡回の際は、「子ども見守りパトロール中」のステッカーを巡回車両の両側面及び後面に貼り付けて巡回するものとする。
(2) 巡回の際は、緊急時の連絡用として市が用意する携帯電話を常に携帯するものとする。
(3) 巡回の経路は、担当月の前月末までに学校教育課長が指導員に指示するものとし、巡回員は指導員の指示に従うものとする。
(4) 学校教育課長は、小学校の下校時間等に変更があった場合、できるだけすみやかにその校区を担当する指導員に連絡するものとする。
(5) 巡回員は、巡回終了後、パトロール日報（様式3）に基づき不審者情報・危険箇所等の必要な事項を指導員に報告する。
(6) 子どもが事案に巻き込まれた可能性のあるときは、別紙「子ども見守り巡回パトロール対応マニュアル」に基づいて適切に対応するものとし、帰庁後ただちに事案報告書（様式4）を作成し、指導員を経由して学校教育課長並びに市民参画課長に提出しなければならない。
(7) 指導員は、巡回員から報告を受けた内容について必要があると判断した場合、すみやかにその事項を学校教育課長並びに市民参画課長に報告するものとする。
(8) 市民参画課長は、必要に応じて防犯パトロール講習会を実施するものとする。
(9) 公用車の運転に際しては、法令・諸規則を遵守して安全運転に努めることとする。
(10) 巡回中に市民と接するときは、親切・丁寧に対応するとともに、巡回の目的等を説明して理解と協力を得るよう努めることとする。
- 実施時期 この要領による巡回は、平成18年4月1日から実施する。

子ども見守り巡回パトロール対応マニュアル

子ども見守り巡回パトロール中の対応は次のとおりお願いします。

子どもが事案に巻き込まれた可能性があるとき

例えば：子どもが誰かにつけられたとき，不審な声かけをされたとき
子どもが痴漢にあったとき
子どもが何らかの被害にあっていると訴えたとき

子どもが保護を求めてきたとき保護する。

「もう大丈夫」と子どもを落ち着かせましょう。

子どもから事情を聞き，携帯電話から警察へ110番通報する。

聞き取り事項

- ・何があったのか
- ・いつあったのか
- ・どこであったのか
- ・加害者がいたときは，具体的な特徴（人数・人相・身長・服装・特徴等）
- ・子どもの住所・名前・学校名・学年組・保護者名・連絡先

警察署員が現場に到着するまで，子どもの安全を確保する。

携帯電話で聞き取り内容を学校教育課へ報告する。

帰庁後「事案報告書」を作成し，巡回指導員を経由して，学校教育課長並びに市民参画課長に提出する。

事案に巻き込まれた可能性がないときも，誠意をもって対応しましょう。

例えば：子どもがけがをしているとき

子どもが体の不調を訴えたとき

(2) CAP講習会 実施結果(平成20年度)

	小学校名	3年生 クラス 数	教職員実施日 (参加人数)	保護者実施日 (参加人数)	児童実施日 (参加人数)	評価及び感想等
1	精道 小学校	3	8月26日(火) 14:00~16:40 (23)人	9月2日(火) 10:00~12:00 (59)人	9月3日(水) 1~4校時 (101)名	子ども達はロールプレイ等で分かりやすく、自分で何とかしないとという自覚ができて、とても効果があった。
2	宮川 小学校	4	8月26日(火) 9:30~11:30 (21)人	11月19日 (水) 10:00~12:00 (64)人	11月21日(金) 1~4校時 (118)名	安心・自信・自由の理念を基本に、子ども達が自分の身を守る方法を楽しんでいました。
3	山手 小学校	3	8月6日(水) 13:30~15:30 (17)人	11月18日(火) 13:30~15:30 (25)人	11月20日(木) 1~4校時 (92)名	「安心」「自信」「自由」を劇を通して具体的に指導していただき、子ども達は自分を大切にすること、自分を大切にすることを体感できた。
4	岩園 小学校	4	9月4日(木) 15:30~17:30 (34)人	9月17日(水) 午前 (79)人	9月24日(水) 1~4校時 (145)名	対象者に合わせた丁寧な指導であった。
5	朝日ヶ丘 小学校	3	1月16日(金) 14:40~16:40 (20)人	2月9日(月) 13:30~15:30 (32)人	2月20日(金) 1~4校時 (75)人	それぞれ工夫されたプログラムで講習会が実施された。具体的に且つ実践的な大変意義深い講習会であった。
6	潮見 小学校	2	10月22日(水) 15:10~17:10 (20)人	9月29日(月) 10:00~12:00 (46)人	11月7日(金) 1~4校時 (69)名	どの会も好評。他学年にも広げてほしいとの声が多くあり、今後に期待している。
7	打出浜 小学校	3	12月1日(月) 15:00~17:00 (25)人	12月2日(火) 13:00~14:00 (40)人	12月5日(金) 1~4校時 (89)名	教職員(学校)、保護者(家庭)、児童とそれぞれの立場でのワークショップが実施でき、有効であった。
8	浜風 小学校	1	7月28日(月) 14:00~16:00 (19)人	9月17日(水) 10:00~12:00 (45)人	9月26日(金) 1~2校時 (37)名	児童のプログラム受講に備え、教職員・保護者も受講し、情報を共有化でき、事後の指導にも役に立った。
	合計	23	179	390	726	参加者総数 : 1,295名

(3) オープンスクール(学校公開)に係る実施状況調査(平成21年度)
 小学校

市町名	学校名	実施日数	在籍児童数	のべ来校者数	(内訳)		のべボランティア数	効果・特色ある取組について
					のべ保護者数	のべ地域住民数		
芦屋市	精道小	5	684	528	473	55	74	防災訓練を始め、昔遊びなど地域との直接的なふれあいができた。
	宮川小	4	686	930	860	70	20	ゲストティチャーによる出前授業や地域の方とのふれあい行事を取り入れた
	山手小	4	592	1600	1500	100	60	
	岩園小	4	771	560	440	120	40	児童会行事の文化祭に合わせて開催し、参加型の活動を展開、PTAも主催側で参加していただいた。
	朝日ヶ丘小	5	484	438	415	23	0	三者連携の会を持ち、授業の様子を参観していただき感想をうかがった。
	潮見小	4	503	520	500	20	54	学校行事のある週に実施し、普段の様子や行事での様子、地域や保護者の参加授業等、いろいろな様子を見てもらえるようにした。
	打出浜小	4	546	1171	1133	38	24	期間中に、音楽会、防災訓練、中学校説明会を組合せて実施
	浜風小	4	337	202	185	17	4	
合計		34	4603	5949	5506	443	276	

中学校

市町名	学校名	実施日数	在籍児童数	のべ来校者数	(内訳)		のべボランティア数	効果・特色ある取組について
					のべ保護者数	のべ地域住民数		
芦屋市	精道中	5	583	660	588	72	76	文化発表会・合唱コンクール等を行うことで保護者や地域の方の参加が多くなった。
	山手中	6	395	624	481	143	8	校区小学校へ案内状配布。 小学校6年生保護者向け説明会の実施。文化祭を土曜日に実施
	潮見中	5	373	507	465	42	50	
合計		16	1351	1791	1534	257	134	

(4) 学校評議員 組織一覧表 (平成20年度)

平成20年11月12日 学校教育課まとめ

区分	学校園名	人数	学校園関係		PTA関係		行政関係	地域関係					備考
			他校園長	園医	PTA会長・副	前PTA会長		子育てセンター	民生主任児童委員	愛護委員	コミスク関係	自治会関係	
中学校	精道中	6			1	1				1	2	1	俳優
	山手中	6			1			1		4			
	潮見中	6			2			1		1	1	1	高齢者施設長
	小計	18	0	0	4	1	0	2	0	6	3	2	
小学校	精道小	8			3			2	1	1	1		
	宮川小	13			2			1	1	2	7		
	山手小	6				1		2		1		2	同窓会・防犯協会
	岩園小	9	1		2			1	1	1	3		
	朝日ヶ丘小	5			3				2				
	潮見小	7			1			2	2	1		1	高齢者施設長
	打出浜小	13	1		2			2		2	4	2	教頭・教諭
	浜風小	6			1			1	1	1	1	1	高齢者支援センター
	小計	67	2	0	14	1	0	11	8	9	16	6	

区分	学校園名	人数	学校園関係		PTA関係		行政関係	地域関係					備考
			他校園長	園医	PTA会長・副	前PTA会長	子育てセンター	民生主任児童委員	愛護委員	コミスク関係	自治会関係	その他	
幼稚園	精道幼	4			1	1		1				1	元教育委員
	宮川幼	5		1		1				1	2		
	岩園幼	6	1		1	1		1				2	保護司・小学校PTA
	小槌幼	6		2		1		1			1	1	打文センター所長
	朝日ヶ丘幼	6	1		1	1				1	1	1	社会福祉推進委員
	西山幼	4					1	1		1	1		
	伊勢幼	4	1	1	1							1	元子育てセンター
	潮見幼	5	1			2		1				1	元子育てセンター
	浜風幼	3	1			1					1		
	小計	43	5	4	4	8	1	5	0	3	6	7	
総合計	128	7	4	22	10	1	18	8	18	25	15		

(5) 学校評価結果(平成20年度)

学校評価結果(概要)(平成20年度)幼稚園

平成21年3月末 学校教育課まとめ

No.	幼稚園名	今年度重点目標	学校自己評価結果					学校関係者評価			表示以外の評価「分野」			
			項目数	No.	分野	重点関係	評価項目・取組状況	達成状況	改善方針	評価項目		実施方法	総合	
1	精道幼稚園	1 開かれた幼稚園づくり 2 道徳性の芽生えの育成 3 望ましい保育の創造	1	1	教育課程	2	1 文部科学省委託研究受託実施(H19/20) 2 保護者アンケート(3回) 3 合同研究会(3回) 4 公開保育研究発表 5 保護者会での啓発	B	1 保育内容の検討 2 保護者と幼児が一緒に活動する場の提供 3 幼児の望ましい発達を促す手立てを保護者と共有する。	成果をあげている。自己評価は適切	適切に実施されている	概ね適切	-	
2	宮川幼稚園	1 信頼される幼稚園づくり 2 豊かな人間性の育成 3 基本的生活習慣の確立	1	1	園運営	1	○家庭や地域との連携の充実 1 保育参観(月1回以上)や保護者会の実施 2 お便りや写真展示等による情報発信 3 地域メンスクラブによる行事参加 4 高齢者との交流(年3回)	B	1 保護者参加型の保育参観日の充実 2 積極的な情報発信 3 在園児と未就園児との交流	適切	概ね適切	概ね適切	-	
3	岩園幼稚園	1 開かれた幼稚園づくり 2 創意工夫のある保育の推進 3 幼稚園における心の教育の充実	1	1	望ましい保育	2	1 保護者のニーズの把握 2 幼児理解と個に応じた保育の実践 3 話を聞く態度の育成	B	1 保護者とコミュニケーションを図る行事の工夫 2 伝統的な行事を通して幼児の体験を重視 3 保育活動の中できめ細やかな対応	取組は成果をあげている	適切	学校評価は適切な次年度の課題が努力目標になっている	-	
4	小槌幼稚園	1 幼児の調和のとれた発達を促す確かな見通しと計画性をもった環境構成 2 保護者の保育参加	2	1	教育課程	1	1 学びの分析表の作成 2 子どもの学びの実態に即したカリキュラムの編成	B	学びを生み出す要因としての遊びの意味、教材のもつ意味をより具体的に示したカリキュラムの作成	高い評価を得た	概ね適切	概ね適切	園経営	
5	朝日ヶ丘幼稚園	1 地域に開かれた幼稚園づくり 2 保育の工夫と充実 3 道徳性の芽生えの育成	1	1	園運営	1	1 毎月1回の保育参観 2 園、クラスだより、HPの公開での情報発信 3 地域の人々との交流 4 園長との話し合える場	B	1 地域の人々との交流を教育課程に位置付ける 2 HPの更新に努める 3 保護者とより話し合える場作り	高い評価を得ている 改善策は妥当である	行事ごとの保護者アンケートと地域の方のアンケート 自己評価を提示	適切	概ね適切	-
6	西山幼稚園	1 幼児期にふさわしい生活の展開 2 道徳性の芽生えの育成 3 開かれた幼稚園づくり	1	1	園運営	3	1 家庭や地域の人々への情報発信・写真の掲示や、園だより、クラスだよりなどによる園生活の紹介 ・「道徳性の芽生え」について、家庭と連携した教育の推進 2 保護者や地域の人々の保育活動参加 ・保護者参加型の参観の実施 ・日本の伝統文化の伝承	B	1 「道徳性の芽生え」の研究を深める 2 ホームページの更新 3 保護者参加型の保育活動の工夫、検討 4 保護者会、懇談会など幼児の育ちを考えた場や機会の工夫 5 地域の教育力を取り込む	取組は成果をあげている	適切に実施されている	地域性を生かし、自然や伝統行事などの教育資源を活用した教育を更に進めていくことが望まれる。	-	
7	伊勢幼稚園	1 開かれた幼稚園づくり 2 道徳性の芽生えの育成 3 保育の工夫と充実	1	1	教育課程	1	1 毎月1回の保育参観と園長との懇談 2 園だよりクラスだよりHPの公開での情報発信 3 地域の方々との交流 4 絵本の読み聞かせを通して豊かな心を育成する	B	1 保護者参加型の保育参観の工夫。 2 異年齢との関わりを深める。 3 未就園児との交流の機会を増やす。	概ね適切 観点項目の精選	概ね適切	概ね適切	-	
8	潮見幼稚園	1 自然環境を生かし、豊に感じる心の育成 2 就学に向けての幼児の育ちの連続性を考えた幼小の連携 3 家庭・地域との連携を深め、開かれた幼稚園づくりの推進	2	1	教育活動	1	1 自然体験活動の重視 2 感動体験を身体・言語・制作等で表現させる 3 絵本やお話を活用して豊かな心の育成を図る	A	幼児の内面活動を活発にし、興味・関心・意欲を高める教師の資質向上をめざす。	研修研究により、幼児の心を育てる保育が実践された	適切	適切	幼稚園が充分努力していることが伺われる	園経営

No.	幼稚園名	今年度重点目標	学校自己評価結果						学校関係者評価			表示以外の評価「分野」	
			項目数	No.	分野	重点関係	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策	評価項目	実施方法		総合
9	浜風幼稚園	開かれた幼稚園づくり	1	1	園経営	1	<ul style="list-style-type: none"> 1 保護者や地域への情報発信 ・未就学児との交流 ・参観や保護者との活動 懇談会の実施 ・園便り ・園生活の写真掲示 ・卒園児の保護者による英語の教育ボランティア 	C	<ul style="list-style-type: none"> 1 幼稚園での幼児の様子を分かり易く伝える 2 保護者同士も話し合う機会を作るなどより良い子育てができる子育て支援をする。 3 地域での安全確保の協力を保護者にも依頼する。 	適切	適切	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが幼稚園を喜んでいる割合が非常に高いのは良いこと。 子育て支援は、保護者の安定に重点を置く。 職員と保護者の評価の基準を同じにする。 	—

学校評価結果(概要)(平成20年度)小学校

平成21年3月末 学校教育課まとめ

No.	学校名	1 中期的目標	2 今年度重点目標	3 学校自己評価結果							6 評価項目	4 実施方法	5 総合	表示以外の 評価分野		
				項目 数	No.	分野	重点 関係	評価項目・取組内容	達成 状況	取組状況 改善方策					学校関係者評価	
															評価項目	実施方法
1	精道小学校	自らあゆむ 子の育成	1 安心安全 2 命と人権 3 基礎基本/自ら学ぶ 子 4 体力づくり 5 自主的児童活動 6 心の通いあう生徒指 導 7 特色ある教育	7	1	開かれ た学校	7	1 教育ボランティアの 活用 2 情報発信 3 オープンスクール 4 学校行事公開	A	1 触れ合いがよかった 2 情報発信ができてい た 3 平日開催よかった 4 行事がよかった	努力して いる姿勢 を評価す る	ほぼ達成 している 子どもの 評価をど うするか が課題	概ね達成 している よく努力し ている	今年度重点 の残り6つ		
2	宮川小学校	共にいき、自 ら学び創造 する子どもの 育成	1 安全教育の推進 2 環境教育 3 連携した教育活動 4 学力向上/個性伸 長 5 人間尊重	2	1	開かれ た学校	1 3	1 情報発信 2 行事への参加よび かけ及び公開	B	1 学校だより、ホーム ページ毎月更新 2 参観日・オープンス クール・ふれあい祭り	情報発信 よくでき ている PRが必要	保護者ア ンケート の回収率 をあげる こと	概ね評価 できる	基礎基本の 定着		
3	山手小学校	みんながが がやく	1 自分をほこれる子 2 支え合う学級 3 「生きる力」を育む教 師	1	1	授業研 究推進	3	1 個人年間計画に 沿った指導 2 積極的な授業公開 3 わかりやすい授業つ くり 4 意欲的に進める教 材研究	B	<成果と課題> ○基礎が定着しつつあ る。 ○学習方法が定着しつ つある △コミュニケーションが とりにくい児童への配慮 △効果的な資料の提示 方法	大いに評 価できる	評価でき る	概ねよい と評価で きる	-		
4	岩園小学校	自ら学ぶ、心 豊かで、心身 ともにたくま しい子どもの 育成	1 基礎学力をつける 2 人権感覚を磨く 3 自主的自律的生活 態度の育成	2	1	分かる 授業	1	1 三者によるアンケ ート 2 高学年への対応	B	○低学年:個別支援 ○中学年:フューター配置 ○高学年:理科重点 △スタッフの状況により 工夫が必要	うまく活 用でき ている	数値化は 継続が望 ましい	課題まで 考察して いること が評価で きる	読書活動の 充実		
5	朝日ヶ丘小学校	共に学び、支 え合う子ども の育成	1 共に学び高め合う授 業の創造 2 子どもが主体的に活 動する学級活動・学校行 事の創造	1	1	授業研 究推進	1	1 教師・児童・保護者 の三者評価を比較検討 2 授業の積極的公開	B	○年間2回以上の公開 ○研究発表会開催 △取組方法改善	成果も認 められる	評価方法 は継続実 施が望ま しい	概ね良好	-		
6	潮見小学校	学び合い支 え合う喜びを	1 基礎基本の習得と活 用 2 心の教育の充実 3 内面理解の生徒指 導	1	1	教育課 程	1	授業・潮小タイム・パ ワーアップタイムでの充 実	B	1 きめ細かな指導 2 潮小タイム:反復学 習 3 パワーアップタイム: 個別指導	概ね達成 である 客観的な 資料の提 出を	実施方法 は適正	概ね達成 している	-		
7	打出浜小学校	豊かな心を 持ち、自ら考 え進んで実 践しようとし る心身ともに 健康な子ども の育成	1 特色ある学校づくり 2 自己実現を図る学習 指導 3 心と命の教育 4 新しい教育活動の展 開 5 生涯学習の基礎を培 う教育活動	6	1	開かれ た学校	1	1 学校だより等による 広報 2 教育ボランティアの 有効活用 3 学校行事への招聘 4 オープンスクール 5 コミスク行事への参 加	A	○学校だよりの有効活 用 ○教育環境充実への取 組 ○地域行事への参加 ○地域と連携した美化 活動	広報の効 果 地域力の 活用	現存の方 法を活用	全般に評 価できる	・基礎基本の 充実 ・コミュニケーション 能力 ・自立した生 活 ・自治的活動 ・削除		
8	浜風小学校	開かれた学 校づくり、地 域の教育力 を生かした教 育活動実践	1 開かれた学校づくり 2 自己実現を図る指導 3 やさしい心を育む	2	1	学校運 営	1	家庭や地域の人々への 情報発信	A	1 学校だより等 2 ホームページ更新 3 印刷配布 4 ふれあい作品展で の情報発信	A評価適 当 印刷物に しての配 布配慮評 価できる	適切	広報充実 は評価で きる 次年度課 題の明確 化評価で きる	教育課程		

学校評価結果(概要)(平成20年度)中学校

平成21年3月末 学校教育課まとめ

No.	学校名	1		3							4			表示以外の評価分野
		中期的目標	今年度重点目標	学校自己評価結果							学校関係者評価			
				項目数	No.	分野	重点関係	評価項目・取組内容	達成状況	取組状況改善方策	評価項目	実施方法	総合	
1	精道中学校	美しい環境を作る 節度ある態度を養う 心を集中して学ぶ ものの命を大切に	1 人間力の育成 2 教師力を高める 3 各教科等の指導の課題を明らかにし、次年度につなげる	9	1	教育目標	1	1理解と徹底 2具現化への取り組み 3評価結果が次年度に生かされるようになっているかの検証	B	1教職員に周知徹底する場の設定 2夏休みの研修実施 3教師の意識向上 4人権・研推、生指等の連携を図る工夫	1地域への情宣活動 2教然とした指導と特性を見極めた生徒指導 3きめ細かな指導の継続 4自然環境を生かす工夫 5職員の仕事とのバランス	1多くの資料がそろえられ評価に役立っている。 2学校についての明確な説明があった。	1地域との交流をよく行っている。 2総合的な学習は、高く評価される。	教育課程他B 項目
2	山手中学校	保護者地域に信頼される学校づくりのために、オープンスクールなどを実施し、生徒の様子を積極的に広報し、学校の活性化を図る。	1 道徳教育の充実 2 基礎的・基本的な確かな学力の定着 3 基本的な生活習慣の定着／基礎体力の向上	3	1	学校運営	1	1地域に開かれた学校 2生徒指導の充実 3個性に合った進路指導 4環境整備 5部活動の活性化	B	1学校通信定期発行等 広報活動 2生徒会活動の活性化 諸問題への迅速対応、関係機関との連携 3情報提供と2者懇談の充実 4施設整備、美化活動の徹底 5他校との積極的な交流、生徒個々の目標向上	1地域への情宣活動 2教然とした指導と特性を見極めた生徒指導 3きめ細かな指導の継続 4自然環境を生かす工夫 5職員の仕事とのバランス	アンケートの内容の検討が必要。	1具体的な学校目標 2取り組みの積極的発信 3家庭・地域を巻き込んだ学校運営が必要	教育課程
3	潮見中学校	新しい学習指導要領の移行期間を新学習システムや指導方法の工夫により学力の育成を図る。	1 指導方法の工夫／基礎的・基本的な学力 2 自尊感情／他者を思いやる心の育成	1	1	基礎的・基本的な学習の充実	1	1わかりやすい授業の実施 2教科指導力向上、学力定着への努力 3指導方法の工夫	B	1少人数指導、同室複数指導 2自主学習ノートによる学習習慣の定着 3学習意欲の喚起 4学力強化のための工夫 5長期休業中の勉強会	1家庭との連携強化 2教職員ができてきている。 3地域の教育力を生かす工夫が必要	1教育目標具現化のための取り組みができてきている。 2アンケート項目の更なる工夫が必要	1生徒・保護者・教職員の見解が反映され、次年度に工夫できる体制づくり 2地域への発信が必要	道徳教育の充実

(6) 市内公立校の進学状況

平成16年3月卒業

小学校 (市立)

年 進学先	精道	宮川	山手	岩園	朝日ヶ丘	潮見	打出浜	浜風
卒業生数	87	72	93	101	54	79	71	81
市立中学校 への進学者数	63	57	49	55	30	66	54	61
県立中学校 への進学者数	0	1	1	2	1	0	0	0
市外公立中学校 への進学者数	5	3	2	2	1	1	2	3
私立中学校 への進学者数	19	11	41	41	22	12	15	17
その他	0	0	0	1	0	0	0	0
市立中学校 への進学率	72.4%	79.2%	52.7%	54.5%	55.6%	83.5%	76.1%	75.3%

中学校 (市立)

年 進学先	精道	山手	潮見
卒業生数	194	144	136
市内公立高校 への進学者数	100	74	78
市外公立高校 への進学者数	33	21	17
私立高校 への進学者数	54	44	36
専修学校 への進学者数	6	3	1
就職者	0	0	1
無業者	0	2	1
その他	1	0	2
市内公立高校 への進学率	51.5%	51.4%	57.4%

平成17年3月卒業

小学校（市立）

年 進学先	精道	宮川	山手	岩園	朝日ヶ丘	潮見	打出浜	浜風
卒業生数	80	69	82	87	73	61	86	68
市立中学校 への進学者数	50	51	50	46	45	46	64	51
県立中学校 への進学者数	1	2	0	1	2	0	0	0
市外公立中学校 への進学者数	4	0	1	5	0	2	4	3
私立中学校 への進学者数	25	16	31	35	26	12	18	14
その他	0	0	0	0	0	1	0	0
市立中学校 への進学率	62.5%	73.9%	61.0%	52.9%	61.6%	75.4%	74.4%	75.0%

中学校（市立）

年 進学先	精道	山手	潮見
卒業生数	173	118	124
市内公立高校 への進学者数	47	31	36
市外公立高校 への進学者数	71	36	49
私立高校 への進学者数	51	44	32
専修学校 への進学者数	0	4	5
就職者	1	0	0
無業者	3	3	1
その他	0	0	1
市内公立高校 への進学率	27.2%	26.3%	29.0%

平成18年3月卒業

小学校（市立）

年 進学先	精道	宮川	山手	岩園	朝日ヶ丘	潮見	打出浜	浜風
卒業生数	80	94	92	75	99	78	67	66
市立中学校 への進学者数	50	74	42	31	45	65	56	58
県立中学校 への進学者数	1	1	1	0	0	2	1	0
市外公立中学校 への進学者数	2	1	3	2	4	1	1	0
私立中学校 への進学者数	27	18	46	42	50	10	9	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	1
市立中学校 への進学率	62.5%	78.7%	45.7%	41.3%	45.5%	83.3%	83.6%	87.9%

中学校（市立）

年 進学先	精道	山手	潮見
卒業生数	175	128	110
市内公立高校 への進学者数	40	23	17
市外公立高校 への進学者数	60	48	55
私立高校 への進学者数	70	48	36
専修学校 への進学者数	4	6	2
就職者	0	0	0
無業者	1	2	0
その他	0	1	0
市内公立高校 への進学率	22.9%	18.0%	15.5%

平成19年3月卒業

小学校（市立）

年 進学先	精道	宮川	山手	岩園	朝日ヶ丘	潮見	打出浜	浜風
卒業生数	84	86	88	83	75	77	86	68
市立中学校 への進学者数	45	67	50	38	43	62	65	57
県立中学校 への進学者数	1	1	0	0	3	2	0	1
国立中学校 への進学者数	1	2				1		1
市外公立中学校 への進学者数	1	1	2	1	2	1	4	1
私立中学校 への進学者数	35	14	36	44	26	11	17	8
その他	1	1	0	0	1	0	0	0
市立中学校 への進学率	53.6%	77.9%	56.8%	45.8%	57.3%	80.5%	75.6%	83.8%

中学校（市立）

年 進学先	精道	山手	潮見
卒業生数	184	137	128
市内公立高校 への進学者数	38	24	16
市外公立高校 への進学者数	76	54	64
私立高校 への進学者数	68	56	41
専修学校 への進学者数	2	2	5
就職者	0	0	0
無業者	0	0	0
その他	0	1	2
市内公立高校 への進学率	20.7%	17.5%	12.5%

平成20年3月卒業

小学校（市立）

年 進学先	精道	宮川	山手	岩園	朝日ヶ丘	潮見	打出浜	浜風
卒業生数	99	81	85	85	74	56	65	62
市立中学校 への進学者数	69	58	32	39	30	49	54	53
県立中学校 への進学者数	0	0	1	1	2	0	0	0
国立中学校 への進学者数	1	1	3	2	0	0	0	0
市外公立中学校 への進学者数	1	1	1	3	1	0	2	0
私立中学校 への進学者数	28	21	48	40	41	6	9	8
その他	0	0	0	0	0	1	0	1
市立中学校 への進学率	69.7%	71.6%	37.6%	45.9%	40.5%	87.5%	83.1%	85.5%

中学校（市立）

年 進学先	精道	山手	潮見
卒業生数	167	150	107
市内公立高校 への進学者数	32	23	18
市外公立高校 への進学者数	73	60	59
私立高校 への進学者数	59	61	27
専修学校 への進学者数	3	5	3
就職者	0	0	0
無業者	0	1	0
その他	0	0	0
市内公立高校 への進学率	19.2%	15.3%	16.8%

平成21年3月卒業

小学校（市立）

年 進学先	精道	宮川	山手	岩園	朝日ヶ丘	潮見	打出浜	浜風
卒業生数	83	102	92	116	76	84	83	61
市立中学校 への進学者数	55	78	34	51	48	69	70	52
県立中学校 への進学者数	0	2	1	1	0	1	2	1
国立中学校 への進学者数	0	0	1	0	1	0	1	0
市外公立中学校 への進学者数	1	4	3	1	2	1	0	1
私立中学校 への進学者数	27	18	53	63	25	13	10	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
市立中学校 への進学率	66.3%	76.5%	37.0%	44.0%	63.2%	82.1%	84.3%	85.2%

中学校（市立）

年 進学先	精道	山手	潮見
卒業生数	178	135	139
市内公立高校 への進学者数	28	20	26
市外公立高校 への進学者数	95	73	83
私立高校 への進学者数	53	39	29
専修学校 への進学者数	2	1	0
就職者	0	1	0
無業者	0	1	0
その他	0	0	1
市内公立高校 への進学率	15.7%	14.8%	18.7%

(7) 中学進学に関する意識調査
 (中学受験をした理由・しなかった(公立にした)理由)
 平成18年度

	受験者	受験しなかった者	合計	回答率
回答数	209	285	494	77%

中学受験をした理由

分類	番号	項目	件数	パーセント
学習指導	1	学習指導への期待	22	11%
	2	公立のゆとり教育・学力低下への不安	29	14%
卒業後の進路	3	大学進学をめざして	16	8%
	4	中高一貫でやりたいことに専念	26	12%
	5	高校受験の負担がない	21	10%
	6	大学までの一貫教育	6	3%
	7	内申書等の公立高校受験制度の問題点	8	4%
	8	公立中学校卒業後の進路への不安	8	4%
生活指導・部活動	9	生活指導・心の教育	14	7%
	10	部活動の充実	6	3%
	11	公立の生活指導面での乱れ	8	4%
教員	12	教員の資質	11	5%
教育内容	13	特色ある教育内容	31	15%
その他	14	家庭環境	11	5%
	15	本人の希望	21	10%
	16	友人関係	5	2%
	17	環境・設備	10	5%
	18	その他の公立学校への不信・不満	12	6%
	19	その他	11	5%

注 複数回答のため各項目のパーセンテージの合計は100にはなりません

中学受験をしなかった(公立にした)理由

番号	項目	件数	パーセント
1	必要ない・受験を考えなかった	58	20%
2	本人の希望	44	15%
3	地域の学校である	38	13%
4	経済的理由・家庭事情	37	13%
5	中学受験・塾の負担	34	12%
6	公立で充分・公立に期待	20	7%
7	さまざまな子どもとの交流	12	4%
8	卒業後の進路への期待	11	4%
9	教育内容・教員の資質	10	4%
10	環境・共学	9	3%
11	意欲・学力の不足	4	1%
12	その他	7	2%

注 複数回答のため各項目のパーセンテージの合計は100にはなりません

平成19年度

	受験者	受験しなかった者	合計	回答率
回答数	233	277	510	84%

中学受験をした理由

分類	番号	項目	件数	パーセント
学習指導	1	学習指導への期待	28	12%
	2	公立のゆとり教育・学力低下への不安	50	21%
卒業後の進路	3	大学進学をめざして	18	8%
	4	中高一貫でやりたいことに専念	47	20%
	5	高校受験の負担がない	13	6%
	6	大学までの一貫教育	7	3%
	7	内申書等の公立高校受験制度の問題点	10	4%
	8	公立中学校卒業後の進路への不安	11	5%
生活指導・部活動	9	生活指導・心の教育	12	5%
	10	部活動の充実	10	4%
	11	公立の生活指導面での乱れ	11	5%
教員	12	教員の資質	18	8%
教育内容	13	特色ある教育内容	28	12%
その他	14	家庭環境	8	3%
	15	本人の希望	41	18%
	16	友人関係	4	2%
	17	環境・設備	18	8%
	18	その他	8	3%

注 複数回答のため各項目のパーセンテージの合計は100にはなりません

中学受験をしなかった（公立にした）理由

番号	項目	件数	パーセント
1	必要ない・受験を考えなかった	48	17%
2	本人の希望	71	26%
3	地域の学校である	27	10%
4	経済的理由・家庭事情	49	18%
5	中学受験・塾の負担	11	4%
6	公立で充分・公立に期待	33	12%
7	さまざまな子どもとの交流	31	11%
8	卒業後の進路への期待	10	4%
9	教育内容・教員の資質	0	0%
10	環境・共学	3	1%
11	意欲・学力の不足	17	6%
12	特に受検したい学校がなかった	13	5%
13	特に理由はない	16	6%
14	その他	3	1%

注 複数回答のため各項目のパーセンテージの合計は100にはなりません

平成20年度

	受験者	受験しなかった者	合計	在籍者数	回答率
回答数	243	349	592	695	85%

中学受験をした理由

分類	番号	項目	件数	パーセント
学習指導	1	学習指導への期待	129	53%
	2	公立のゆとり教育・学力低下への不安	121	50%
卒業後の進路	3	大学進学をめざして	87	36%
	4	中高一貫でやりたいことに専念	104	43%
	5	高校受験の負担がない	99	41%
	6	大学までの一貫教育	44	18%
	7	内申書等の公立高校受験制度の問題点	44	18%
	8	公立中学校卒業後の進路への不安	66	27%
生活指導・部活動	9	生活指導・心の教育	50	21%
	10	部活動の充実	54	22%
	11	公立の生活指導面での乱れ	56	23%
教員	12	教員の資質	74	30%
教育内容	13	特色ある教育内容	115	47%
その他	14	本人の希望	148	61%
	15	その他	1	0%

注 複数回答のため各項目のパーセンテージの合計は100にはなりません

中学受験をしなかった（公立にした）理由

番号	項目	件数	パーセント
1	必要ない・受験を考えなかった	175	50%
2	本人の希望	162	46%
3	地域の学校である	97	28%
4	経済的理由・家庭事情	78	22%
5	中学受験・塾の負担	39	11%
6	公立で充分・公立に期待	133	38%
7	さまざまな子どもとの交流	63	18%
8	卒業後の進路への期待	28	8%
9	教育内容・教員の資質	5	1%
10	環境・共学	46	13%
11	その他	2	1%

注 複数回答のため各項目のパーセンテージの合計は100にはなりません

(中学教育に望むこと、受験することを決めた時期)

平成18年度

受験者数	受験しなかった人数	回答率
209	285	77%

中学校教育に望むこと

	私立受験者の保護者						私立受験しなかった者の保護者						総計	パーセント
	1位	2位	3位	他	合計	パーセント	1位	2位	3位	他	合計	パーセント		
ア 学習指導	105	36	14	28	183	88%	119	46	19	44	228	80%	411	83%
イ 進路指導 (卒業後の進路)	8	19	30	11	68	33%	5	43	36	18	102	36%	170	34%
ウ しつけ (規律, 規範指導)	7	10	21	7	45	22%	3	14	16	8	41	14%	86	17%
エ いじめ, 不登校 に対する指導	13	12	11	6	42	20%	20	17	34	16	87	31%	129	26%
オ 部活動	0	7	17	6	30	14%	2	8	20	7	37	13%	67	14%
カ 心の教育, 人間教育	24	56	28	22	130	62%	42	57	38	40	177	62%	307	62%
キ 仲間作り	2	13	19	13	47	22%	6	19	25	16	66	23%	113	23%
ク 教職員の 指導力向上	16	19	25	15	75	36%	28	18	32	19	97	34%	172	35%
ケ 施設, 設備の充実	0	0	6	2	8	4%	0	5	5	3	13	5%	21	4%
コ その他	1	0	1	1	3	1%	2	0	2	2	6	2%	9	2%

「他」とは順位をつけずに選んでいる回答

(注) パーセントの計算方法は「回答件数」÷「受験者数」「受験しなかった人数」あるいは「全体人数」
複数回答のため、それぞれの回答のパーセンテージの合計は100になりません

受験することを決めた時期

	人数	パーセント
小学校3年生 またはそれ以前	60	29%
小学校4年生	50	24%
小学校5年生	60	29%
小学校6年生	36	17%

平成19年度

受験者数	受験しなかった人数	在籍者数	回答率
233	277	607	84%

中学校教育に望むこと

	私立受験者の保護者						私立受験しなかった者の保護者						総計	パーセント
	1位	2位	3位	他	合計	パーセント	1位	2位	3位	他	合計	パーセント		
ア 学習指導	100	41	25	36	202	87%	127	45	25	32	229	83%	431	85%
イ 進路指導 (卒業後の進路)	4	21	27	16	68	29%	11	38	32	19	100	36%	168	33%
ウ しつけ (規律, 規範指導)	6	13	21	16	56	24%	5	14	20	5	44	16%	100	20%
エ いじめ, 不登校 に対する指導	10	10	10	8	38	16%	13	12	17	10	52	19%	90	18%
オ 部活動	3	10	19	5	37	16%	3	17	34	7	61	22%	98	19%
カ 心の教育, 人間教育	44	50	21	27	142	61%	52	60	38	20	170	61%	312	61%
キ 仲間作り	6	14	20	9	49	21%	5	24	29	7	65	23%	114	22%
ク 教職員の 指導力向上	20	26	30	15	91	39%	19	26	35	14	94	34%	185	36%
ケ 施設, 設備の充実	1	2	10	3	16	7%	0	2	8	3	13	5%	29	6%
コ その他	1	1	2	1	5	2%	3	0	0	0	3	1%	8	2%

「他」とは順位をつけずに選んでいる回答

受験することを決めた時期

	人数	パーセント
小学校3年生 またはそれ以前	73	31%
小学校4年生	61	26%
小学校5年生	63	27%
小学校6年生	36	15%

平成20年度

受験者数	受験しなかった人数	在籍者数	回答率
243	349	695	85%

中学校教育に望むこと

	私立受験者の保護者						私立受験しなかった者の保護者						総計	パーセント
	1位	2位	3位	他	合計	パーセント	1位	2位	3位	他	合計	パーセント		
ア 学習指導	122	31	15	39	207	85%	158	55	19	59	291	83%	498	84%
イ 進路指導 (卒業後の進路)	6	25	22	11	64	26%	16	41	53	28	138	40%	202	34%
ウ しつけ (規律, 規範指導)	3	17	27	14	61	25%	5	21	26	11	63	18%	124	21%
エ いじめ, 不登校 に対する指導	1	12	13	8	34	14%	11	19	16	15	61	17%	95	16%
オ 部活動	1	12	24	13	50	21%	6	18	35	17	76	22%	126	21%
カ 心の教育, 人間教育	33	55	30	33	151	62%	53	63	54	53	223	64%	374	63%
キ 仲間作り	6	21	29	17	73	30%	9	28	34	17	88	25%	161	27%
ク 教職員の 指導力向上	19	13	27	17	76	31%	14	25	33	18	90	26%	166	28%
ケ 施設, 設備の充実	1	4	5	4	14	6%	0	0	2	7	9	3%	23	4%
コ その他	0	0	1	2	3	1%	0	1	1	2	4	1%	7	1%

「他」とは順位をつけずに選んでいる回答

受験することを決めた時期

	人数	パーセント
小学校3年生 またはそれ以前	75	31%
小学校4年生	71	29%
小学校5年生	55	23%
小学校6年生	42	17%

(8) 子ども読書の街づくり推進事業

1 趣旨

近年、子どもたちを取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化してきており、その中で子どもたちの読書離れ、活字離れが進行し、子どもたちの健やかな成長にも影響を与えていることが指摘されている。

そこで、幼児児童生徒の読書活動に関し、学校における学校図書館や公共図書館の活用、家庭での読書運動などを相互に連携させながら、学校・家庭・地域社会が一体となった効果的な取り組みについて実践的な研究を行い、読書が大好きな子ども「ブックワーム芦屋っ子」の育成に取り組むとともに、保護者・市民の参画と協働による街づくりを推進する。

2 実施対象

保育所, 幼稚園, 公立小中学校の全幼児児童生徒

3 実施期間

平成20年度から平成22年度までの3年間

4 推進体制

「子ども読書の街づくり推進委員会」を設置し、幼児児童生徒の読書活動推進のための具体的な事業内容や方策等について検討し、提案するなど、学校、家庭、地域における事業実施の支援を行う。

5 事業計画内容

(1) 「ブックワーム芦屋っ子必読書100選」の選定

推進委員会の指導のもとにワーキングチームを組織し、子どもたちに読ませたい本「ブックワーム芦屋っ子必読書100選」を選定する。

(2) 家読（うちどく）運動の推進

子どもたちの家庭での読書習慣の確立を目指して、親子読書教室の開催やファミリー読書月間の設定等、PTA や関係団体と連携した家読運動を実施する。

(3) 学校図書館等を活用した教育活動の工夫

学校内において、子どもたちが本に親しむ時間や場所を確保するための方策や、学校図書館の効果的な活用の在り方等について、調査研究を行う。

(4) 子ども読書推進フォーラム等の開催

街づくりの柱の一つとして、公共図書館やその他関係機関と連携し、芦屋読書フェスティバル、子ども読書フォーラムの開催、読書キャンペーンの実施等、学校、家庭、地域が一体となった事業を展開する。

(5) 推進モデル校の指定

学校における事業推進にあたっては、モデル校を指定し、より実践的な調査研究を先行的に実施する。

(6) その他

教育委員会及び「子ども読書の街づくり推進委員会」が、本事業趣旨に則り、必要であると判断する事柄を実施する。

子ども読書の街づくり推進事業 <平成21年度 事業の概要>

平成21年6月19日

ア 趣旨・ねらい：継続

- 1 ブックワーム芦屋っ子を育成すること
- 2 月間平均読書冊数を増やすこと
- 3 保護者・市民の参画と協働による街づくりの推進に資すること

児童	6.0冊	10冊へ	(全国9.4冊)
生徒	2.7冊	4冊へ	(全国3.4冊)
1	芦屋数値 (H17:市調査小5・中2)		
2	全国数値 (H19:学校読書調査)		

イ 実施対象・期間等：継続・要検討

- 1 実施対象 保育所，幼稚園，公立小中学校の全幼児児童生徒
- 2 期間 平成20年度～平成22年度（3カ年）

ウ 推進体制：継続

- 1 子ども読書の街づくり推進委員会の設置
- 2 関係事業ワーキングチームの設置
- 3 事業関係者の連携（行政内・学校園・保護者・PTA・読書関係団体）

エ 主な内容：21年度重点 要検討

- 1 「ブックワーム芦屋っ子 本が大好き 読みたいな」推薦図書400選 図書設置
- 2 推薦図書リスト400選ガイドブック配布
- 3 「ブックワーム芦屋っ子読書推進フォーラム」開催 (H21.10.31 市民センター・リホール)
- 4 家読(うちどく)運動の推進・・・「ブックワーム芦屋っ子読書月間」設定(10月)
- 5 推進モデル校指定(平成21年度:3校・・・精中・岩小・朝小)
- 6 「ブックワーム芦屋っ子 読書ノート」原稿作成(次年度:印刷製本・配布)
- 7 読書活動促進充実・・・(仮)本の帯コンテスト
- 8 啓発活動の推進・充実

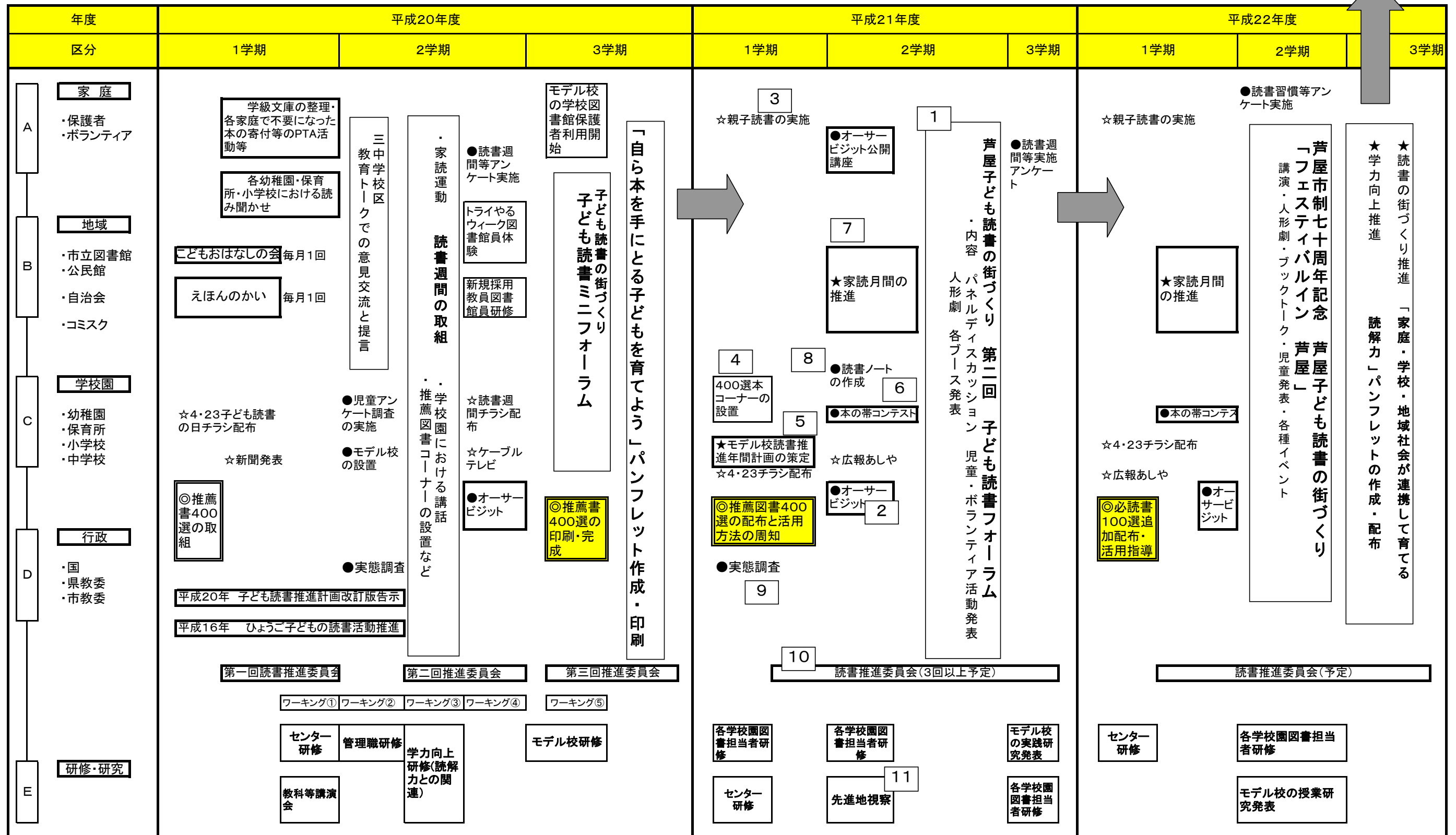
オ 事業予算(平成21年度当初予算)

9,250千円
(委員謝金・報償費・旅費・フォーラム・パンフ印刷製本・400選本設置 等)

芦屋市 子ども読書の街づくり推進事業 全体推進計画構想図(改訂案)

平成21年6月19日版

＜基本目標＞ オール芦屋で自ら本を手にとる子どもを育てよう ～ブックワーム芦屋っ子の育成～



(9) 全国学力・学習状況調査結果(平成21年度)

芦屋市全体の結果について

市教育委員会は、教科に関しては、全国平均をすべて上回っており、小学校・中学校ともに「十分に評価できる良い結果である」と考えています。また、質問紙調査結果では、本市児童・生徒の学習習慣、生活習慣、規範意識等に関して課題が読み取れることから、今後、積極的に改善に取り組んでまいります。

1 調査の概要

1) 調査の目的

全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善に役立てる。

2) 調査の対象学年及び実施状況

対象学年	在籍数(人)	受検者数(人)
小学校6年	726	710
中学校3年	451	436
合計	1,177	1,146

3) 調査実施日 平成21年4月21日(火)

4) 調査の内容

教科に関する調査

主として「知識」[国語A, 算数・数学A]	主として「活用」[国語B, 算数・数学B]
・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する質問紙調査

2 調査結果の公表について

1) 国・県の基本方針

文部科学省及び兵庫県教育委員会は、調査結果については、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえ、公表にあたっては、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することとしています。

2) 本市の基本方針

本市においては、調査結果を十分に把握・検討し、今後の教育施策や教育実践の改善に反映していくことが重要であるとの基本的な考えのもと、説明責任を果たすためにも市全体としての結果を示すこととしています。ただし、学力に関しては、平均正答率等の数値による公表は行わないこととしています。

3 本市における調査結果の概要

1) 教科に関する調査結果

～結果の示し方は次の4段階とする～

	段 階	全国平均を100とした場合の芦屋市の割合
1	極めて良好	115以上
2	良好	105以上115未満
3	おおむね良好	95以上105未満
4	課題あり	95未満

芦屋市全体の傾向

問題数や内容が変わっているため、昨年度との比較はできなくなっています。

	教科	区分	結果	市全体における傾向
小 6	国語	A(知識)	良好	国語・算数ともに、「知識」に関する結果は、全国平均を上回っており、十分に評価できる。「活用」に関する結果では、国語は、全国平均と比較して非常に上回っており、十分に評価できる。算数も全国平均を上回っており、十分に評価できる。
		B(活用)	極めて良好	
	算数	A(知識)	良好	
		B(活用)	良好	
中 3	国語	A(知識)	良好	国語の「知識」「活用」に関する結果は、いずれも全国平均を上回っており、十分に評価できる。数学の「知識」「活用」に関する結果も、いずれも全国平均を上回っており、十分に評価できる。
		B(活用)	良好	
	数学	A(知識)	良好	
		B(活用)	良好	

各教科の領域別の概況

ア 国語（小学校）

凡例 評価できるもの 課題があるもの

問題	領域	主な課題等
A (知識)	話すこと 聞くこと	司会の役割や働きをとらえて話し合いを計画的に進めることが理解できている。
	書くこと	文章の内容に合わせて小見出しを書くことが十分に理解できている。
	読むこと	段落の内容を的確にとらえることは理解できている。 文学的な文章表現の工夫をとらえることにやや課題がある。
	言語事項	5年生までに習った漢字を正しく読み、書くことが十分にできている。 ローマ字の習得や、接読語を使って内容を分けて書くこと、行の中心に注意して文字をバランスよく書くことに課題がある。
B (活用)	話すこと 聞くこと	話し手の立場や意図をとらえて聞くことや、目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出すことは十分にできている。 自分の立場や意図を明確にして話し合うことに課題がある。
	書くこと	調べる内容を見通して事柄を整理して書くことや目的や意図に応じて事象や意見を関係付けながら書くことに課題がある。
	読むこと	文章の内容を筆者の考えに合わせて読むことはできている。
	言語事項	文中における主語と述語との関係を理解できている。

イ 算数（小学校）

問題	領域	主な課題等
A (知識)	数と計算	整数の乗法と除法、同分母の分数の減法など、基礎的な数の計算は十分に理解できている。
	量と測定	長さについての感覚を身につけており、分度器の目盛りを読むことや、三角形の面積を求めることも理解できている。
	図形	平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいこと、長方形・直角三角形の定義や性質についての理解ができている。
	数量関係	減法と除法の混合した整数の計算をすることができている。 百分率を求めることについては、やや課題がある。 例) $80 \div 200 = 0.4$ 40%
B (活用)	数と計算	整数と小数の加法を用いて重さを求めることができています。 情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述するのに課題がある。
	量と測定	与えられた条件に合う解答を、筋道を立てて考え、表から選択することに課題がある。
	図形	長方形のカードの敷き詰め方を2通りかき、必要なカードの枚数を求めることができています。
	数量関係	基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を述べることに課題がある。

ウ 国語（中学校）

問題	領域	主な課題等
A (知識)	話すこと 聞くこと	効果的なスピーチをするために話し方の工夫をとらえている。 内容から必要な情報を的確に聞き，質問することを十分に理解できている。
	書くこと	主語に対応させて述語を適切に書くことにやや課題がある。
	読むこと	短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむことに課題がある。
	言語事項	漢字の読み書きは，十分に理解できている。辞書に書かれている情報を適切に読み取ることができている。
B (活用)	話すこと 聞くこと	(今年度，出題なし)
	書くこと	書かれている内容をとらえ，資料に基づいて自分の考えを説明することはできている。 資料に表れている工夫を自分の表現に役立てることに課題がある。
	読むこと	文章の展開をとらえ，段落の役割を理解できている。語句に注意し，その効果的な使い方に気付くことが，十分にできている。
	言語事項	(今年度，出題なし)

エ 数学（中学校）

問題	領域	主な課題等
A (知識)	数と式	()を含む正の数と負の数の計算，単項式どうしの乗法の計算をすることができている。 一元一次方程式をつくって問題を解決するために，2通りに表せる数量に着目することに課題がある。
	図形	平面及び立体図形の性質は，理解できている。 対称や同位角の意味，証明の意義を理解することに課題がある。
	数量関係	比例の関係を表す表の特徴や割合の意味を理解できている。 ある事象から2つの数の関係を把握することに課題がある。
B (活用)	数と式	問題場面における考察の対象を明確にとらえることができている。 筋道を立てて考え，事柄が一般的に成り立つ理由を証明することに課題がある。
	図形	事象を図形に着目して観察し，その特徴を的確にとらえることができている。 数学的な表現を用いて説明したり，方針に基づいて証明したりすることに課題がある。
	数量関係	与えられた情報を分類整理することができる。 事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

2) 児童生徒の生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

全国の状況を参考に、芦屋市の顕著な状況を抜粋したもの。

全国平均と本市の割合を比較し、5%以上の差がある本市の課題：網掛け

5%以上の差がある本市の良さ： で囲み表記している。

(単位：%)

No.	内 容	校種	芦屋市	全国
1	普段(月曜日～金曜日), 朝 7 時よりも早く起きている	小学校	53.2	76.5
		中学校	45.3	65.7
2	普段(月曜日～金曜日), 夜 11 時以降に寝ている	小学校	35.2	16.8
		中学校	78.7	68.1
3	ものごとを最後までやりとげて, うれしかったことがある	小学校	75.9	69.9
		中学校	63.6	65.0
4	家の人と普段(月曜日～金曜日), 夕食を一緒に食べている	小学校	57.4	70.9
		中学校	46.7	56.3
5	家で学校の宿題をしている	小学校	87.3	84.3
		中学校	67.3	55.6
6	学校のきまり(規則)を守っている	小学校	31.2	35.7
		中学校	57.0	44.5
7	携帯電話の使い方について家の人と約束したことを守っている (だいたい守っている)	小学校	38.2	24.1
		中学校	47.4	36.7
8	今, 住んでいる地域の行事に参加している。 (どちらかといえば, 参加している)	小学校	41.8	62.4
		中学校	28.4	37.8
9	新聞やテレビのニュースに関心がある	小学校	33.9	28.4
		中学校	30.2	24.3
10	400 字詰め原稿用紙 2~3 枚の感想文や説明文を書くのは難しいと 思う(どちらかというとなかなか)	小学校	61.7	68.7
		中学校	68.0	72.6
11	読書が好きだ (どちらかといえば, 好きだ)	小学校	69.1	71.8
		中学校	59.8	67.4
12	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できない か考える (どちらかといえば, 考える)	小学校	54.9	64.0
		中学校	36.6	34.3
13	算数・数学の勉強は好きだ(どちらかといえば, 好きだ)	小学校	62.6	66.2
		中学校	61.6	52.5
14	解答を言葉や式を使って説明する問題について, 最後まで解答を書 こうと努力した	小学校	75.5	68.0
		中学校	55.1	48.0

詳しくは、ホームページをご覧ください。

3) 生活習慣や学習環境（質問紙調査票）と学習状況との関係 【クロス集計結果】

<表の見方>

最も否定的な回答をした児童生徒の正答率と他の回答をした児童生徒の正答率の差を表示したもので、数値が大きいものほど2つの事柄が関係している。

読書が好きな児童生徒の方が、活用力が高い傾向が見られる

項目	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
読書が好きだ	10.4	17.6	8.3	16.4	11.3	14.7	5.8	9.4
どちらかという好きだ	6.6	10.6	5.4	10.6	9.2	12.3	3.7	5.8
どちらかという好きではない	3.4	6.8	3.4	8.6	1.4	2.6	4.2	3.0
嫌いだ	0	0	0	0.	0	0	0	0

新聞やテレビのニュースなどに関心がある児童生徒の方が、活用力が高い傾向が見られる

項目	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
新聞やテレビのニュース等に関心がある	11.3	20.5	12.0	19.0	5.5	5.5	5.5	7.5
どちらかという関心がある	8.7	16.6	11.2	16.0	5.6	2.5	5.3	5.1
どちらかという関心がない	4.8	11.7	8.5	12.7	4.3	1.3	2.3	3.9
関心がない	0	0	0	0	0	0	0	0

家の人と学校の出来事について話をよくしている小学生は、正答率が高い傾向が見られる

項目	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
家の人と学校の話をよくする	13.0	22.2	12.6	17.8	6.1	9.0	1.8	4.3
どちらかというとする。	9.2	17.5	11.5	16.3	5.9	9.3	6.6	9.2
どちらかというとしない	7.3	18.3	9.7	15.5	5.7	7.3	3.4	8.1
しない	0	0	0	0	0	0	0	0

学校の規則を守っている中学生は、正答率が高い傾向が見られる

項目	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
学校の規則を守っている	2.3	1.2	0.4	1.5	25.6	29.7	28.3	36.1
どちらかという守っている	4.7	1.8	2.3	4.2	22.3	25.5	24.2	34.7
どちらかという守っていない	0.4	1.5	3.0	1.9	18.7	16.7	14.5	18.6
守っていない	0	0	0	0	0	0	0	0

算数・数学が好きな児童生徒は、算数・数学の正答率が高いが、国語の正答率においては、差が小さい

項目	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
算数の勉強は、好き	6.1	10.6	16.1	16.9	4.6	6.6	17.5	16.2
どちらかといえば好き	2.2	6.2	11.2	12.3	2.1	1.8	8.0	6.1
どちらかといえば好きではない	2.4	3.4	6.7	5.6	4.7	5.0	5.5	5.1
好きではない	0	0	0	0	0	0	0	0

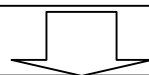
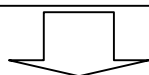
授業でノートを丁寧に書いている児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる

項目	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
授業でノートを丁寧に書いている	14.8	20.5	7.8	11.9	20.1	25.2	17.8	16.6
どちらかといえば丁寧に書いている	11.2	18.4	6.7	9.7	21.6	25.6	17.4	17.5
どちらかといえば丁寧に書いていない	4.2	9.4	3	2.9	15.2	13.4	15	11.9
丁寧に書いていない	0	0	0	0	0	0	0	0

4 主な課題について

全国の傾向と同じく、「活用する力」に課題がある

基本的な知識は身につけているが、知識を実生活に結びつけて考え、思考したり、判断したり、表現したりするなど、活用の力に課題が見られます。この傾向は、全国と同じです。



特に「記述力」に課題がある

文章から必要な情報を取り出して書き換えたり、自分の考えを明確にしながらか一定条件のもとで記述したり、説明したりする力に課題があり、無解答率も他の問題と比べて高くなる傾向があります。

体験と結びつけて考えることに課題がある

手伝いをする事、地域の行事に参加すること、地域の歴史や自然に関心をもつこと、夢を持つこと、失敗を恐れなくて挑戦することなど、体験を通して学ぶ力に課題が見られます。

5 課題解決に向けて必要な取組

1) 学習全体における課題に向けて

区分	考えられる主な取組
学校では	学ぶ内容が、どのように生活で生かされているか関連させて指導します。どの教科・領域でも、自分の考えを書き、理由を話したり、考えを説明したりする学習に取り組み、思考力、判断力、表現力の育成を図ります。体験を通して学ぶ機会を充実させます。
家庭・地域では	家読（家庭で読書をする事）を勧め、自ら本を手取る子どもを育てましょう。 地域の行事に協力したり、参加したりして地域の方から学ぶ機会をもつことを心がけましょう。 芦屋の山、川、海で遊んだり、芦屋の歴史的な建物や美術博物館などを訪れたりして、五感を使って学ばせましょう。

2) 生活習慣、学習習慣、規範意識の課題に向けて

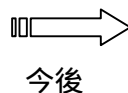
区分	考えられる主な取組
学校では	復習だけでなく、読書を勧めたり、事前に教科書を読んだりする学習も宿題として出すなど、自ら学ぶ子どもを育てます。 善悪の判断や学校生活におけるルールを守ることなどの規範意識が身につくように指導します。
家庭・地域では	「早寝、早起き、朝ごはん」に引き続き取り組みましょう。 家事を分担させ、家族の一員としての自覚と責任を育てましょう。

6 教育委員会の取組について

教育委員会では、児童生徒の知・徳・体の調和した「人間力」の育成、学力向上のために、本調査の結果を活用し、次のような取組を進めます。

1) 「学力向上研究推進委員会」の継続設置

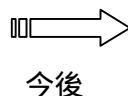
本調査結果の詳細な検証にもとづく、今後の指導改善や施策への提言



指導改善の提案を受けて、授業公開を行い、授業の工夫事例案検討

2) 「学力向上支援事業」の深化充実

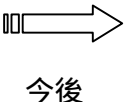
チューター（学習指導員）の活用策の研究



授業改善、指導法の工夫等に向けた研究体制への支援
教師の指導力向上に向けての研修の充実と支援

3) 読書習慣確立を支援するための施策

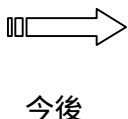
ミニフォーラムの開催、『図書リスト400選』の作成



『図書リスト400選』の配布・活用、フォーラムの開催
児童・生徒の読書力育成に係る「読書ノート」作成

4) 家庭教育のすすめ

リーフレット「いきいききらきら芦屋っ子」の作成



学校を通じて保護者会、学校便りなどでの啓発

7 その他

1) 児童生徒の生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の全結果については、芦屋市教育委員会学校教育課のホームページに掲載しております。

2) 参考として、以下に関連ホームページアドレスを示します。

文部科学省 「全国的な学力調査について」からリンク

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

兵庫県教育委員会 事務局義務教育課「お知らせ」からリンク

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/index.html>

芦屋市教育委員会 学校教育課からリンク

<http://www.edu-ashiya.jp/>

(10) 特別支援学級 障がい種別在籍数 年次別推移

平成21年12月現在

年度	校種	学年	計	知的	情緒	肢体	難聴	弱視	病弱	言語
平成18年度	小学校	1	8	8	0	0	0	0	0	0
		2	8	4	1	3	0	0	0	0
		3	8	5	1	2	0	0	0	0
		4	7	3	3	1	0	0	0	0
		5	8	4	1	3	0	0	0	0
		6	3	3	0	0	0	0	0	0
		小計	42	27	6	9	0	0	0	0
	中学校	1	6	2	3	0	1	0	0	0
		2	4	2	0	1	0	1	0	0
		3	7	3	2	2	0	0	0	0
		小計	17	7	5	3	1	1	0	0
	総計	59	34	11	12	1	1	0	0	
平成19年度	小学校	1	8	4	2	2	0	0	0	0
		2	8	6	2	0	0	0	0	0
		3	8	4	1	3	0	0	0	0
		4	9	5	2	2	0	0	0	0
		5	8	4	3	1	0	0	0	0
		6	7	3	1	3	0	0	0	0
		小計	48	26	11	11	0	0	0	0
	中学校	1	3	3	0	0	0	0	0	0
		2	7	3	3	0	1	0	0	0
		3	4	2	0	1	0	1	0	0
		小計	14	8	3	1	1	1	0	0
	総計	62	34	14	12	1	1	0	0	
平成20年度	小学校	1	11	7	4	0	0	0	0	0
		2	9	5	2	2	0	0	0	0
		3	10	8	2	0	0	0	0	0
		4	7	4	1	2	0	0	0	0
		5	7	4	1	2	0	0	0	0
		6	7	3	3	1	0	0	0	0
		小計	51	31	13	7	0	0	0	0
	中学校	1	6	2	1	3	0	0	0	0
		2	5	4	0	1	0	0	0	0
		3	7	3	3	0	1	0	0	0
		小計	18	9	4	4	1	0	0	0
	総計	69	40	17	11	1	0	0	0	
平成21年度	小学校	1	9	6	2	1	0	0	0	0
		2	10	4	6	0	0	0	0	0
		3	10	5	3	2	0	0	0	0
		4	10	8	2	0	0	0	0	0
		5	8	5	1	2	0	0	0	0
		6	6	4	1	1	0	0	0	0
		小計	53	32	15	6	0	0	0	0
	中学校	1	6	3	2	1	0	0	0	0
		2	6	2	1	3	0	0	0	0
		3	5	4	0	1	0	0	0	0
		小計	17	9	3	5	0	0	0	0
	総計	70	41	18	11	0	0	0	0	
平成22年度(見込み)	小学校	1	1	0	1	0	0	0	0	0
		2	9	4	2	3	0	0	0	0
		3	10	4	6	0	0	0	0	0
		4	9	4	2	2	0	1	0	0
		5	10	8	2	0	0	0	0	0
		6	8	5	1	2	0	0	0	0
		小計	47	25	14	7	0	1	0	0
	中学校	1	6	3	2	1	0	0	0	0
		2	6	3	2	1	0	0	0	0
		3	6	2	1	3	0	0	0	0
		小計	18	8	5	5	0	0	0	0
	総計	65	33	19	12	0	1	0	0	

(1 1) 幼稚園特別支援教育に係る加配教員等配置申請及び配置数

平成 1 9 年度

幼稚園名	加配教員等配置申請数			加配教員	介助員
	人数	内訳			
		年少児	年長児		
精道幼稚園	1	0	1	0	1
宮川幼稚園	1	0	1	1	0
岩園幼稚園	0	0	0	0	0
小槌幼稚園	2	2	0	1	0
朝日ヶ丘幼稚園	0	0	0	0	0
西山幼稚園	3	3	0	0	0
伊勢幼稚園	2	1	1	0	1
潮見幼稚園	2	1	1	1	1
浜風幼稚園	4	3	1	1	2
合 計	15	10	5	4	5

平成 2 0 年度

幼稚園名	加配教員等配置申請数			加配教員	介助員
	人数	内訳			
		年少児	年長児		
精道幼稚園	0	0	0	0	0
宮川幼稚園	1	0	1	1	0
岩園幼稚園	2	2	0	1	0
小槌幼稚園	3	2	1	1	0
朝日ヶ丘幼稚園	0	0	0	0	0
西山幼稚園	0	0	0	0	0
伊勢幼稚園	1	1	0	0	1
潮見幼稚園	1	0	1	0	1
浜風幼稚園	4	1	3	1	2
合 計	12	6	6	4	4

平成 2 1 年度

幼稚園名	加配教員等配置申請数			加配教員	支援員
	人数	内訳			
		年少児	年長児		
精道幼稚園	1	1	0	0	1
宮川幼稚園	1	1	0	1	0
岩園幼稚園	3	1	2	0	1
小槌幼稚園	2	1	1	1	1
朝日ヶ丘幼稚園	1	1	0	1	0
西山幼稚園	0	0	0	0	0
伊勢幼稚園	1	0	1	1	0
潮見幼稚園	1	1	0	1	0
浜風幼稚園	1	0	1	0	1
合 計	11	6	5	5	4

(1 2) 小・中学校不登校児童生徒の実数

年度	校種別	人数	校種別	人数	合計
1 6 年度	小学校	13	中学校	49	62
1 7 年度	小学校	10	中学校	40	50
1 8 年度	小学校	13	中学校	38	51
1 9 年度	小学校	8	中学校	23	31
2 0 年度	小学校	5	中学校	19	24

年間30日以上の欠席者

(1 3) 適応教室通級（在籍）児童生徒の実数

年度	校種別	人数	校種別	人数	合計
1 6 年度	小学校	1	中学校	9	10
1 7 年度	小学校	1	中学校	18	19
1 8 年度	小学校	3	中学校	14	17
1 9 年度	小学校	4	中学校	19	23
2 0 年度	小学校	2	中学校	16	18

年間在籍者も含む

(14) 日本語理解が不十分な児童生徒数の経年変化

注：子ども多文化共生サポーターの派遣対象の児童生徒に限った数である

言語別

		韓国・朝鮮	中国	スペイン	ポルトガル	アラビア	インドネシア	他	計
平成16年度	上期	2	1	2			1		6
	下期	4	1	3			1		9
平成17年度	上期	1	1		1		2		5
	下期	1				3		タイ1	5
平成18年度	上期	1	1		1	3			6
	下期		1	1	1	3	2		8
平成19年度	上期	1		3	3	1	2		10
	下期	1		3	3	1	2		10
平成20年度	上期	2		2	2	1	5		12
	下期	3		1	1		3	1	9
平成21年度	上期		1	1			2	1	5
	下期		1				2		3

学校別 (外国籍生徒数)

		精道小	宮川小	山手小	岩園小	朝日ヶ丘小	潮見小	浜風小	打出浜小	精道中	山手中	潮見中	計
平成16年度	上期			2		2	2						6
	下期			2		2	2	1			2		9
平成17年度	上期			1	1	2		1					5
	下期			1				3			1		5
平成18年度	上期			1		1		4					6
	下期					3		4				1	8
平成19年度	上期	1				2	3	3				1	10
	下期	1				2	3	3				1	10
平成20年度	上期	1			1	2	3	2			2	1	12
	下期	1			1	2	3				2		9
平成21年度	上期					2	1				1	1	5
	下期					1		1			1		3

学年別

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
平成16年度	上期		1		2	2	1				6
	下期		2		2	2	1	1	1		9
平成17年度	上期		2	1		1	1				5
	下期	2		1		1				1	5
平成18年度	上期		2		2		2				6
	下期		1		2	1	3	1			8
平成19年度	上期	5		1	1		2		1		10
	下期	5		1	1		2		1		10
平成20年度	上期	1	4		1	1	1	2		2	12
	下期	2	3	1		1				2	9
平成21年度	上期		1	1			1	1	1		5
	下期		1				1		1		3

(15) 環境体験事業

1 趣 旨

都市化や少子化，人間関係の希薄化など子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中，命をおろそかにする事件が頻繁に発生している。そこで，人間形成の基盤が培われる時期に，命の営みやつながり，命の大切さを学ぶため，自然の中で一粒の種を世話し続けることにより，花が咲き実がなるといった体験など自然にふれあう体験型環境学習を行う。

2 実施対象

小学校3年生全児童

3 実施日数等

3回以上とする。

実施日数については，小学校段階における体験活動を充実させる観点から「自然学校推進事業」との系統性や関連性を踏まえるとともに，地域や学校の実情に応じ各学校が創意工夫を生かした取組になるよう留意すること。

4 学習内容

地域の自然に出かけて行き，地域の人々の協力を得ながら自然観察や栽培・飼育など五感を使って自然にふれあう体験型環境学習を継続的に実施する。

事前学習

校外環境体験活動

事後学習

【体験型環境学習プログラム】

里山での体験	カブトムシの飼育，クヌギの苗作り・植樹，下草刈り等
田や畑での体験	米作り，黒大豆や綿花の栽培，棚田の自然観察等
水辺（川や海岸等）での体験	蛍の飼育，希少植物の栽培，水辺の生き物の観察
地域の自然の中での体験	草花や昆虫の観察，野鳥観察，自然を活用した体験型学習など

5 計画・立案

環境体験地域支援委員会の作成した事例集及び健教育委員会が作成した啓発資料や環境副読本等を参考に，環境体験事業を年間指導計画に位置づけ，以下の視点に留意しながら子どもの側に立った活動とする。

- (1) 計画にあたっては，学校や地域，児童の実態に応じたテーマを設定し，子どもたちの主体的な活動が展開されるようにすること。
- (2) 自然とのふれあいから，命の大切さや命のつながりを実感させるとともに，美しさに感動する豊かな心などをはぐくむことを目的とした，五感を使った体験活動

を中心に据えること。

- (3) 季節により自然や生活に変化のあることに気づき ,自然の循環や自然と人とのつながりを知り ,自然と人に優しい慣性を育てるプログラムとすること。
- (4) 日常生活や集団の中で ,周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって積極的に関わり ,身近な環境に配慮した生活習慣を身につけるきっかけとすること。
- (5) 実施校は ,実施計画書 (別紙 1) 実施報告書 (別紙 2) を別途定める期日までに ,芦屋市教育委員会あて提出するものとする。

6 支援体制

(1) 環境体験地域支援委員会

教育事務所ごとに ,環境体験地域支援委員会を設置し ,地域の特性を生かした体験環境学習プログラムや実施手法を提案し ,事業の円滑な実施を推進するとともに ,学校における事業実施の支援を行う。

(2) 地域環境学習コーディネーター・ひょうごグリーンサポータークラブ運営協議会

県民局ごとに ,地域環境学習コーディネーターが ,自然観察指導者や環境体験活動を日常的に支える農業従事者等の支援者及びフィールドについて ,教育事務所 ,市町教育委員会を通じ ,学校に対して情報提供及び調整を行う。

7 委 託

本事業の実施にあたっては ,芦屋市小学校体験活動事業 (環境体験事業・自然学校推進事業) 推進委員会に事業委託し ,予算の範囲内で委託金を支払う。

(16) 自然学校推進事業

1 趣 旨

学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、児童が人や自然、地域社会とふれ合い、理解を深めるなど、さまざまな体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動しよりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」育成することを目的とする。

2 実施対象

小学校5年生全児童

3 実施日数等

4泊5日以上とする。事前(事後)体験活動を充実させることとする。

実施日数については、小学校段階における体験活動を充実させる観点から「環境体験事業」との系統性や関連性を踏まえるとともに、地域や学校の実情に応じ各学校が創意工夫を生かした取組みとなるよう留意すること。

4 実施内容

- (1) 日常生活では味わえない感動体験など、自然学校で指導することにより効果が上がる活動を行う。
- (2) 施設に宿泊し、周辺の自然についての学習や地域とのかかわりのある活動を実施する。

5 利用施設

実施校の活動計画を基本に、それに適した県内の施設を選定する。

6 指導員等

事業の効果的な実施を図るため、付き添い教員の他に、次の指導員等をおく。

- (1) 指導補助員 教員を補助し、児童の引率や指導の補助にあたる。
- (2) 救急員 児童が病気やけがをしたときの救急処置等にあたる。
- (3) 技術指導員 専門的学識や専門的技術に関する指導にあたる。

7 計画・立案

「生きる力を育む体験活動」(平成20年3月)及び「自然学校実践事例集」(平成21年3月)を踏まえ、年間指導計画に位置付け、以下の点に留意しながら、子どもの側に立った活動とする。

ア 計画にあたっては、児童の参画のもと、興味・関心を重視した選択型プログラムを設定するなど、子どもたちの主体的な活動が展開されるようにすること。

イ 一つの活動にじっくりと取り組むなどゆとりのあるプログラムとするため、深まりや発展性のある活動、試行錯誤を大切に活動などを重視し、実施期間中に活動場

所を大きく移動するなど過密なプログラムを組まないこと。

ウ 友だちとの共同生活や地域とのふれ合いを通して子どもたちの人間関係を豊かにするとともに、自己をみつめ生き方を考えるきっかけとなるよう配慮する。

エ 豊かな自然とふれ合う活動を中心に据え、自然に対する認識を広げ、深めさせるとともに、命あるものを身近に感じ、生命を尊重する心を醸成するプログラムとすること。

オ 自然学校で身につけた力が学校や家庭、地域社会での生活でも生かされるように配慮すること。

8 事業経費

- (1) 県費 付き添い県費負担教職員の旅費・事業補助金
- (2) 市費 自然学校推進事業委託料
- (3) 保護者負担金 児童の食事代等

委託経費基準等については、別に定める事務取扱要領による

9 委託

本事業の実施にあたっては、芦屋市小学校体験活動事業（環境体験事業・自然学校推進事業）推進委員会に事業委託し、予算の範囲内で委託金を支払う。

(17) 定期健康診断結果

平成16年度

			年少	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
身 子	男	芦屋市	104.7	111.2	117.0	122.9	127.9	133.5	139.2	144.7	152.9	159.6	166.4
		兵庫県	0.0	110.7	116.7	122.4	127.7	132.8	138.8	145.2	152.2	159.7	165.4
		全国	0.0	110.9	116.8	122.6	128.1	133.5	138.9	145.1	152.6	159.9	165.3
長 子	女	芦屋市	103.4	109.8	116.2	121.5	127.6	133.5	140.4	147.1	151.5	154.8	157.1
		兵庫県	0.0	109.6	115.7	121.7	127.6	133.0	139.6	146.3	151.9	155.1	156.5
		全国	0.0	110.0	115.8	121.6	127.5	133.5	140.2	146.9	152.1	155.2	156.7
体 子	男	芦屋市	17.0	19.1	20.9	23.9	26.7	30.5	34.6	37.5	44.9	48.5	54.5
		兵庫県	0.0	18.9	21.4	23.8	27.0	29.9	34.0	39.3	44.0	48.9	54.8
		全国	0.0	19.1	21.6	24.3	27.5	31.0	34.7	39.0	44.9	50.1	55.2
重 子	女	芦屋市	16.2	18.2	20.6	23.0	25.7	29.1	33.3	38.1	42.7	45.3	48.9
		兵庫県	0.0	18.3	20.9	23.4	26.7	29.8	34.2	38.6	43.5	47.5	50.4
		全国	0.0	18.7	21.1	23.6	26.7	30.3	34.5	39.6	44.5	48.0	50.7
座 子	男	芦屋市	60.0	62.5	64.7	67.5	69.7	72.6	74.8	77.4	81.5	84.8	88.4
		兵庫県	0.0	62.3	65.0	67.6	70.1	72.5	75.1	77.9	81.1	84.8	88.0
		全国	0.0	62.1	65.0	67.8	70.3	72.7	75.1	77.8	81.3	85.0	88.0
高 子	女	芦屋市	58.6	62.3	64.1	67.0	69.7	72.7	75.5	79.0	81.4	83.3	84.9
		兵庫県	0.0	61.6	64.5	67.4	70.2	72.6	75.8	79.0	82.0	83.6	84.7
		全国	0.0	61.6	64.6	67.3	70.1	72.8	75.9	79.4	82.2	83.9	84.8

平成17年度

			年少	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
身 子	男	芦屋市	104.5	111.3	117.2	122.5	128.6	133.5	138.8	145.6	152.5	160.8	165.2
		兵庫県	0.0	110.6	116.3	122.4	128.2	133.0	138.7	145.1	152.2	159.2	165.2
		全国	0.0	110.7	116.6	122.5	128.2	133.6	139.0	145.1	152.5	159.9	165.4
長 子	女	芦屋市	103.7	109.9	116.0	121.8	127.2	133.8	140.1	147.2	152.6	155.0	156.9
		兵庫県	0.0	109.5	115.9	121.0	127.5	133.3	139.8	146.3	152.0	155.2	156.6
		全国	0.0	109.9	115.8	121.7	127.5	133.5	140.1	146.9	152.0	155.2	156.8
体 子	男	芦屋市	16.8	18.8	21.1	23.2	27.1	30.4	34.1	38.7	42.9	50.4	54.4
		兵庫県	0.0	18.8	21.3	23.9	27.1	30.2	33.6	38.6	43.9	48.6	54.5
		全国	0.0	19.1	21.6	24.3	27.4	30.9	34.7	39.1	44.9	50.1	55.3
重 子	女	芦屋市	16.3	18.2	20.1	23.0	25.8	28.8	33.1	38.0	43.2	46.4	48.7
		兵庫県	0.0	18.5	20.8	23.1	26.7	29.5	33.6	38.5	43.9	47.1	50.5
		全国	0.0	18.7	21.1	23.6	26.8	30.2	34.4	39.5	44.4	48.0	50.8
座 子	男	芦屋市	59.1	62.7	64.8	67.1	70.2	72.1	74.8	77.7	81.1	85.4	87.9
		兵庫県	0.0	61.8	64.9	67.8	70.4	72.6	75.1	77.9	81.1	84.4	87.8
		全国	0.0	62.0	64.9	67.7	70.3	72.7	75.1	77.7	81.3	85.0	88.1
高 子	女	芦屋市	58.7	61.4	64.3	67.0	69.5	72.5	75.5	78.8	82.5	83.2	85.0
		兵庫県	0.0	61.4	64.7	67.1	70.3	72.7	75.8	79.2	82.2	83.6	84.8
		全国	0.0	61.5	64.5	67.3	70.0	72.8	75.9	79.3	82.2	83.8	84.9

平成20年度

			年少	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
身 長	男 子	芦屋市	104.1	110.7	116.6	122.9	128.7	134.0	139.0	145.0	153.3	160.3	165.6
		兵庫県	0.0	111.0	116.7	122.5	128.2	133.6	138.9	144.8	152.3	158.9	165.4
		全国	0.0	110.8	116.7	122.5	128.2	133.7	138.9	145.3	152.6	159.8	165.4
女 子	芦屋市	103.3	109.3	115.9	122.0	127.6	133.6	138.7	146.3	153.5	155.2	157.1	
	兵庫県	0.0	109.9	115.7	121.9	127.3	133.9	140.0	146.6	151.8	155.1	156.7	
	全国	0.0	109.8	115.8	121.7	127.5	133.6	140.3	146.8	152.1	155.1	156.6	
体 重	男 子	芦屋市	16.6	18.7	20.7	23.9	26.7	30.3	33.3	37.8	43.3	50.3	54.2
		兵庫県	0.0	18.9	21.3	23.7	27.0	30.3	33.8	37.2	43.4	48.6	54.3
		全国	0.0	19.1	21.5	24.2	27.3	30.8	34.3	38.8	44.5	49.5	54.9
女 子	芦屋市	16.3	18.1	20.4	23.0	25.9	28.7	32.1	37.7	43.7	46.4	49.0	
	兵庫県	0.0	18.6	20.8	23.5	26.2	29.7	33.6	38.2	43.6	46.8	50.0	
	全国	0.0	18.6	21.0	23.6	26.6	30.1	34.4	39.3	44.2	47.7	50.4	
座 高	男 子	芦屋市	59.1	62.4	64.6	67.4	70.3	72.5	74.7	77.5	81.2	85.1	88.1
		兵庫県	0.0	62.4	65.0	67.8	70.2	72.7	74.9	77.6	81.3	84.4	88.0
		全国	0.0	62.1	65.0	67.7	70.3	72.8	75.0	77.8	81.4	85.0	88.2
女 子	芦屋市	58.2	61.7	64.2	67.0	69.8	72.6	75.1	78.6	82.6	83.8	85.1	
	兵庫県	0.0	61.7	64.6	67.5	70.0	73.0	75.7	79.2	82.1	83.8	84.9	
	全国	0.0	61.7	64.6	67.3	70.0	72.8	76.0	79.3	82.2	83.8	84.9	

平成21年度

			年少	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
身 長	男 子	芦屋市	104.7	110.8	117.1	122.4	128.0	133.8	139.4	144.8	152.1	160.2	165.8
		兵庫県	0.0	111.0	116.7	122.5	128.2	133.6	138.9	144.8	152.3	158.9	165.4
		全国	0.0	110.8	116.7	122.5	128.2	133.7	138.9	145.3	152.6	159.8	165.4
女 子	芦屋市	102.9	109.9	115.9	121.7	127.6	133.8	140.2	145.4	151.6	156.1	157.1	
	兵庫県	0.0	109.9	115.7	121.9	127.3	133.9	140.0	146.6	151.8	155.1	156.7	
	全国	0.0	109.8	115.8	121.7	127.5	133.6	140.3	146.8	152.1	155.1	156.6	
体 重	男 子	芦屋市	16.8	18.6	20.9	23.1	26.5	29.5	33.7	36.8	42.4	48.1	54.0
		兵庫県	0.0	18.9	21.3	23.7	27.0	30.3	33.8	37.2	43.4	48.6	54.3
		全国	0.0	19.1	21.5	24.2	27.3	30.8	34.3	38.8	44.5	49.5	54.9
女 子	芦屋市	16.1	18.9	20.2	23.0	25.4	29.0	32.3	36.5	42.6	47.2	49.1	
	兵庫県	0.0	18.6	20.8	23.5	26.2	29.7	33.6	38.2	43.6	46.8	50.0	
	全国	0.0	18.6	21.0	23.6	26.6	30.1	34.4	39.3	44.2	47.7	50.4	
座 高	男 子	芦屋市	59.1	62.0	64.7	67.4	69.9	72.7	74.9	77.1	80.9	84.7	88.2
		兵庫県	0.0	62.4	65.0	67.8	70.2	72.7	74.9	77.6	81.3	84.4	88.0
		全国	0.0	62.1	65.0	67.7	70.3	72.8	75.0	77.8	81.4	85.0	88.2
女 子	芦屋市	58.2	62.1	64.2	66.9	69.6	72.7	75.5	78.1	81.9	84.0	84.8	
	兵庫県	0.0	61.7	64.6	67.5	70.0	73.0	75.7	79.2	82.1	83.8	84.9	
	全国	0.0	61.7	64.6	67.3	70.0	72.8	76.0	79.3	82.2	83.8	84.9	

(1 8) 学校給食の状況

公立小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校

市町名	小 学 校								中 学 校								特別支援学校	共同調理場			休校			
	学校数	完全給食				ミルク給食		未実施		学校数	完全給食				ミルク給食			未実施		完全給食				
		学校数	児童数	米飯給食 上/中	給食 炊飯方式	学校数	児童数	学校数	児童数		学校数	生徒数	米飯給食 上/中	給食 炊飯方式	学校数	生徒数		学校数	生徒数	学校数		児童数	小学校	中学校
神戸市	166	166	80,443 (80,419)	3.0	委					85	2	84	5.0	委	83	35,795 (14,594)			6	743 (742)	24			
阪神	尼崎市	43	43	23,745	2.6	委・自				20	1	52					19	10,076	1	51				
	西宮市	41	41	29,168	2.7	委・自				20	20	10,384	2.7	委・自					1	65				
	芦屋市	8	8	4,610	3.0	自				3						3	1,350							
	伊丹市	17	17	12,081 (12,071)	2.5	委				8					8	5,323 (4,884)			1	20	17			
	宝塚市	24	24	13,098 (13,092)	3.0	委				12	12	5,115 (5,113)	3.0	委					1	22				
	川西市	16	16	9,304 (9,301)	3.0	自				7					7	3,951			1	24 (22)			1	
	三田市	20	20	7,091 (7,077)	4.25	委				8	8	4,137 (4,118)	4.25	委							20	8		
	猪名川町	7	7	2,102	3.0	自				3	3	1,048	3.0	自							7	3		
	小計	176	176	101,199 (101,166)						81	43	20,684 (20,663)			15	9,274 (8,835)	22	11,426	5	182 (180)	44	11		1
播磨東	明石市	28	28	17,208 (17,207)	3.0	委				13						13	8,329	1	37					
	加古川市	28	28	16,835	3.0	委				12	1	342	3.0	委			11	7,811	1	79	3	1		
	高砂市	10	10	5,795 (5,792)	3.0	委				6						6	2,806							
	西脇市	8	8	2,584	3.0	委・自				4	4	1,390	3.0	委・自							8	4		
	三木市	16	16	4,454 (4,447)	3.0	委				8	1	354	3.0	委	7	1,900			1	28	7	1	1	
	小野市	8	8	3,106 (3,105)	3.5	委				4	4	1,541 (1,540)	3.5	委					1	41 (40)	8	4	1	
	加西市	11	11	2,716 (2,715)	4.0	委				4	1	299	4.0	委	3	1,107			1	44	3	1		
	加東市	9	9	2,121 (2,115)	4.0	委				3	3	1,043 (1,042)	4.0	委							9	3		
	稲美町	5	5	1,898	4.0	自				2							2	942						
	播磨町	4	4	2,072	3.0	自				2							2	1,056						
	多可町	7	7	1,462	3.0	委・自				3	3	822	3.0	委・自							7	3		
	小計	134	134	60,251 (60,232)						61	17	5,791 (5,789)			10	3,007	34	20,944	5	229 (228)	45	17	2	
	播磨西	姫路市	70	68	33,785	3.0	委・自		2	469	35	33	15,812 (3,316)	4.7	委・自			2	296	1	70	9	4	
相生市		7	7	1,533	3.5	委・自				3	3	836 (755)	3.5	委・自										
たつの市		17	17	4,755	2.7	委・自				5	2	756	3.0	委・自			3	1,631			7	2		
赤穂市		10	10	3,056	4.0	委				5	5	1,468	4.0	委							10	5		
宍粟市		20	20	2,584	5.0	自				7	7	1,285	5.0	自							20	7		
神河町		7	7	723	3.0	委・自				2	2	416	3.0	委・自							7	2		
市川町		4	4	717	3.5	委				3	3	426	3.5	委							4	3		
福崎町		4	4	1,170	3.5	委				2	2	583	3.5	委							4	2		
太子町		4	4	2,431	2.5	委・自				2	2	1,002	2.5	委・自							4	2		
上郡町		7					7	883		1					1	465							1	
佐用町		10	10	987	5.0	自				4	4	522	5.0	自							8	4		
播磨高原組合		1	1	109	3.0	自				1	1	53	3.0	自							1	1		
三上山組合										1	1	62	5.0	自									1	
小計		161	152	51,850			7	883	2	469	71	65	23,221 (10,644)			1	465	5	1,927	1	70	74	33	1

市町名	小 学 校										中 学 校								特別支援学校		共同調理場			休 校	
	学校数	完全給食				ミルク給食		未実施		学校数	完全給食				ミルク給食		未実施		完全給食		方式校				
		学校数	児童数	米飯給食 週/回	炊飯方式	学校数	児童数	学校数	児童数		学校数	生徒数	米飯給食 週/回	炊飯方式	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	児童数	小学校		中学校
但馬	豊岡市	30	30	5,039	5.0	白・委				10	10	2,558	5.0	白・委								30	10		
	養父市	11	11	1,423	4.0	白				5	5	839	4.0	白								11	5		
	朝来市	11	11	1,927	3.7	白				4	4	1,008	3.7	白								8	4		2
	香美町	11	11	1,123	4.3	白				4	4	698	4.3	白								11	4		
	新温泉町	10	10	852	4.0	白				2	2	523 (522)	4.0	白								10	2		
	小計	73	73	10,364						25	25	5,626 (5,625)										70	25		2
丹波	篠山市	19	19	2,393 (2,391)	3.0	白				5	5	1,305 (1,304)	3.0	白					1	40 (38)		19	5	1	
	丹波市	25	25	4,191	4.2	委・白				7	7	2,181 (2,178)	4.2	委・白								21	5		
	小計	44	44	6,584 (6,582)						12	12	3,486 (3,482)							1	40 (38)		40	10	1	
淡路	洲本市	13	13	2,639	3.0	委				6	4	496	3.0	委			2	760				8	3		
	南あわじ市	16	16	2,458	3.0	白				6	6	1,376	3.0	白								16	6		
	淡路市	22	22	2,379	3.0	委				5	5	1,245	3.0	委								22	5		
	徳島県立 淡路高等学校	1	1	404	3.0	委				1	1	206	3.0	委								1	1		
	小計	52	52	7,880						18	16	3,323					2	760				47	15		
県立									2							2	358								
合計	806	797	318,571 (318,493)		7	883	2	469	355	180	62,215 (49,610)		109	48,541 (26,901)	65	35,415	18	1,264 (1,258)	344	111	3	4			

※ 児童生徒数の上段は平成21年5月1日現在の在籍数、下段は食物アレルギー等で給食を受けない児童生徒を除いた数

※ 中学校の完全給食欄・科字休(尼崎市)は補食給食(合計は外数)

※ 米飯給食欄…週/回=1週当たりの米飯給食回数、委=委託炊飯、白=白校(共同調理場)炊飯

※ 県立は中等教育学校を含む

公立特別支援学校

設置者名	学校名	完全給食			未実施 幼児・児童 生徒数	調理方式別	
		幼児・児童 生徒数	米飯給食 週/回	委託 方式		単独調理方式	共同調理方式
神戸市	盲	46 (15)	3.0	委		○	
	友生養護	84	3.0	委		○	
	青陽東養護	184	3.0	委		○	
	垂水養護	120	3.0	委		○	
	青陽西養護	123	3.0	委		○	
	青陽須磨支援	186	5.0	委		○	
尼崎市	尼崎養護	51	2.5	委		○	
西宮市	西宮養護	65	1.8	自・委		○	
伊丹市	伊丹特別支援	20	2.5	委		○	
宝塚市	養護	22	3.0	自・委		○	
川西市	川西養護	24 (22)	3.0	自		○	
明石市	明石養護	37	3.0	自		○	
加古川市	加古川養護	79	3.0	自		○	
三木市	三木特別支援	28	3.0	委			○
小野市	小野特別支援	41 (40)	3.5	委			○
加西市	加西特別支援	44	3.0	委		○(親子)	
姫路市	書写養護	70	3.0	委		○	
篠山市	篠山養護	40 (38)	3.0	自			○
小 計		1,264 (1,258)					
県立	視覚特別支援	52	3.0	自		○	
	神戸聴覚特別支援	122	2.5	自		○	
	こぼと聴覚特別支援	25	4.0	自		○	
	姫路聴覚特別支援	84	3.0	自		○	
	豊岡聴覚特別支援	32	3.5	自		○	
	淡路聴覚特別支援	49 (47)	3.0	自		○	
	のじぎく特別支援	65 (56)	3.0	委			○(神戸市へ委託)
	神戸特別支援	255 (225)	3.0	委		○	
	阪神特別支援	404 (367)	3.0	委		○	
	こやの里特別支援	331 (316)	3.0	委		○	
	高等特別支援				120		
	上野ヶ原特別支援	74 (34)	4.0	委			○(三田市へ委託)
	氷上特別支援	73	4.0	自			○(丹波市へ委託)
	北はりま特別支援	106 (76)	3.0	委			○(多可町へ委託)
	いなみ野特別支援	345 (317)	3.0	自		○	
	東はりま特別支援	26				○(民間委託)	
	姫路特別支援	323 (319)	2.0	自		○	
	播磨特別支援	80 (64)	5.0	自		○	
	赤穂特別支援	81 (79)	3.0	委			○(赤穂市へ委託)
	西はりま特別支援	191 (188)	5.0	自		○(民間委託)	
	山石特別支援	144 (137)	4.0	自			○(豊岡市へ委託)
	和田山特別支援	25 (24)	3.0	自		○	
	淡路特別支援				37		
小 計		2,887 (2,663)			157		
合 計		4,151 (3,921)			157		

※ 児童生徒数の上段は平成21年5月1日現在の在籍数、下段は訪問学級、分教室、食物アレルギー等で給食を受けない児童生徒を除いた数

(19)体カテスト結果

平成21年度

		体格						体カテスト項目																	
		身長		体重		座高		握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン		50m走		立ち幅跳		ソフトボール投げ		総合評価	
		(cm)	人	(kg)	人	(cm)	人	(kg)	人	(回)	人	(cm)	人	(点)	人	(回)	人	(秒)	人	(cm)	人	(m)	人	得点	人
5年 (男子)	市	140.0	359	34.1	360	75.0	359	16.2	361	18.0	360	33.5	359	38.4	359	45.4	350	9.5	358	151.7	361	23	361	51.8	342
	県	138.6		33.8		74.9		16.6		19.1		31.4		41.1		52.6		9.3		154.2		26.4		54.3	
	全国	139.3		34.5		75.2		17.4		19.9		33.0		42.1		50.9		9.3		156.3		26.5		55.6	
5年 (女子)	市	140.5	387	32.4	386	75.5	386	15.6	384	16.7	384	39.0	386	36.1	381	33.7	376	9.8	385	140.9	382	13.1	383	52.3	363
	県	139.9		33.7		75.8		16.1		17.9		35.0		38.3		41.7		9.6		145.2		15.0		54.6	
	全国	140.5		34.2		76.0		16.5		17.6		36.0		39.2		40.2		9.6		146.2		15.1		55.1	
6年 (男子)	市	145.1	341	37.1	341	77.2	337	19.0	338	19.4	338	33.5	336	42.5	332	51.6	335	9.0	332	165.4	336	28.7	333	57.5	319
	県	144.3		38.4		77.5		19.4		21.1		34.1		43.4		62.1		8.8		164.4		30.7		60.3	
	全国	145.1		38.2		77.8		20.3		21.2		34.6		45.1		60.4		8.9		165.8		30.0		60.9	
6年 (女子)	市	146.5	364	37.3	364	78.6	359	18.1	363	17.5	362	38.7	360	39.3	362	38.6	355	9.2	353	151.8	361	14.7	362	56.9	344
	県	146.9		38.9		79.2		18.5		18.5		38.0		40.2		48.4		9.2		153.6		17.2		59.6	
	全国	147.1		39.0		79.4		19.6		19.2		38.9		42.0		47.7		9.2		156.2		17.5		61.1	
中学1年 (男子)	市	152.3	266	42.3	266	80.1	265	22.9	261	22.3	259	35.2	259	44.5	260	70.1	254	9.0	256	168.6	161	16.8	258	30.1	236
	県	152.1		44.1		81.1		24.3		22.7		37.4		46.1		69.4		8.5		179.1		18.4		32.2	
	全国	152.7		43.9		81.1		24.7		23.6		39.1		47.3		69.7		8.6		180.6		19.0		33.7	
中学1年 (女子)	市	151.8	210	42.5	210	81.7	210	21.6	206	17.9	204	40.4	204	39.5	203	47	200	9.5	201	151.1	203	11	205	38.2	189
	県	152		43.7		82.1		21.7		19.4		40.7		42.1		48.8		9.0		163.5		12.6		42.8	
	全国	152.2		44.2		82.1		22.1		20.1		42		43.5		50.7		9.0		162.4		12.8		43.8	
中学2年 (男子)	市	160.6	197	48.0	190	84.1	174	28.0	198	26.7	197	40.0	197	49.3	195	86.1	185	8.2	199	183.7	196	19.7	196	39.3	175
	県	159.7		49.0		84.9		30.4		26.9		40.7		50.1		89.9		7.9		193.5		21.5		41.1	
	全国	160.8		49.6		85.1		31.3		27.1		43.7		51.3		87.5		7.9		198.0		22.0		42.9	
中学2年 (女子)	市	156.2	177	45.8	165	83.6	147	23.3	182	21.3	181	46.3	182	44.6	181	55.7	181	9	183	166.4	185	12.8	184	47.5	175
	県	155.1		46.8		83.7		23.9		22.7		43.2		44.7		60.8		8.8		167.1		14.1		48.9	
	全国	155.1		46.8		83.5		24.3		22.5		44.5		45.4		59.8		8.8		169		14.1		49.4	
中学3年 (男子)	市	166.1	225	53.7	225	87.4	224	34.7	224	28.2	220	44.6	222	52.6	217	96.7	217	7.7	222	205.7	219	23.3	220	47.3	206
	県	165		54.0		88		34.9		28.5		44.4		52.6		97.5		7.6		206.5		23.4		47.0	
	全国	165.4		54.0		87.6		35.8		29.1		47.1		53.9		93.7		7.5		213		24.0		49.4	
中学3年 (女子)	市	157.3	198	48.5	198	84.4	198	24.9	198	21.7	196	45.0	196	46.0	195	58.7	188	8.8	193	169.2	196	13.5	194	50.1	187
	県	156.8		50.3		84.9		25.9		23.0		44.6		45.7		63.4		8.7		170.3		14.8		50.8	
	全国	156.8		49.7		84.6		25.6		23.4		46.1		46.1		59.5		8.8		171.2		14.8		51.5	

3 社会教育・家庭教育に関する資料

(1) 第2次芦屋市生涯学習推進基本構想からみる社会教育の状況(抜粋)

1. 社会教育関連施設など

文化活動関連施設

名称	概要	所在地
市民センター	市民会館(本館・ホール)と公民館・福祉会館・老人福祉会館(別館)を総称した複合施設	業平町 8-24
あしや市民活動センター	芦屋市を中心とした市民・行政・企業など様々な主体の協働により,まちづくりに関する事業を行い,地域コミュニティの活性化を通じて,創造豊かな市民社会の形成に寄与することを目的とした施設	精道町 5-11

資料:平成20年度 教育行政要覧,芦屋市HP

スポーツ関連施設

名称	施設	所在地
芦屋市総合公園	第4種公認陸上競技場(フィールド:110m×70m,スポーツコート:2面)	陽光町 1-1
芦屋市立体育館・青少年センター	競技場1・2,剣道場,柔道場,弓道場,トレーニング室,大会議室,団体会議室,第1・2・3研修室,音楽室,料理室,体育団体室,控え室,第1・2会議室,多目的室1・2	川西町 15-3
芦屋中央公園野球場	軟式野球場	若葉町 1-1
芦屋中央公園芝生広場	公園広場	若葉町 1-1
川西運動場	運動場	川西町 14-17
西浜テニスコート	人工芝コート2面	潮見町 2-1
東浜テニスコート	人工芝コート2面	浜風町 2-1
芦屋公園テニスコート	人工芝コート4面	松浜町 4-4
芦屋海浜公園プール	室内・室外プール	浜風町 30-1

資料:平成20年度 教育行政要覧,芦屋市HP

図書館など

名称	所在地
芦屋市立図書館	伊勢町 12-5
芦屋市立図書館打出分室	打出小槌町 15-9
芦屋市立図書館大原分室	大原町 20-2
芦屋市立公民館図書室	業平町 8-24
芦屋市立上宮川文化センター図書室	上宮川町 10-5

資料:平成20年度 教育行政要覧,芦屋市HP

美術館・博物館

名称	概要	所在地
芦屋市立美術博物館	小出櫓重や吉原治良をはじめとする芦屋ゆかりの作家の作品を中心に展示する美術部門と、芦屋の歴史を通史的に展示する歴史部門を持った施設	伊勢町 12-25
芦屋市谷崎潤一郎記念館	谷崎潤一郎の業績をしのび、作品や遺品などを展示	伊勢町 12-15
富田碎花旧居	“兵庫県文化の父”とよばれた詩人・富田碎花の業績をしのび、ご遺族から市に寄贈された資料類・遺品などを展示	宮川町 4 -12

資料：平成 20 年度 教育行政要覧

集会所

名称	所在地
打出集会所	大東町 17-3
翠ヶ丘集会所	翠ヶ丘町 9-15
竹園集会所	竹園町 5-6
前田集会所	前田町 8 - 17
朝日ヶ丘集会所	朝日ヶ丘町 30-9
春日集会所	春日町 13-17
潮見集会所	潮見町 7-1
浜風集会所	浜風町 3-2
奥池集会所	奥池南町 34-4
西蔵集会所	西蔵町 11-16
大原集会所	大原町 20-2
茶屋集会所	茶屋之町 8-20

資料：芦屋市 HP

コミュニティ・スクール

生涯学習の一環として学校施設などの一部を使って、多くの市民がスポーツ・文化活動を通じて友好を深め、その運営は地域住民自らの手により、自主的に行っています。

名称	設立
三条コミュニティ・スクール	昭和 53 年 9 月設立
朝日ヶ丘コミュニティ・スクール	昭和 54 年 11 月設立
潮見コミュニティ・スクール	昭和 56 年 4 月設立
宮川コミュニティ・スクール	昭和 57 年 12 月設立
打出浜コミュニティ・スクール	昭和 57 年 12 月設立
浜風コミュニティ・スクール	昭和 58 年 12 月設立
岩園コミュニティ・スクール	昭和 58 年 12 月設立
精道コミュニティ・スクール	昭和 60 年 3 月設立
山手コミュニティ・スクール	昭和 61 年 3 月設立

資料：平成 20 年度 教育行政要覧

その他

名称	概要	所在地
芦屋市立青少年愛護センター	青少年育成愛護委員による街頭巡視を中心に、関係機関と連絡協調しながら青少年の健全育成と非行防止のための活動拠点施設	川西町 15-3
芦屋市男女共同参画センター (ウィザスあしや)	「女性に対するあらゆる差別をなくし、男女が互いにその人権を尊重しつつ、将来にわたって豊かで安心できる社会を築いていくために、あらゆる分野で対等なパートナーとして認め合い、ともに参画できる社会を実現する」ための拠点施設	大原町 2-6
芦屋市立上宮川文化センター	地域住民の社会的、経済的及び文化生活の改善向上ならびに同和問題の速やかな解決に資するとともに、児童の健全な育成を図るために、諸活動を実践推進し、明るく住みよいまちづくりに寄与することを目的とした施設	上宮川町 10-5
打出教育文化センター	教育及び文化活動の充実と振興を図るための施設	打出小槌町 15-9
芦屋市子育てセンター	子どもが安全に自由に遊べる場や、親同士の仲間作りの場として、また、子育ての悩みや不安を軽くするための育児相談や、子育てに関する情報提供などを行う施設	大原町 23-1

資料：平成 20 年度 教育行政要覧，芦屋市 HP

2. 市内の文化財

国指定重要文化財

指定物件	指定年月日	所在地
旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）	昭和 49 年 5 月 21 日	山手町 3-10

国登録有形文化財

登録物件	指定年月日	所在地
中山家住宅主屋 中山家住宅表門及び塀	平成 19 年 5 月 29 日	三条町 24-16

県指定文化財

指定物件	指定年月日	所在地
芦屋会下山弥生時代住居址	昭和 35 年 5 月 12 日	三条町 258
伝芦屋廃寺塔心礎	昭和 38 年 9 月 3 日	伊勢町 12-25

市指定文化財

指定物件	指定年月日	所在地
新王寺所蔵考古資料一括	平成 2 年 3 月 22 日	打出町 3-21
旧三条村共有文書一括	平成 2 年 3 月 22 日	三条町 9-14
伝猿丸太夫之墓	平成 2 年 3 月 23 日	東芦屋町 20-3
四季耕作図屏風 六曲一双	平成 3 年 12 月 6 日	伊勢町 12-25
三好長康山論裁許状（附，挟板）	平成 3 年 12 月 6 日	伊勢町 12-25
日吉神社石祠	平成 5 年 3 月 8 日	津知町 6-9
小阪家住宅	平成 6 年 3 月 22 日	陽光町地先
徳川大坂城毛利家採石場出土刻印石	平成 16 年 3 月 26 日	剣谷 17 地先
会下山遺跡出土青銅製漢式三翼鏃	平成 19 年 3 月 2 日	伊勢町 12-25

資料：平成 20 年度 教育行政要覧

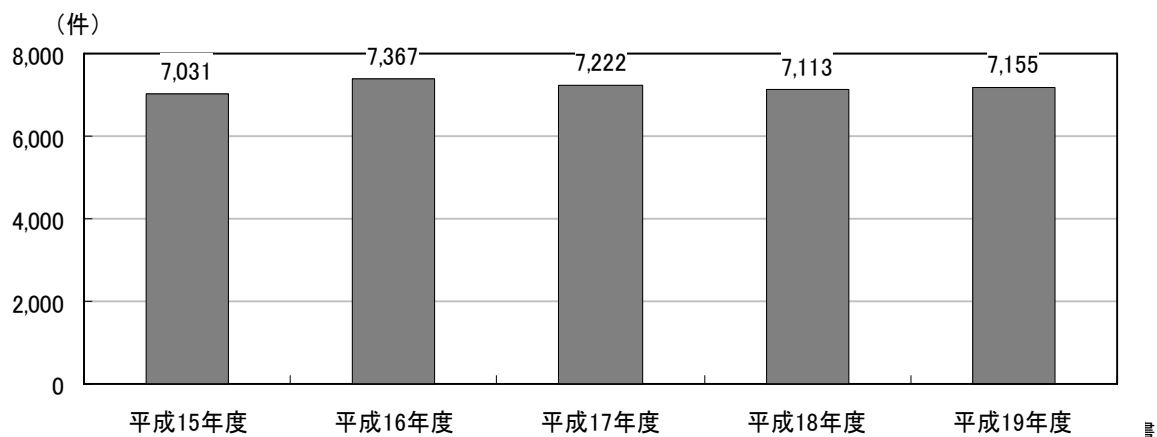
3.生涯学習関連施設の利用状況

(1) 市民センターの利用状況

<市民会館（本館）>

本館の利用状況をみると、平成16年度をピークに減少し、平成19年度には微増となっています。平成15年度と平成19年度を比較すると124件の増加となっています。

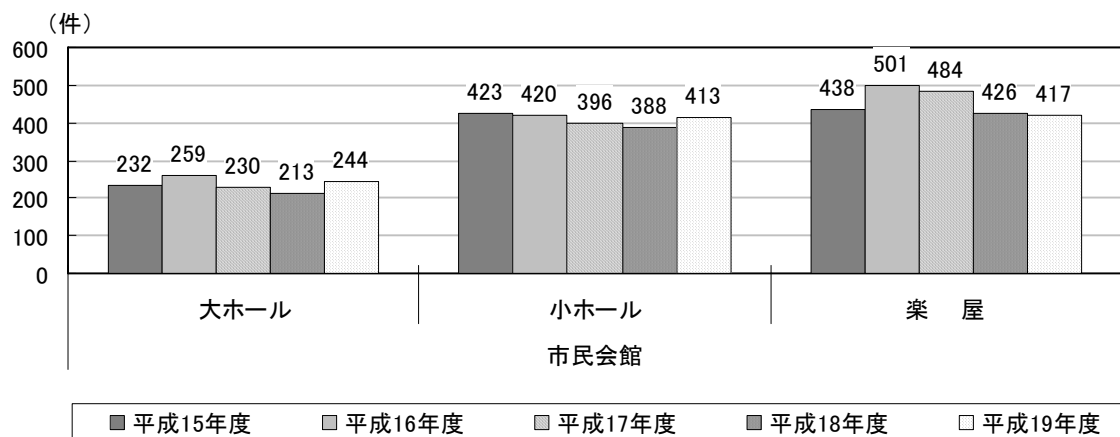
市民会館（本館）の利用状況



<市民会館（大ホール・小ホール・楽屋）>

大ホールの利用状況をみると、平成16年度をピークに減少し、平成19年度には増加となっています。平成15年度と平成19年度を比較すると12件の増加となっています。小ホールの利用状況をみると平成15年度から年々減少し、平成19年度には増加となっています。楽屋の利用状況をみると、平成16年度以降減少傾向にあります。

市民会館（大ホール・小ホール・楽屋）の利用状況

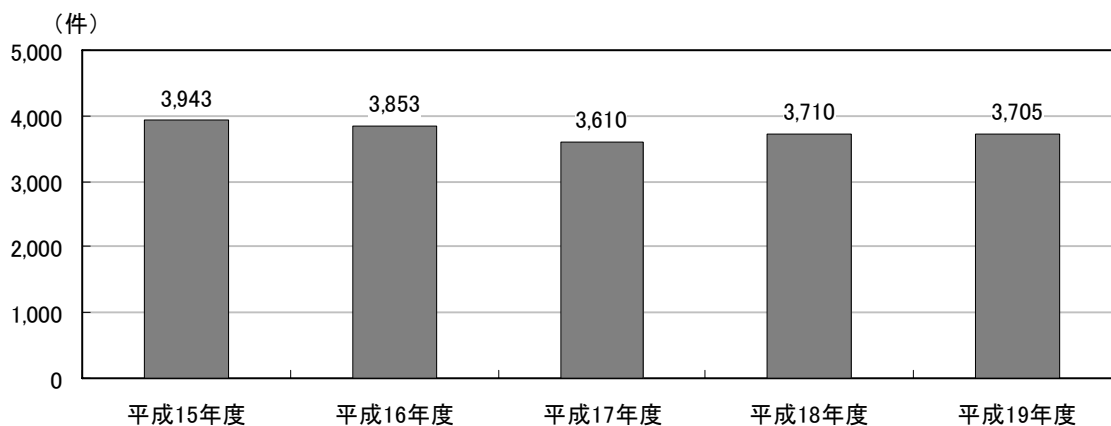


資料：平成19年版 芦屋市統計書，平成19年度 事務報告書

<公民館>

公民館の利用状況をみると、平成15年度から減少傾向となっていました。平成18年度は増加しています。平成15年度と平成19年度を比較すると238件の減少となっています。

公民館の利用状況

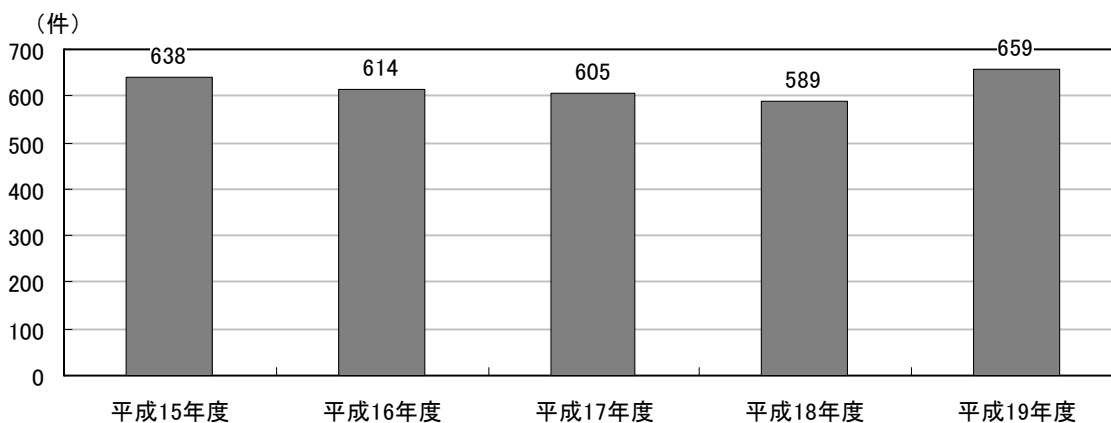


資料：平成19年版 芦屋市統計書，平成19年度 事務報告書

<福祉会館>

福祉会館の利用状況をみると、平成15年度から減少傾向となっていますが、平成19年度は増加しています。平成15年度と平成19年度を比較すると21件の増加となっています。

福祉会館の利用状況

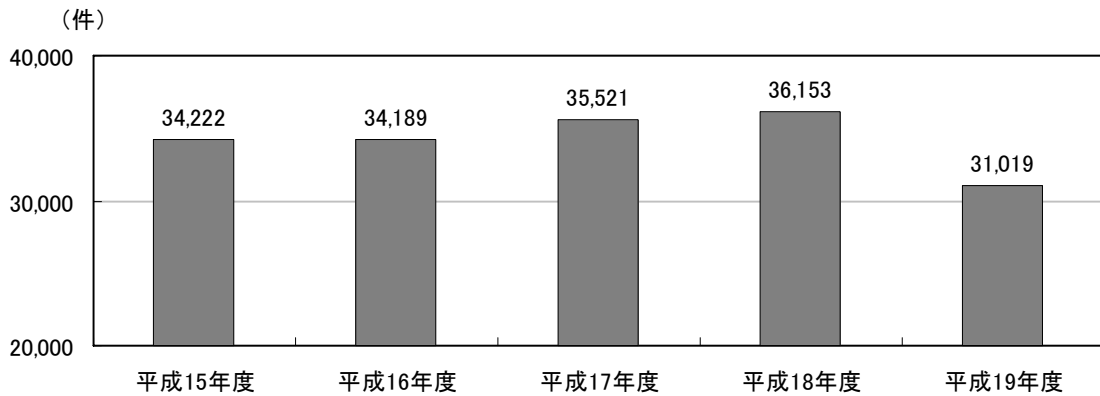


資料：平成19年版 芦屋市統計書，平成19年度 事務報告書

(2) 芦屋市立体育館・青少年センターの利用状況

芦屋市立体育館・青少年センターの利用状況をみると、増減を繰り返しており、平成15年度と平成19年度を比較すると、3,203件の減少となっています。

芦屋市立体育館・青少年センターの利用状況

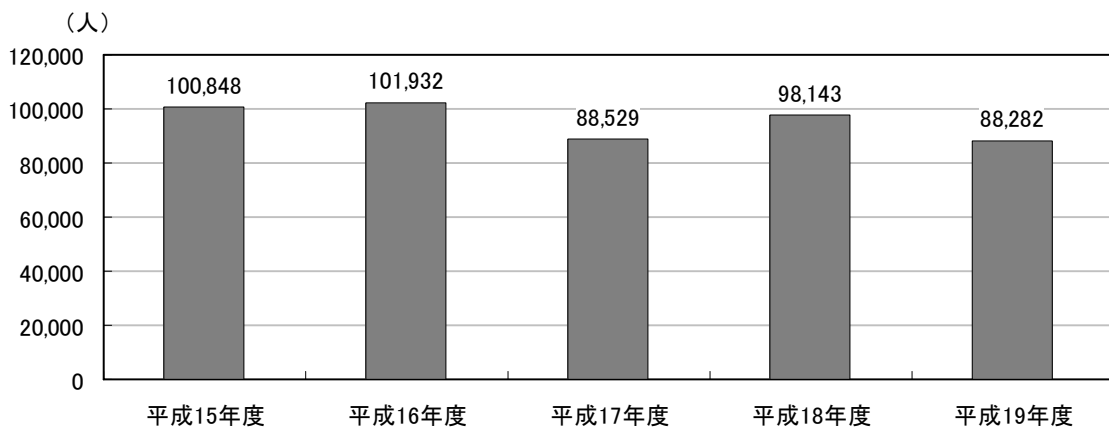


資料：平成19年版 芦屋市統計書，平成19年度 事務報告書

(3) プールの利用状況

プールの利用状況をみると、平成15年度から増減を繰り返しており、平成15年度と平成19年度を比較すると、12,566人の減少となっています。

プールの利用状況

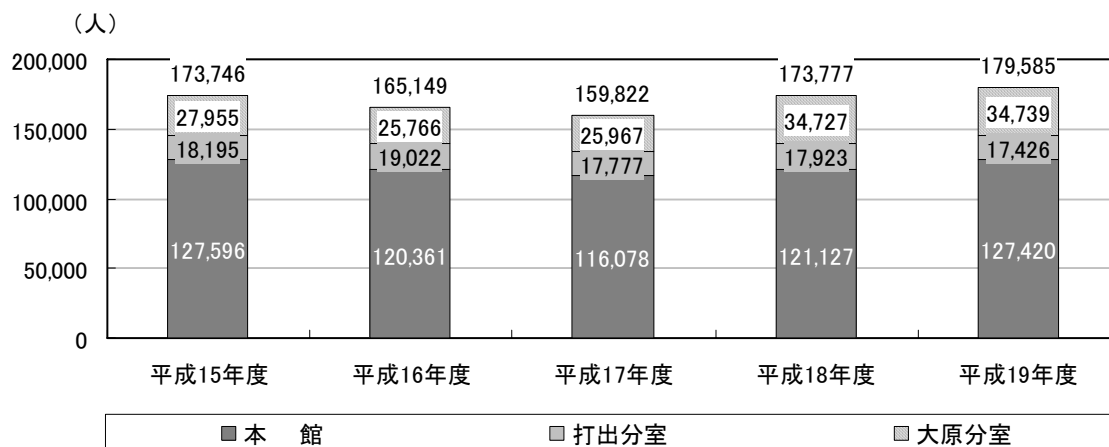


資料：平成19年版 芦屋市統計書，平成19年度 事務報告書

(4) 図書館の利用状況

図書館の利用状況をみると、平成15年度から減少傾向となっておりますが、平成18年度は増加し、平成15年度と平成19年度を比較すると5,839人の増加となっております。

図書館の利用状況

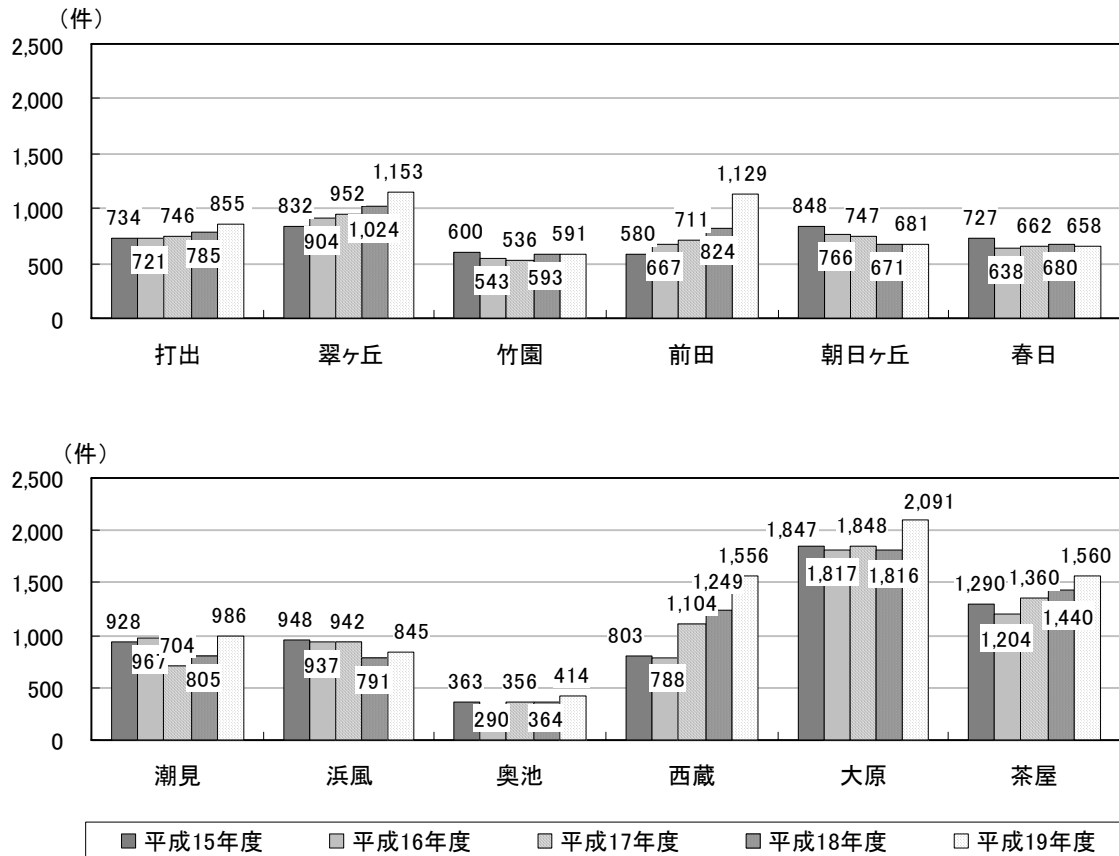


資料：平成19年版 芦屋市統計書，平成19年度 事務報告書

(5) 集会所の利用状況

各集会所の利用状況を見ると、平成 15 年度と平成 19 年度を比較すると「打出」「翠ヶ丘」「前田」「潮見」「奥池」「西藏」「大原」「茶屋」で増加しています。一方「竹園」「朝日ヶ丘」「春日」「浜風」で減少しています。

集会所の利用状況

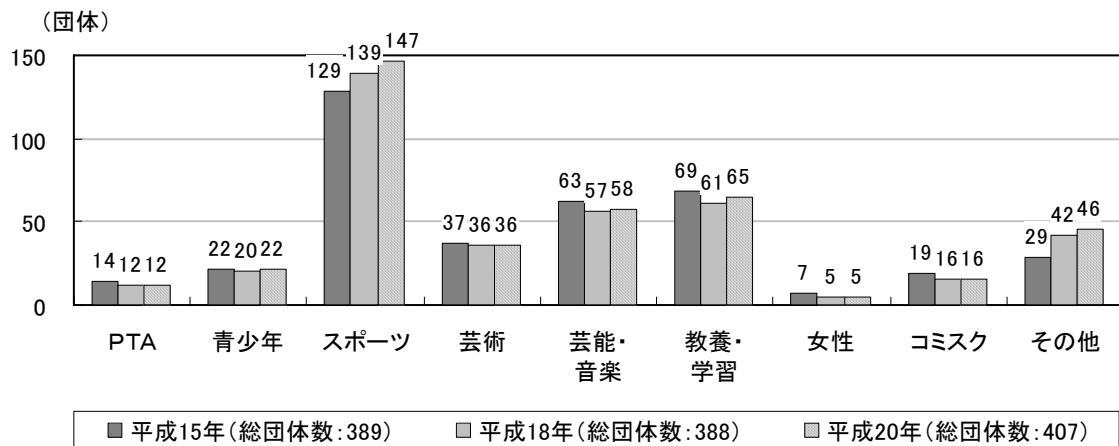


資料：平成 19 年版 芦屋市統計書，平成 19 年度 事務報告書

(6) 社会教育関係団体の登録状況

社会教育関係団体の登録状況を見ると、平成 20 年の登録団体について「スポーツ」「その他」の団体の登録数が、平成 15 年と比較すると増加しています。また、総団体数でみると、18 団体増加し、407 団体となっています。

社会教育関係団体の登録状況



資料：芦屋市 HP (平成 15 年・平成 18 年は 9 月 1 日現在、平成 20 年は 3 月 1 日現在)

3 年に 1 度一斉更新

※その他：ユネスコ活動，ボランティア活動，親子活動，高齢福祉に関する活動，障害福祉に関する活動など

4. 本市における生涯学習振興施策の主な経緯

昭和 22 年に本市の社会教育機構が確立して以来、61 年が経過しました。この間、本市の社会教育行政は着実に進展してきましたが、その進展の主な経過をふりかえると次のようになります。

生涯学習施行施策の主な経緯

年度	主な事業などの経緯
昭和 22 年	教育部社会教育課を設置。本市独自の社会教育委員制を制定。
昭和 23 年	第 1 回美術展覧会。第 1 回市民体育大会。
昭和 24 年	仏教会館に図書館を設置。
昭和 25 年	芦屋市教育委員会を設置。社会教育課を文化課に改組し社会教育係と体育保健係を新設。社会教育委員条例を施行。
昭和 26 年	社会教育委員を委嘱。社会教育協力委員を委嘱。
昭和 27 年	体育保健課を新設。社会体育指導員制度を制定。
昭和 28 年	社会教育委員と公民館運営審議会委員兼務の条例改正。
昭和 29 年	社会教育事業を公民館に移管。指導課に社会教育係を設置。
昭和 30 年	公民館運営審議会委員を委嘱。
昭和 31 年	兵庫県史跡第 1 号に指定された会下山遺跡の発掘開始。
昭和 32 年	芦屋市青少年育成協議会が発足。
昭和 34 年	秘書室に青少年係を設置。
昭和 35 年	社会教育主事を配置。芦屋ユースホステルが完成。
昭和 36 年	芦屋市青少年問題協議会条例を制定し委員を委嘱。少年補導所を設置。図書館協議会を設置。
昭和 37 年	社会教育課を復活。社会教育調査を実施。
昭和 38 年	新築した市民会館に公民館を移転。青少年課を設置。
昭和 39 年	市民憲章を制定。青少年センターを新設。ユネスコ会館が開館。
昭和 40 年	移動図書館巡回開始。打出集会所を開設。
昭和 41 年	留守家庭児童会を宮川小学校に開設。PTA 委託学級を開設。市民プールを新設。社会教育関係団体登録制を開始。
昭和 42 年	社会教育関係団体登録制を規則化し使用料免除などの援助を開始。小学校校庭開放を開始。市民文化賞を制定。
昭和 43 年	芦屋大学と連携して婦人大学を開講。野外活動センターを開設。
昭和 44 年	社会教育だより「ふぉーらむ」を全戸配付。
昭和 45 年	ルナ・ホールが完成。
昭和 46 年	岩園小学校をモデル校に指定し校庭開放運営委員会を設置。
昭和 47 年	体育館・青少年センターが開館。体育青少年課を設置。

年度	主な事業などの経緯
昭和 48 年	第 2 次社会教育調査を実施。
昭和 49 年	少年補導所を青少年愛護センターに改称。
昭和 50 年	公民館は市民会館事務を吸収し市民センターを新設。
昭和 51 年	市民会館・公民館・老人福祉会館・福祉会館の複合施設を市民センターと呼称。公民館図書室を開設。
昭和 52 年	コミュニティ・スクール構想を策定。
昭和 53 年	新設の三条小学校に第 1 号のコミュニティ・スクールを設置。芦屋市青少年育成愛護協会を設立。
昭和 55 年	社会教育文化課を新設。青少年愛護センターが独立。
昭和 59 年	社会教育部を新設。生涯学習状況調査を実施。全庁的な生涯学習関連事業調査を実施。
昭和 60 年	県委託事業「生涯教育モデル事業」を研究開発。芦屋川カレッジを開設。
昭和 61 年	芦屋市生涯学習推進会議を設置。
昭和 62 年	図書館を建設。富田碎花旧居を整備。
昭和 63 年	谷崎潤一郎記念館を建設。芦屋市文化振興財団を設立。スポーツ振興審議会を設置。
平成元年	芦屋市生涯学習推進懇談会を設置。文化財保護条例を制定し文化財保護審議会を設置。芦屋市コミスク連絡協議会を発足。スポーツ振興基金条例を制定。
平成 2 年	谷崎潤一郎記念館が佐藤春夫記念館と姉妹館提携。富田碎花賞を創設。文部省指定の生涯学習モデル事業を実施（4 年度まで）。芦屋市指定文化財を指定。生涯学習意識調査を実施。芦屋市スポーツリーダーバンクを設置。図書館打出分室を開館。
平成 3 年	美術博物館を建設。海技大学校市民公開講座を開講。学習情報ガイドを創刊。図書館大原分室を開館。図書館広域利用を開始。
平成 4 年	子育てセンターを開設。生涯学習フォーラムを開催。芦屋市生涯学習推進基本構想を策定。
平成 7 年	阪神・淡路大震災による被害のため、青少年野外活動センターを閉鎖。
平成 8 年	社会教育文化課を生涯学習課に改称。
平成 9 年	スポーツ・青少年課を新設。
平成 11 年	県立国際高校オープンカレッジを開講。
平成 12 年	芦屋市生涯学習出前講座を開設。
平成 16 年	芦屋市総合公園が完成。
平成 17 年	文化財課を生涯学習課に統合。
平成 19 年	「芦屋市市民参画及び協働の推進に関する条例」施行。 あしや市民活動センターを開所。
平成 20 年	芦屋川セカンドカレッジを、芦屋川カレッジ大学院に改称。

(2) 芦屋川カレッジ, 芦屋川カレッジ大学院の状況

ア 芦屋川カレッジ

期間 H20.5.14~H21.3.18

内 容	回数	受 講 者 数			年 齢			延べ出席者数	平均出席率	全回出席者数	
		男	女	計	最高齢	最年少	平均				
必修コース(午前)	回 36	人 44	人 66	人 110	歳 86	歳 60	歳 67	人 3,564	% 90	人 31	
選 択 コース (午後)	ゆったり芦屋	15	29	26	55	86	60	68	662	80	18
	食のふしぎ	15	15	40	55	79	60	67	707	86	28

イ 芦屋川カレッジ聴講生

期間 H20.5.28~H21.2.25

コ ー ス 名		回数	受 講 者 数			延べ出席者数	平均出席率	全回出席者数
			男	女	計			
選択コース	ゆったり芦屋	回 9	人 17	人 12	人 29	人 167	% 64	人 3
	食のふしぎ	9	22	33	55	349	71	3

ウ 芦屋川カレッジ大学院

期間 H20.5.19~H21.3.2

コース名	回数	受 講 者 数			延べ出席者数	平均出席率	全回出席者数
		男	女	計			
国際文化コース	回 18	人 60	人 40	人 100	人 1,545	% 86	人 23

(3) 生涯学習に関する意識調査(抜粋)

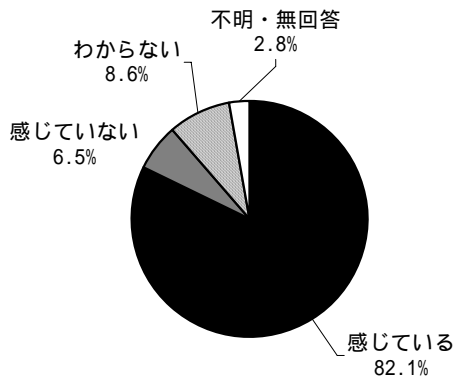
生涯学習の現状について

問1 あなたは、学習や活動の必要性を感じていますか。(SA)

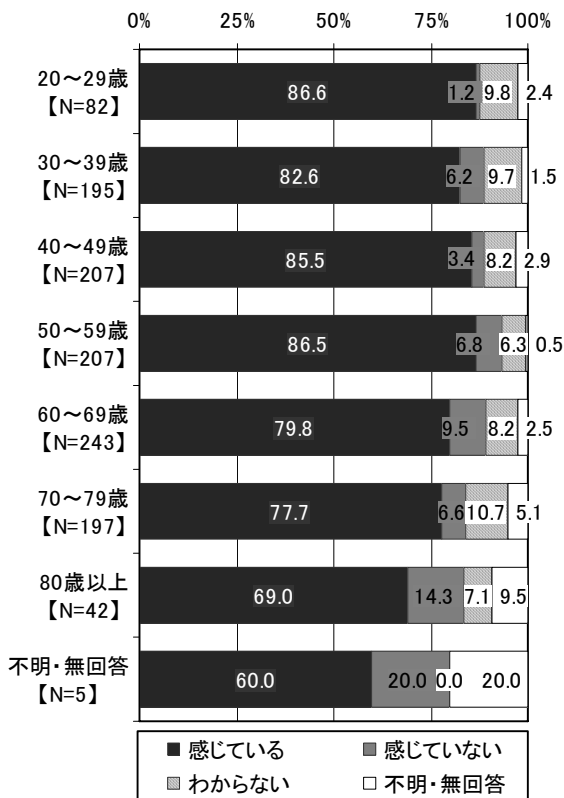
学習や活動の必要性を感じているかについて、「感じている」が82.1%と最も高く、次いで「感じていない」が6.5%となっています。

年齢別でみると、「感じている」は、20～29歳が86.6%、50～59歳が86.5%となっています。
小学校区別でみると、「感じている」は、宮川が87.1%、山手が85.0%となっています。

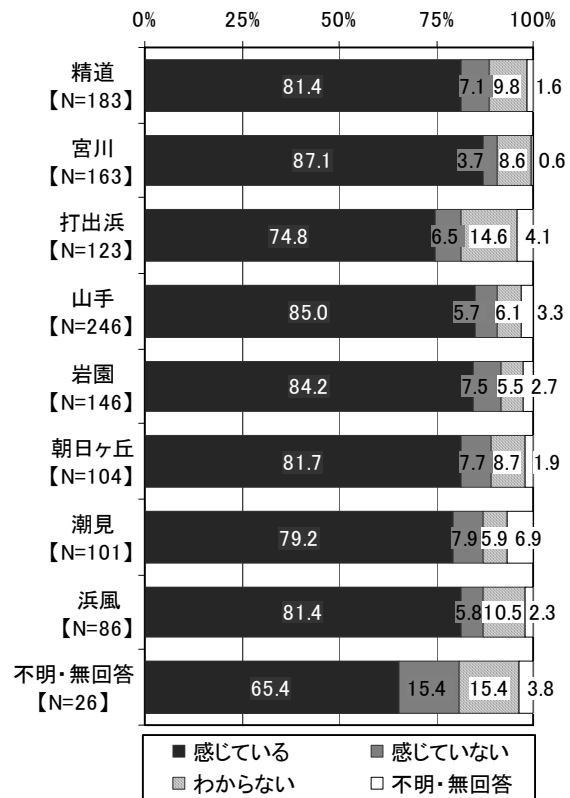
(SA) N=1,178



【年齢別】



【小学校区別】



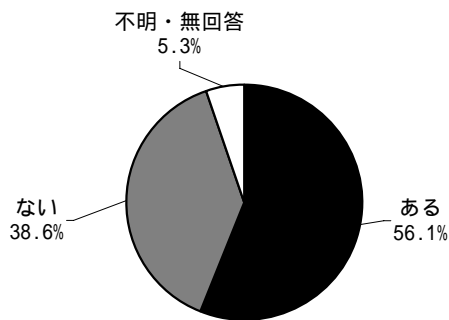
問2 あなたは、過去1年間に、問3の項目に関連するような学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などをしたことがありますか。(SA)

過去1年間に学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などをしたことがあるかについて、「ある」が56.1%、「ない」が38.6%となっています。

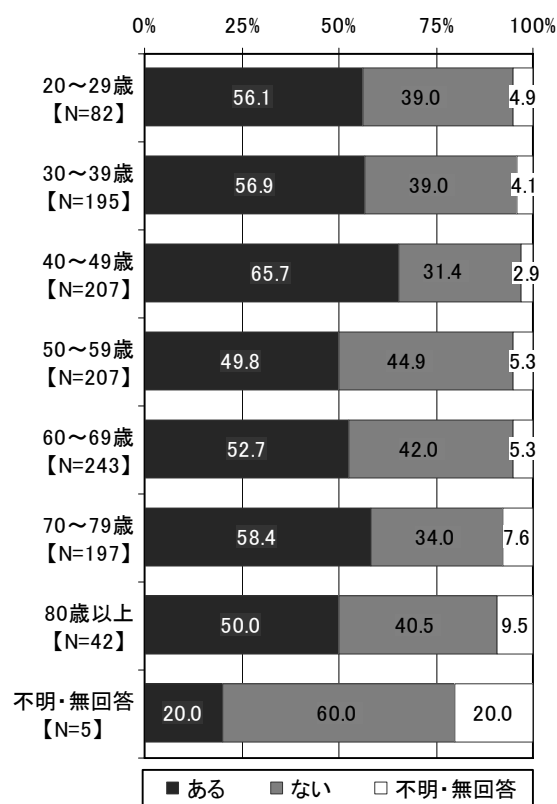
年齢別でみると、「ある」は40～49歳が65.7%、70～79歳が58.4%となっています。

小学校区別でみると、「ある」は潮見が63.4%、山手が60.2%となっています。

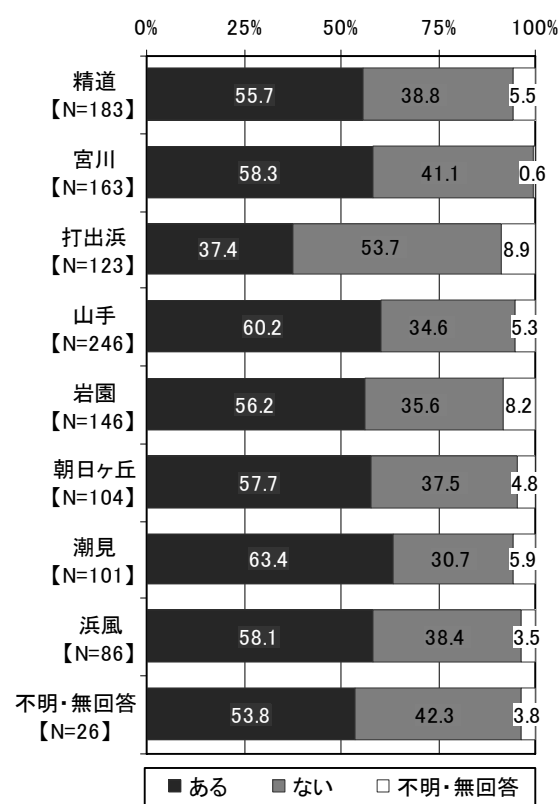
(SA) N=1,178



【年齢別】



【小学校区別】



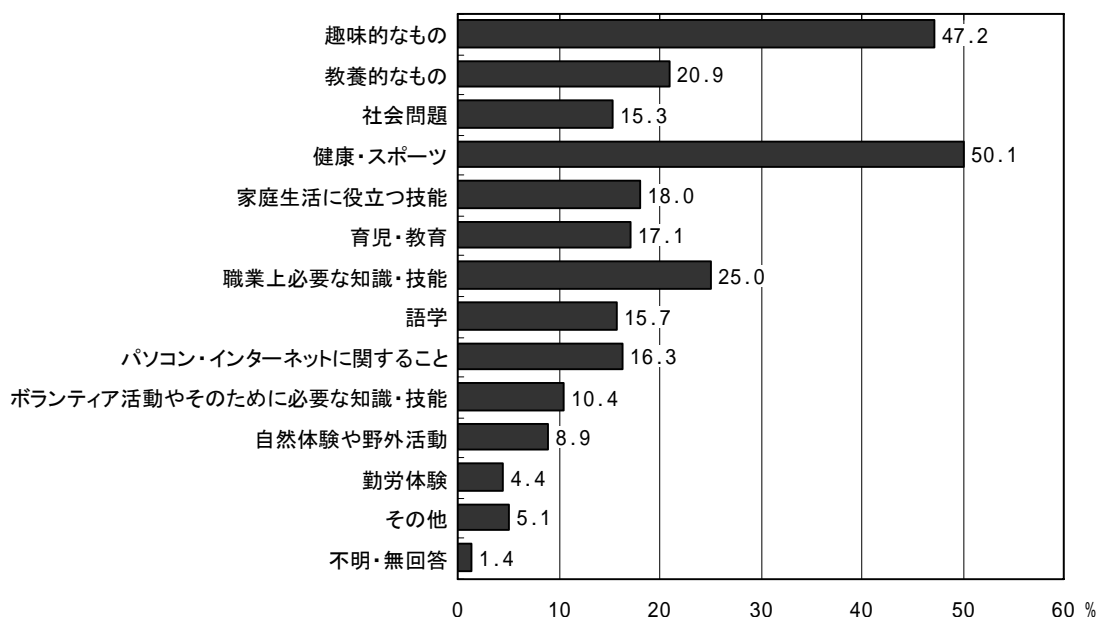
問3 問2で「ある」を選ばれた方におたずねします。それはどのようなものですか。(MA)

活動の内容について、「健康・スポーツ」が50.1%で最も高く、次いで「趣味的なもの」が47.2%となっています。

性別で見ると、男性では「健康・スポーツ」が49.8%で最も高く、女性では「趣味的なもの」が52.8%で最も高くなっています。

年齢別で見ると、20～29歳では「職業上必要な知識・技能」、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「健康・スポーツ」、60～69歳、70～79歳、80歳以上では「趣味的なもの」が最も高くなっています。

(MA) N=661



【性別】

上段:度数 下段:%	合計	趣味的なもの	教養的なもの	社会問題	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能
男性	235 100.0	88 37.4	69 29.4	48 20.4	117 49.8	15 6.4	16 6.8	77 32.8
女性	424 100.0	224 52.8	69 16.3	52 12.3	212 50.0	103 24.3	97 22.9	88 20.8
不明・無回答	2 100.0	-	-	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-

上段:度数 下段:%	語学	パソコン・インターネットに関すること	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や野外活動	勤労体験	その他	不明・無回答
男性	33 14.0	50 21.3	20 8.5	25 10.6	6 2.6	12 5.1	4 1.7
女性	71 16.7	58 13.7	49 11.6	33 7.8	23 5.4	22 5.2	5 1.2
不明・無回答	-	-	-	1 50.0	-	-	-

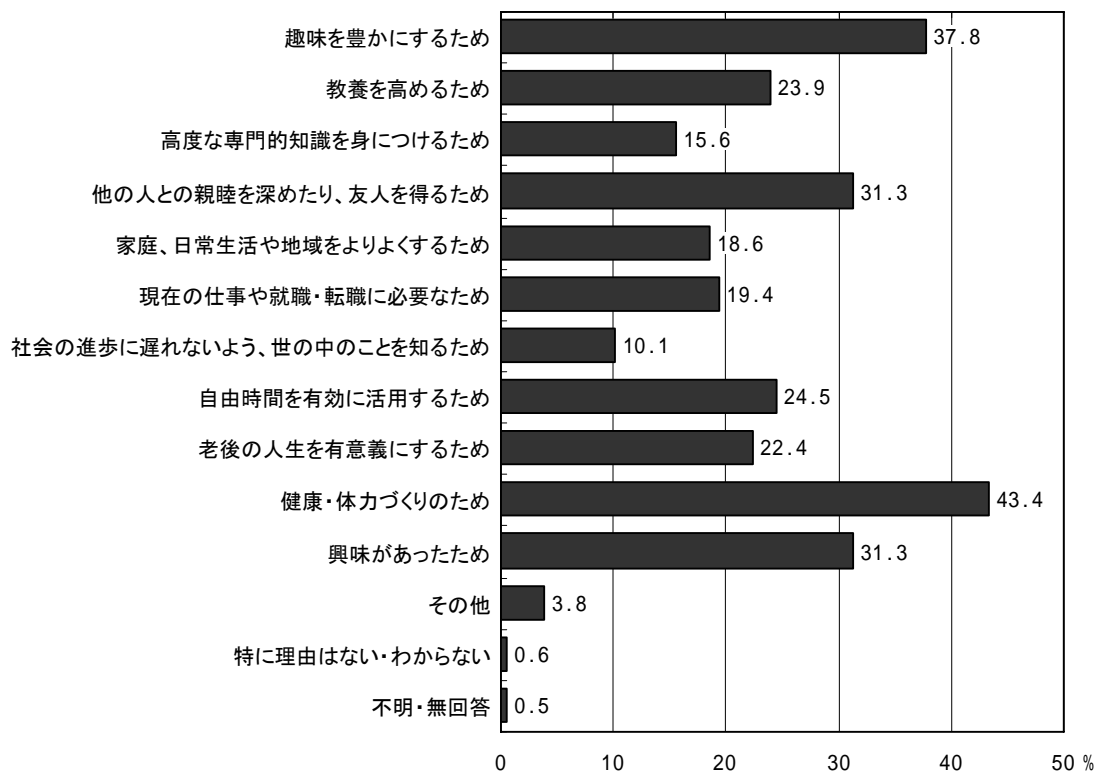
【年齢別】

上段:度数 下段:%	合計	趣味的な もの	教養的な もの	社会問題	健康・ スポーツ	家庭生活に 役立つ技能	育児・教育	職業上必要 な知識・ 技能
20～29歳	46 100.0	17 37.0	6 13.0	2 4.3	14 30.4	7 15.2	2 4.3	30 65.2
30～39歳	111 100.0	39 35.1	12 10.8	10 9.0	52 46.8	21 18.9	38 34.2	34 30.6
40～49歳	136 100.0	44 32.4	20 14.7	18 13.2	64 47.1	20 14.7	44 32.4	44 32.4
50～59歳	103 100.0	47 45.6	21 20.4	14 13.6	50 48.5	15 14.6	9 8.7	28 27.2
60～69歳	128 100.0	73 57.0	35 27.3	22 17.2	71 55.5	25 19.5	12 9.4	22 17.2
70～79歳	115 100.0	76 66.1	36 31.3	28 24.3	65 56.5	27 23.5	6 5.2	6 5.2
80歳以上	21 100.0	16 76.2	8 38.1	7 33.3	14 66.7	4 19.0	2 9.5	1 4.8
不明・無回答	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-
上段:度数 下段:%	語学	パソコン・ インター ネットに関 すること	ボランティ ア活動やそ ののために必 要な知識・ 技能	自然体験や 野外活動	勤労体験	その他	不明・ 無回答	
20～29歳	8 17.4	4 8.7	4 8.7	2 4.3	5 10.9	2 4.3	-	-
30～39歳	23 20.7	14 12.6	3 2.7	13 11.7	4 3.6	1 0.9	2 1.8	-
40～49歳	24 17.6	15 11.0	8 5.9	11 8.1	6 4.4	5 3.7	4 2.9	-
50～59歳	17 16.5	15 14.6	14 13.6	4 3.9	2 1.9	5 4.9	1 1.0	-
60～69歳	12 9.4	30 23.4	20 15.6	11 8.6	6 4.7	15 11.7	1 0.8	-
70～79歳	19 16.5	28 24.3	17 14.8	14 12.2	5 4.3	5 4.3	1 0.9	-
80歳以上	1 4.8	2 9.5	3 14.3	3 14.3	1 4.8	1 4.8	-	-
不明・無回答	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-

問4 問2で「ある」を選ばれた方におたずねします。このような学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などをしようと思ったきっかけは何ですか。(MA)

活動をしようと思ったきっかけについて、「健康・体力づくりのため」が43.4%で最も高く、次いで「趣味を豊かにするため」が37.8%となっています。

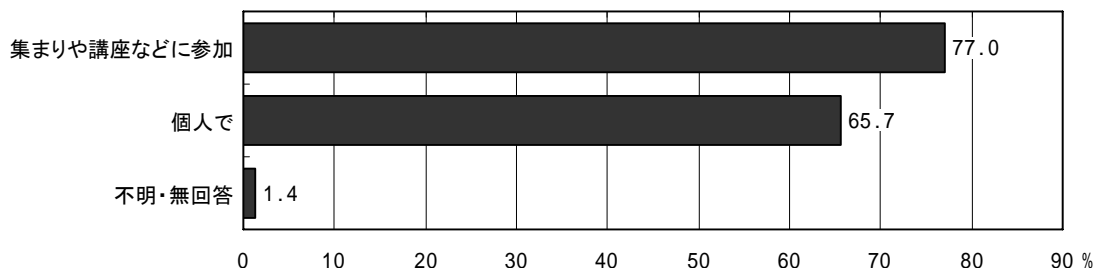
(MA) N=661



問5 問2で「ある」を選ばれた方におたずねします。お答えいただいた学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などはどのような方法で行いましたか。(MA)

活動をどのような方法で行っているかについて，「集まりや講座などに参加」が77.0%，「個人で」が65.7%となっています。

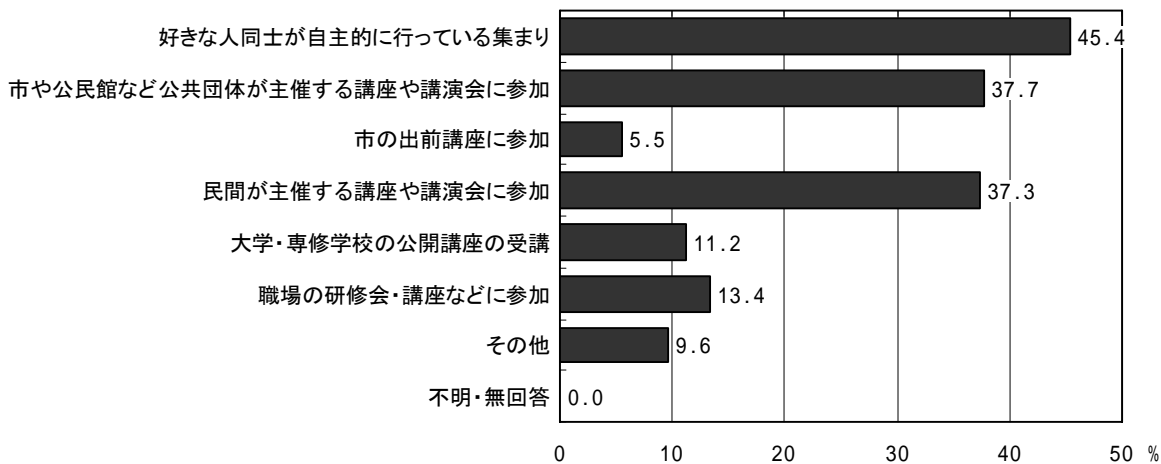
(MA) N=661



問5 - 1 問5で「集まりや講座などに参加」を選ばれた方におたずねします。それはどのような集まりですか。(MA)

どのような集まりや講座に参加したかについて，「好きな人同士が自主的に行っている集まり」が45.4%で最も高く，次いで「市や公民館など公共団体が主催する講座や講演会に参加」が37.7%となっています。

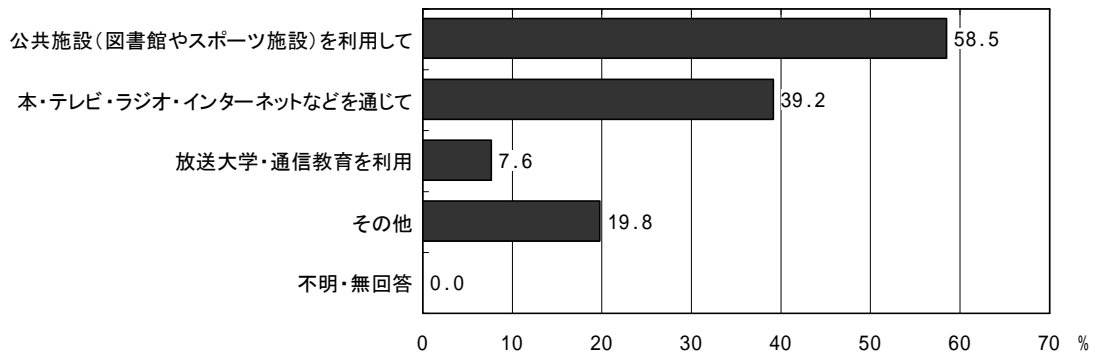
(MA) N=509



問5 - 2 問5で「個人で」を選ばれた方におたずねします。それはどのように行いましたか。(MA)

個人でどのように行ったかについて、「公共施設（図書館やスポーツ施設）を利用して」が58.5%で最も高く、次いで「本・テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて」が39.2%となっています。

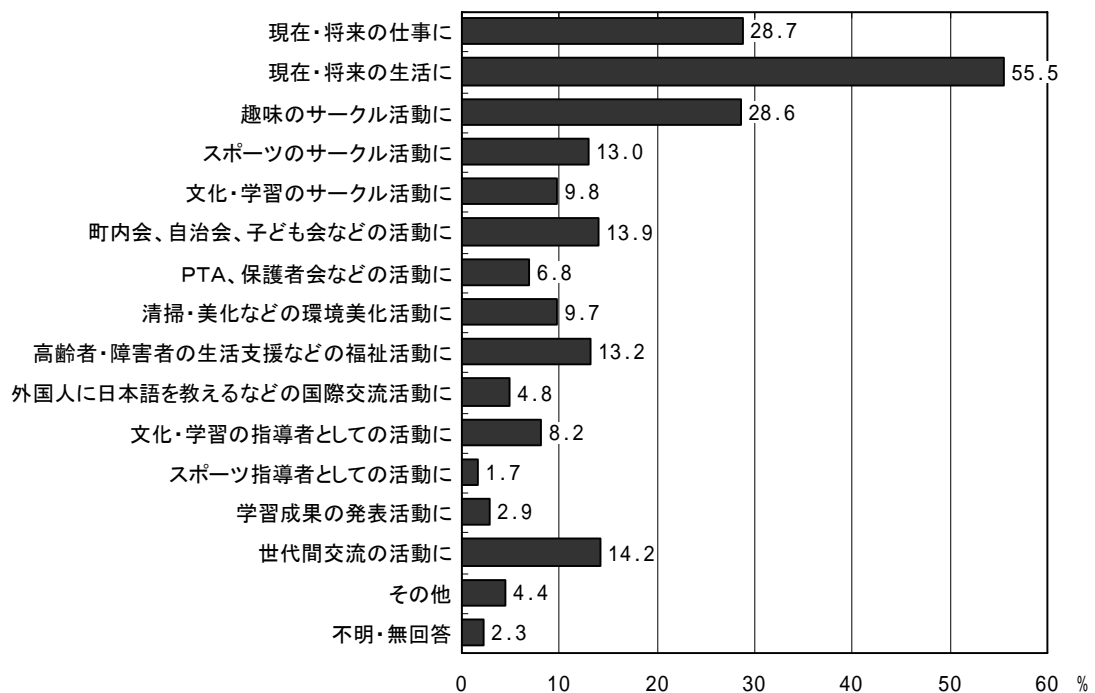
(MA) N=434



問6 問2で「ある」を選ばれた方におたずねします。あなたは学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などの成果をどのように活かしたいと思いますか。(MA)

活動の成果をどのように活かしたいかについて、「現在・将来の生活に」が55.5%と最も高く、次いで「現在・将来の仕事に」が28.7%となっています。

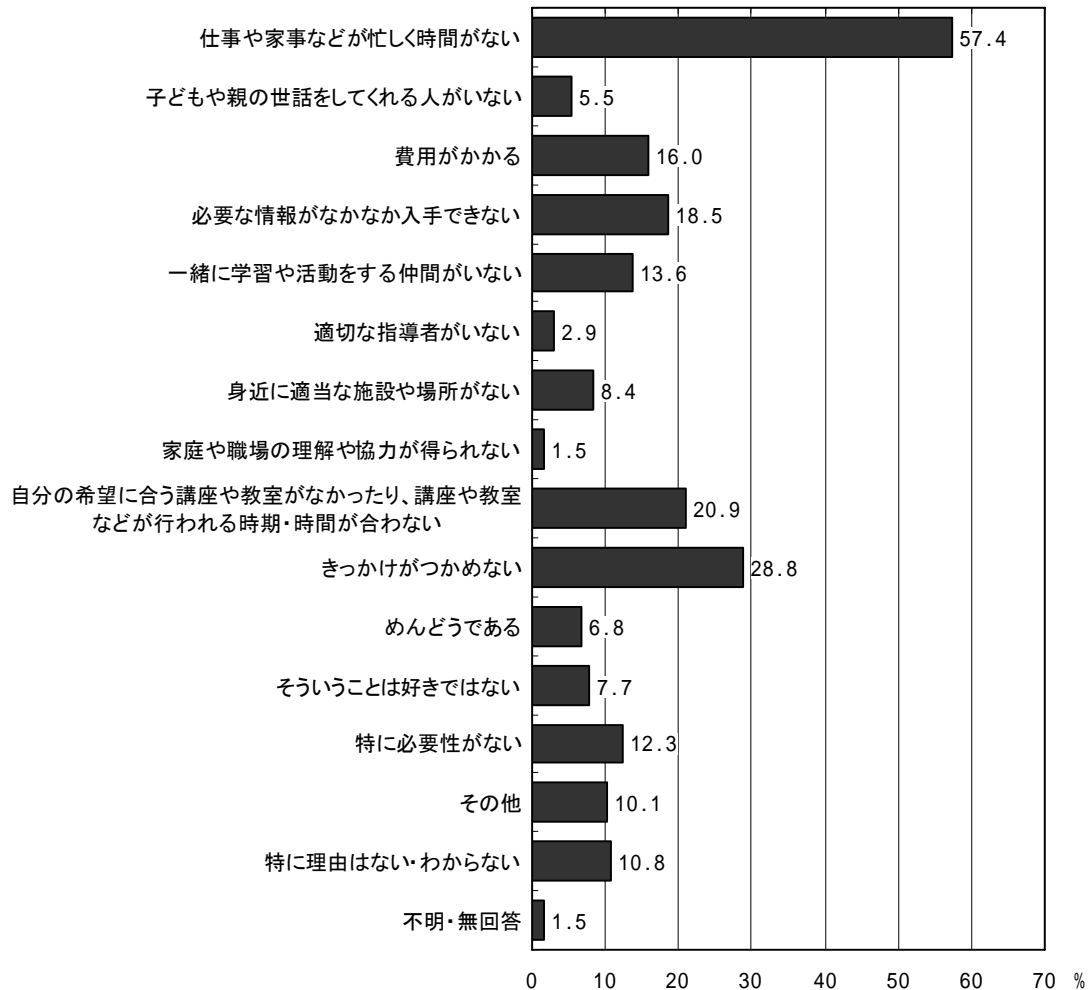
(MA) N=661



問7 問2で「ない」を選ばれた方におたずねします。その理由は何ですか。(MA)

活動できない理由について、「仕事や家事などが忙しく時間がない」が57.4%，次いで「きっかけがつかめない」が28.8%となっています。

(MA) N=455



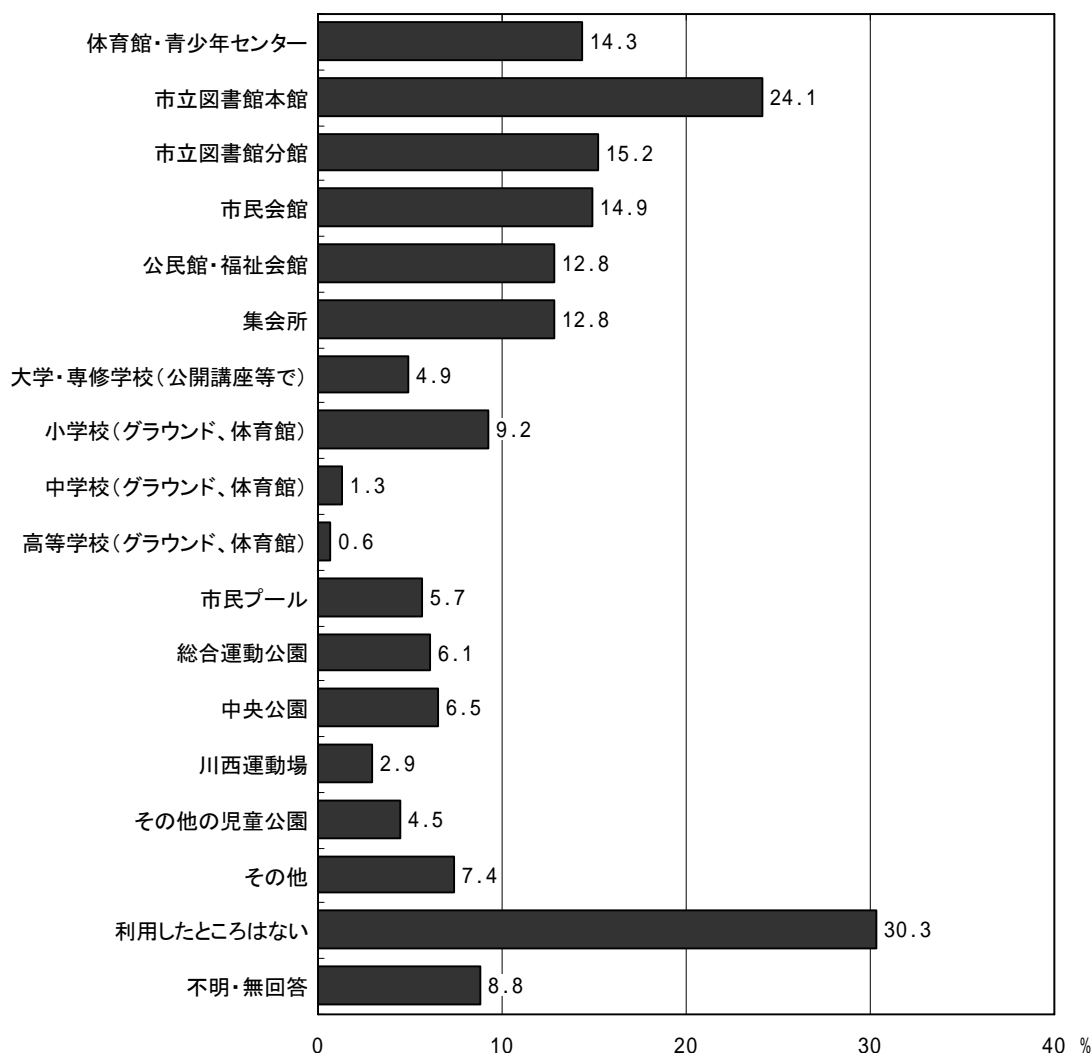
問8 この1年間に学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などをするため，次のような施設を利用したことがありますか。(MA)

活動をするため利用した施設について，「市立図書館本館」が24.1%で最も高く，次いで「市立図書館分館」が15.2%となっています。

年齢別でみると，70歳未満では「市立図書館本館」，70～79歳では「市民会館」，80歳以上では「市民会館」「公民館・福祉会館」が最も高くなっています。

小学校区別でみると，精道，宮川，打出浜，朝日ヶ丘，潮見，浜風では「市立図書館本館」，山手では「市立図書館分館」「市民会館」，岩園では「市立図書館分館」が最も高くなっています。

(MA) N=1,178



【年齢別】

上段:度数 下段:%	合計	体育館・ 青少年セン ター	市立図書館 本館	市立図書館 分館	市民会館	公民館・ 福祉会館	集会所	大学・専修 学校(公開 講座等で)	小学校(グ ラウンド、 体育館)	中学校(グ ラウンド、 体育館)
20～29歳	82 100.0	1 1.2	20 24.4	9 11.0	1 1.2	4 4.9	2 2.4	9 11.0	3 3.7	- -
30～39歳	195 100.0	47 24.1	64 32.8	34 17.4	16 8.2	13 6.7	16 8.2	4 2.1	31 15.9	4 2.1
40～49歳	207 100.0	37 17.9	58 28.0	27 13.0	15 7.2	20 9.7	19 9.2	11 5.3	37 17.9	7 3.4
50～59歳	207 100.0	23 11.1	50 24.2	34 16.4	27 13.0	17 8.2	19 9.2	12 5.8	10 4.8	2 1.0
60～69歳	243 100.0	28 11.5	49 20.2	38 15.6	48 19.8	40 16.5	43 17.7	9 3.7	17 7.0	2 0.8
70～79歳	197 100.0	27 13.7	34 17.3	33 16.8	56 28.4	44 22.3	46 23.4	10 5.1	9 4.6	- -
80歳以上	42 100.0	4 9.5	8 19.0	4 9.5	12 28.6	12 28.6	6 14.3	3 7.1	1 2.4	- -
不明・無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	- -	- -	- -
上段:度数 下段:%	高等学校 (グラウン ド、体育 館)	市民プール	総合運動 公園	中央公園	川西運動場	その他の 児童公園	その他	利用したと ころはない	不明・ 無回答	
20～29歳	- -	5 6.1	3 3.7	2 2.4	- -	1 1.2	5 6.1	34 41.5	5 6.1	
30～39歳	1 0.5	14 7.2	20 10.3	26 13.3	6 3.1	27 13.8	14 7.2	53 27.2	9 4.6	
40～49歳	2 1.0	15 7.2	16 7.7	13 6.3	12 5.8	9 4.3	13 6.3	53 25.6	19 9.2	
50～59歳	2 1.0	9 4.3	10 4.8	9 4.3	1 0.5	4 1.9	17 8.2	84 40.6	10 4.8	
60～69歳	- -	10 4.1	11 4.5	9 3.7	4 1.6	11 4.5	16 6.6	78 32.1	28 11.5	
70～79歳	2 1.0	11 5.6	11 5.6	14 7.1	8 4.1	1 0.5	18 9.1	41 20.8	25 12.7	
80歳以上	- -	3 7.1	1 2.4	3 7.1	3 7.1	- -	4 9.5	11 26.2	7 16.7	
不明・無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 60.0	3 6.0	1 20.0	

【小学校区別】

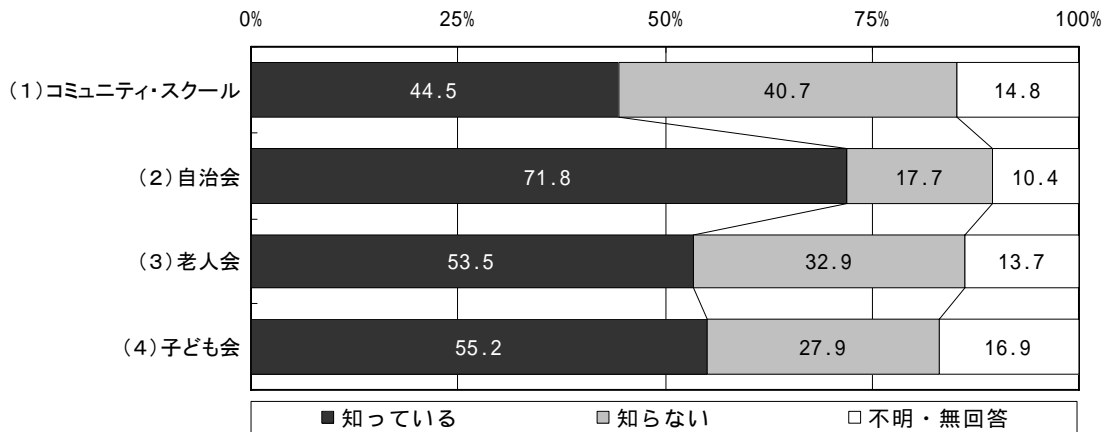
上段:度数 下段:%	合計	体育館・ 青少年セン ター	市立図書館 本館	市立図書館 分館	市民会館	公民館・ 福祉会館	集会所	大学・専修 学校(公開 講座等で)	小学校(グ ラウンド、 体育館)	中学校(グ ラウンド、 体育館)
精道	183 100.0	43 23.5	62 33.9	18 9.8	23 12.6	22 12.0	23 12.6	8 4.4	20 10.9	- -
宮川	163 100.0	28 17.2	45 27.6	32 19.6	20 12.3	21 12.9	27 16.6	9 5.5	22 13.5	2 1.2
打出浜	123 100.0	15 12.2	28 22.8	15 12.2	11 8.9	12 9.8	14 11.4	4 3.3	8 6.5	1 0.8
山手	246 100.0	30 12.2	43 17.5	45 18.3	45 18.3	38 15.4	26 10.6	20 8.1	16 6.5	5 2.0
岩園	146 100.0	17 11.6	27 18.5	33 22.6	24 16.4	18 12.3	12 8.2	7 4.8	18 12.3	3 2.1
朝日ヶ丘	104 100.0	7 6.7	24 23.1	22 21.2	20 19.2	13 12.5	12 11.5	7 6.7	9 8.7	1 1.0
潮見	101 100.0	13 12.9	30 29.7	5 5.0	13 12.9	10 9.9	23 22.8	1 1.0	4 4.0	- -
浜風	86 100.0	9 10.5	19 22.1	6 7.0	15 17.4	13 15.1	11 12.8	2 2.3	10 11.6	3 3.5
不明・無回答	26 100.0	6 23.1	6 23.1	3 11.5	5 19.2	4 15.4	3 11.5	- -	1 3.8	- -
上段:度数 下段:%	高等学校 (グラウン ド、体育 館)	市民プール	総合運動 公園	中央公園	川西運動場	その他の 児童公園	その他	利用したと ころはない	不明・ 無回答	
精道	1 0.5	12 6.6	14 7.7	13 7.1	9 4.9	11 6.0	10 5.5	51 27.9	12 6.6	
宮川	2 1.2	13 8.0	7 4.3	17 10.4	6 3.7	13 8.0	14 8.6	41 25.2	14 8.6	
打出浜	- -	9 7.3	6 4.9	2 1.6	2 1.6	5 4.1	7 5.7	49 39.8	8 6.5	
山手	- -	7 2.8	8 3.3	5 2.0	9 3.7	8 3.3	21 8.5	72 29.3	26 10.6	
岩園	1 0.7	8 5.5	6 4.1	8 5.5	5 3.4	7 4.8	11 7.5	44 30.1	17 11.6	
朝日ヶ丘	1 1.0	7 6.7	6 5.8	7 6.7	- -	4 3.8	9 8.7	35 33.7	8 7.7	
潮見	- -	5 5.0	14 13.9	8 7.9	1 1.0	- -	9 8.9	26 25.7	12 11.9	
浜風	2 2.3	5 5.8	10 11.6	14 16.3	2 2.3	5 5.8	5 5.8	30 34.9	3 3.5	
不明・無回答	- -	1 3.8	1 3.8	2 7.7	- -	- -	1 3.8	9 34.6	4 15.4	

問9 次のコミュニティ組織を知っていますか。また、参加したことがありますか。(SA)

【コミュニティ組織の認知状況】

コミュニティ組織を知っているかについて、「知っている」はコミュニティ・スクールが44.5%、自治会が71.8%、老人会が53.5%、子ども会が55.2%となっています。

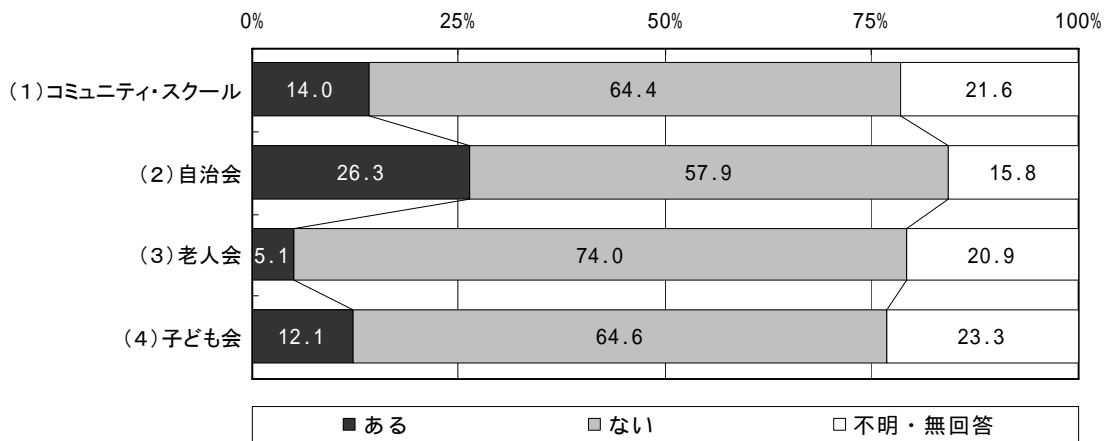
(SA) N=1,178



【コミュニティ組織の参加状況】

コミュニティ組織に参加したことがあるかについて、「ある」はコミュニティ・スクールが14.0%、自治会が26.3%、老人会が5.1%、子ども会が12.1%となっています。

(SA) N=1,178

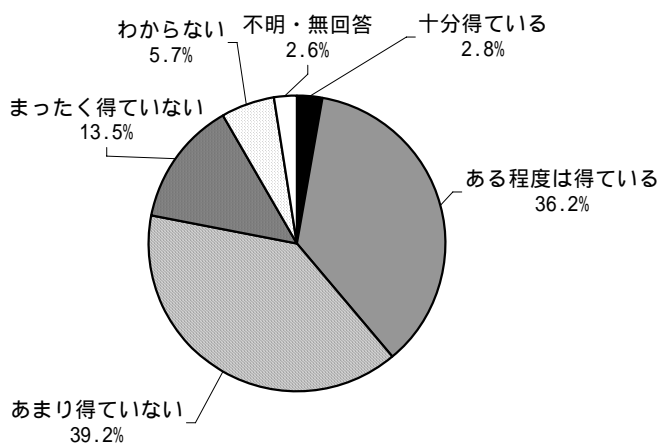


問 10 あなたは現在，学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などをする機会についての情報を，どの程度得ていると思いますか。(SA)

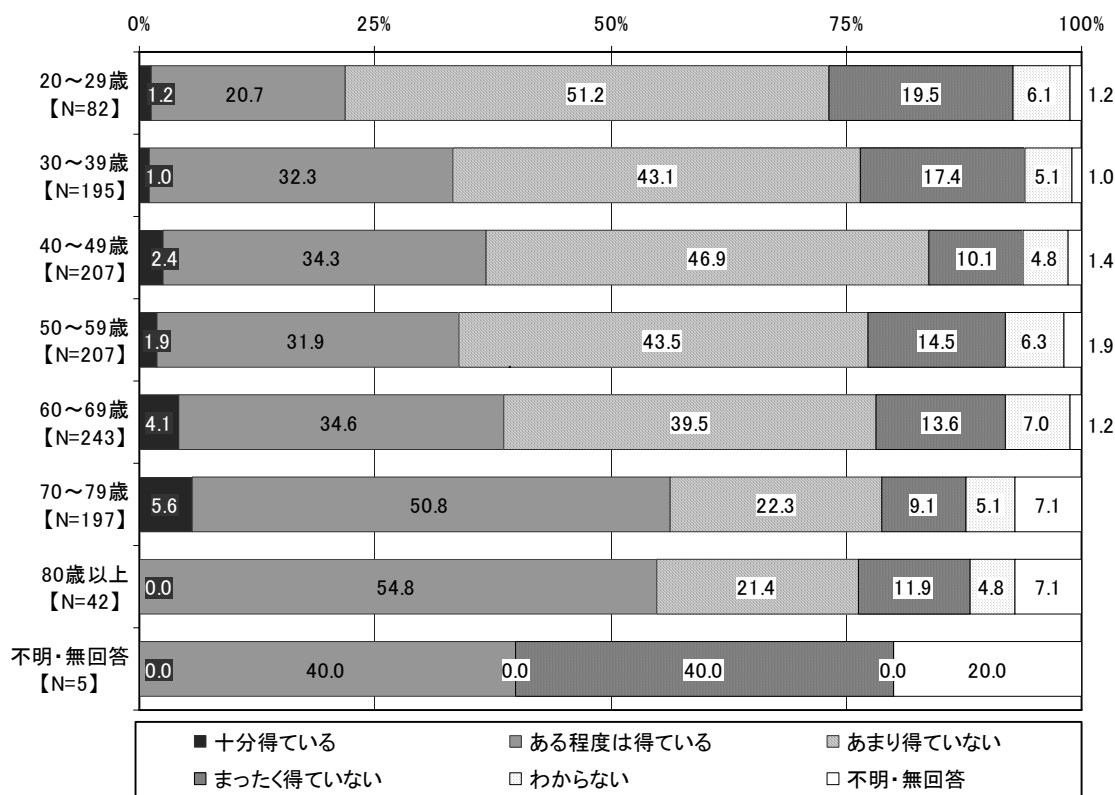
活動をする機会についての情報を，どの程度得ていると思うかについて，「あまり得ていない」が39.2%で最も高く，次いで「ある程度は得ている」が36.2%となっています。

年齢別でみると，70歳未満は「あまり得ていない」，70歳以上は「ある程度は得ている」が最も高くなっています。

(SA) N=1,178



【年齢別】

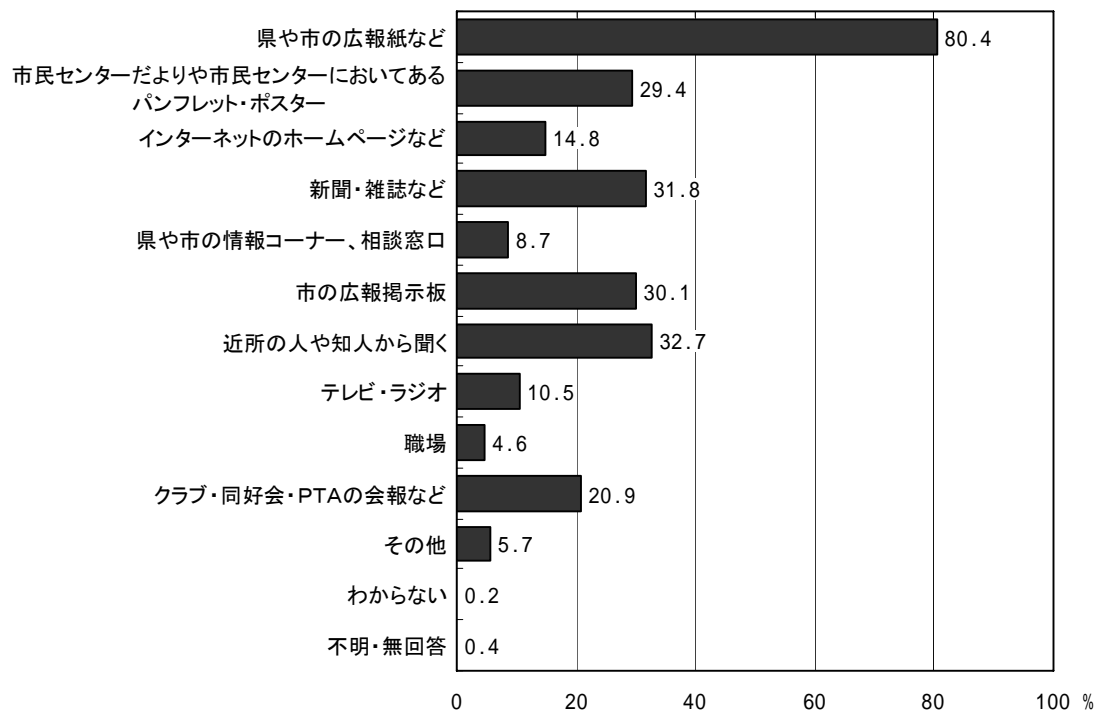


問 11 問 10 で「十分得ている」「ある程度は得ている」を選ばれた方におたずねします。あなたは、その情報を主に何で得ていますか。(MA)

情報を主に何で得ているかについて、「県や市の広報紙など」が 80.4%で最も高く、次いで「近所の人や知人から聞く」が 32.7%となっています。

年齢別でみると、20～29 歳で「インターネットのホームページなど」が 50.0%で最も高く、それ以外の年代では「県や市の広報紙など」が高くなっています。

(MA) N=459



【年齢別】

上段:度数 下段:%	合計	県や市の 広報紙など	市民センター だよりや市民 センターにお いてあるパン フレット・ポ スター	インターネッ トのホーム ページなど	新聞・雑誌 など	県や市の情報 コーナー、 相談窓口	市の広報 掲示板
20～29歳	18 100.0	7 38.9	6 33.3	9 50.0	8 44.4	-	5 27.8
30～39歳	65 100.0	52 80.0	23 35.4	14 21.5	14 21.5	2 3.1	16 24.6
40～49歳	76 100.0	66 86.8	17 22.4	15 19.7	21 27.6	2 2.6	13 17.1
50～59歳	70 100.0	57 81.4	23 32.9	14 20.0	26 37.1	9 12.9	22 31.4
60～69歳	94 100.0	79 84.0	26 27.7	10 10.6	30 31.9	9 9.6	38 40.4
70～79歳	111 100.0	88 79.3	30 27.0	6 5.4	41 36.9	16 14.4	36 32.4
80歳以上	23 100.0	19 82.6	9 39.1	-	6 26.1	2 8.7	7 30.4
不明・無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0
上段:度数 下段:%	近所の人や 知人から聞く	テレビ・ ラジオ	職場	クラブ・同好 会・PTAの 会報など	その他	わからない	不明・無回答
20～29歳	4 22.2	2 11.1	1 5.6	1 5.6	1 5.6	-	2 11.1
30～39歳	30 46.2	2 3.1	1 1.5	18 27.7	4 6.2	-	-
40～49歳	24 31.6	6 7.9	8 10.5	29 38.2	4 5.3	-	-
50～59歳	14 20.0	12 17.1	5 7.1	6 8.6	5 7.1	-	-
60～69歳	37 39.4	8 8.5	5 5.3	10 10.6	5 5.3	-	-
70～79歳	35 31.5	13 11.7	-	23 20.7	5 4.5	1 0.9	-
80歳以上	6 26.1	5 21.7	1 4.3	9 39.1	1 4.3	-	-
不明・無回答	-	-	-	-	1 50.0	-	-

<すべての方におたずねします。>

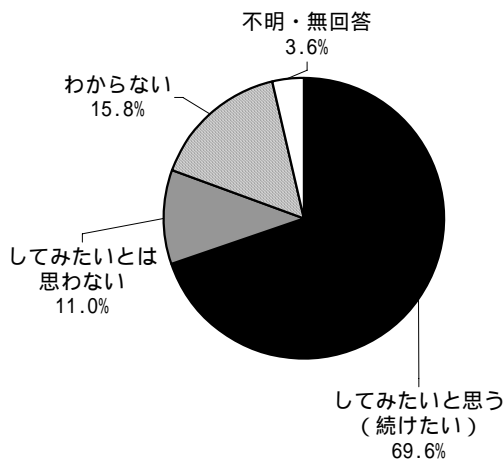
問 12 あなたは今後、(現在の学習や活動などの継続も含めて) 色々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などをしてみたいと思いますか。(SA)

今後、活動をしてみたいと思うかについて、「してみたいと思う(続けたい)」が69.6%、「してみたいとは思わない」が11.0%となっています。

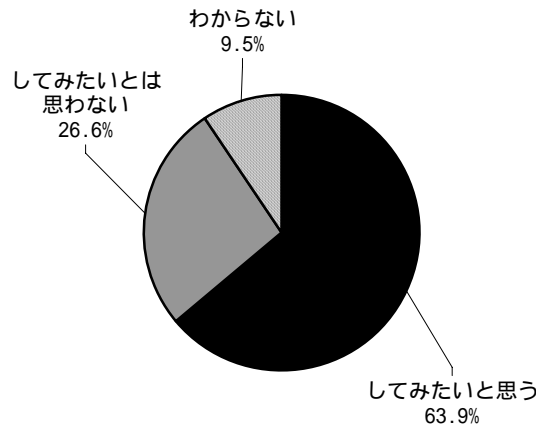
全国の平成17年「生涯学習に関する世論調査」と比較すると、「してみたいと思う」が5.7ポイント高くなっています。

性別でみると、「してみたいと思う(続けたい)」では、女性が男性より3.2ポイント高くなっています。

(SA) N=1,178

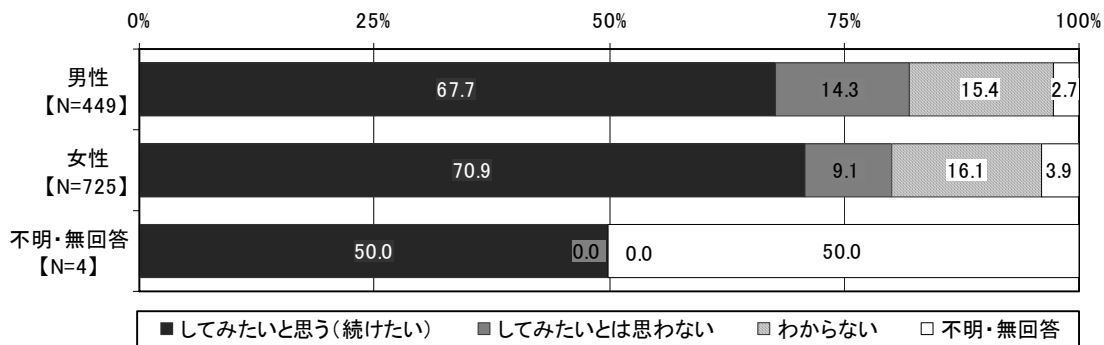


(SA) N=3,489



資料：平成17年「生涯学習に関する世論調査」

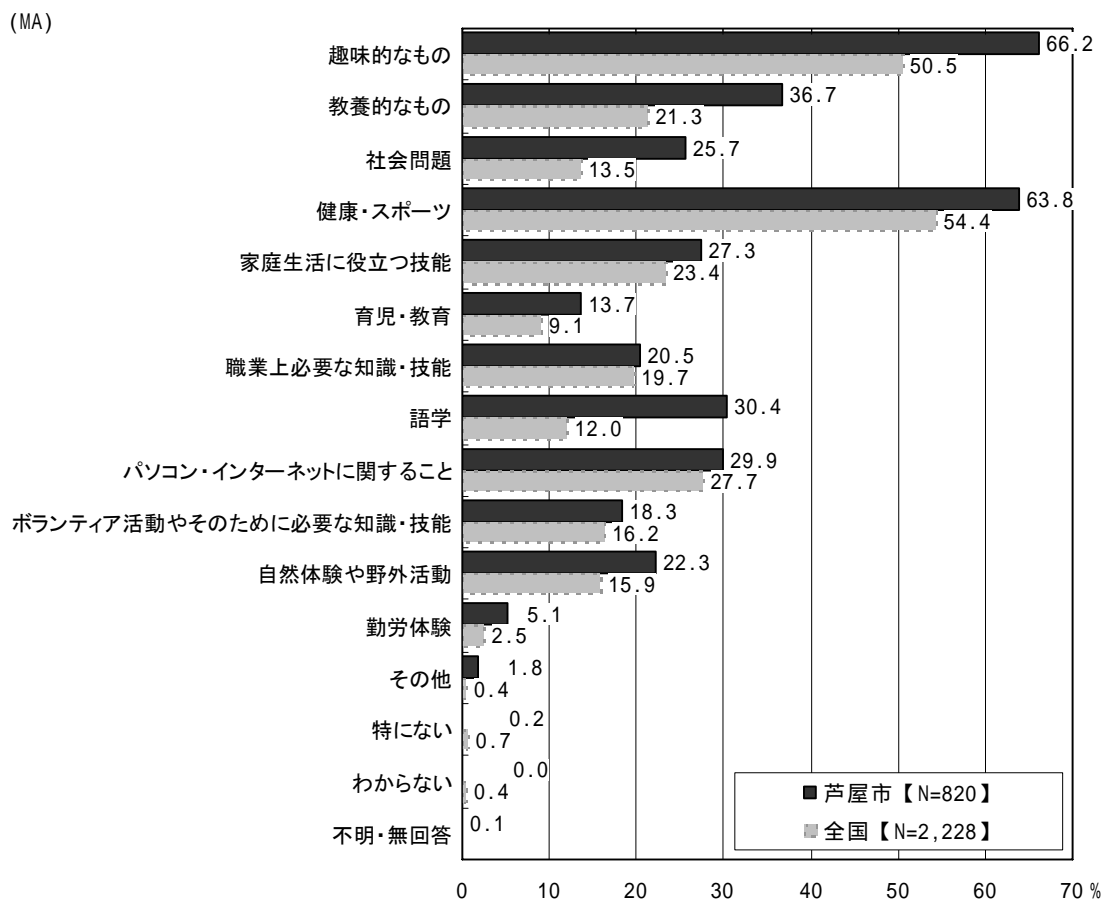
【年齢別】



問 13 問 12「してみたい」を選ばれた方におたずねします。あなたは、どのような学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などをしてみたいと思いますか。(MA)

どのような活動に参加してみたいかについて、「趣味的なもの」が66.2%で最も高く、次いで「健康・スポーツ」が63.8%となっています。全国の平成17年「生涯学習に関する世論調査と比較すると、全国との差が最も大きいものは、「語学」で18.4ポイント上回っています。

性別でみると、男性では「健康・スポーツ」が62.8%，女性では「趣味的なもの」が74.5%で最も高くなっています。



資料：平成17年「生涯学習に関する世論調査」

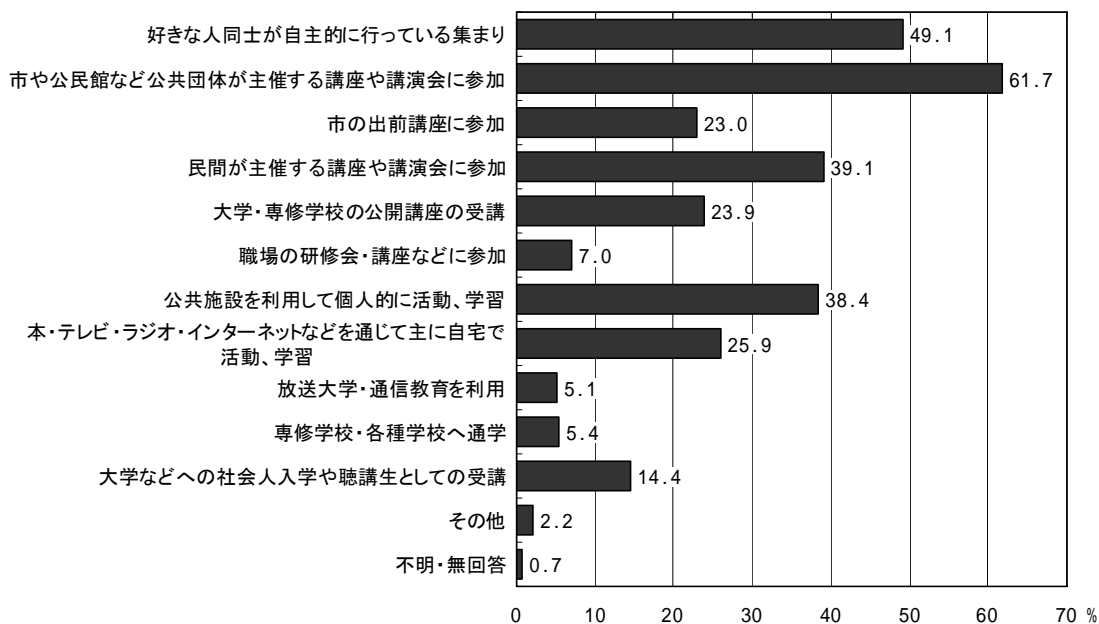
【性別】

上段:度数 下段:%	合計	趣味的なもの	教養的なもの	社会問題	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	語学
男性	304 100.0	160 52.6	127 41.8	89 29.3	191 62.8	39 12.8	21 6.9	69 22.7	81 26.6
女性	514 100.0	383 74.5	174 33.9	122 23.7	331 64.4	185 36.0	91 17.7	99 19.3	168 32.7
不明・無回答	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-
上段:度数 下段:%	パソコン・インターネットに関すること	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や野外活動	勤労体験	その他	特にない	わからない	不明・無回答	
男性	100 32.9	51 16.8	87 28.6	15 4.9	3 1.0	-	-	1 0.3	
女性	145 28.2	99 19.3	95 18.5	27 5.3	12 2.3	2 0.4	-	-	
不明・無回答	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	

問 14 問 12「してみたい」を選ばれた方におたずねします。お答えいただいた学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などはどのような方法で行いたいですか。(MA)

活動をどのような方法で行いたいかについて、「市や公民館など公共団体が主催する講座や講演会に参加」が 61.7%で最も高く、次いで「好きな人同士が自主的に行っている集まり」が 49.1%となっています。

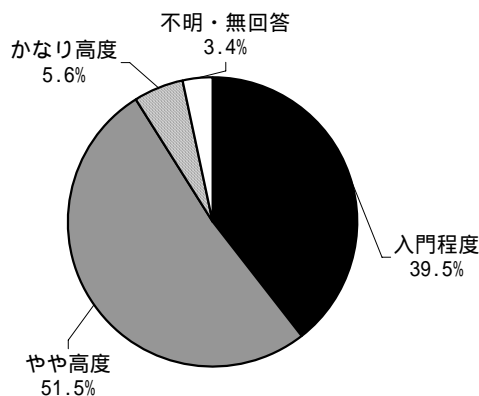
(MA) N=820



問 15 問 12「してみたい」を選ばれた方におたずねします。希望する学習活動，文化活動，ボランティア活動，地域活動などの程度はどの程度ですか。(SA)

希望する活動の程度について、「やや高度」が 51.5%と最も高く、次いで「入門程度」が 39.5%となっています。

(SA) N=820



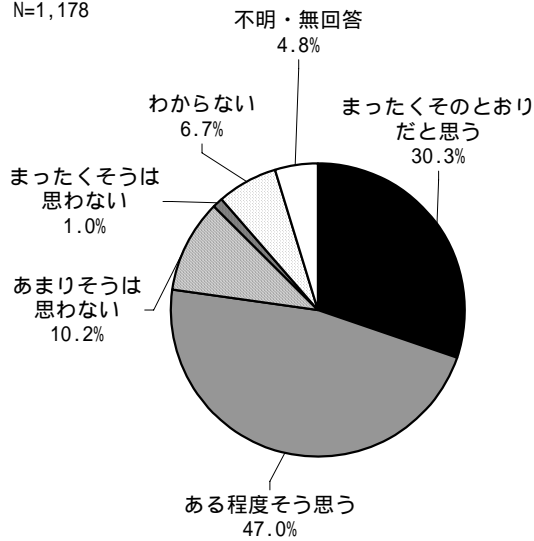
家庭の教育力について

問 16 あなたは、家庭の教育力が低下していると思いますか。(SA)

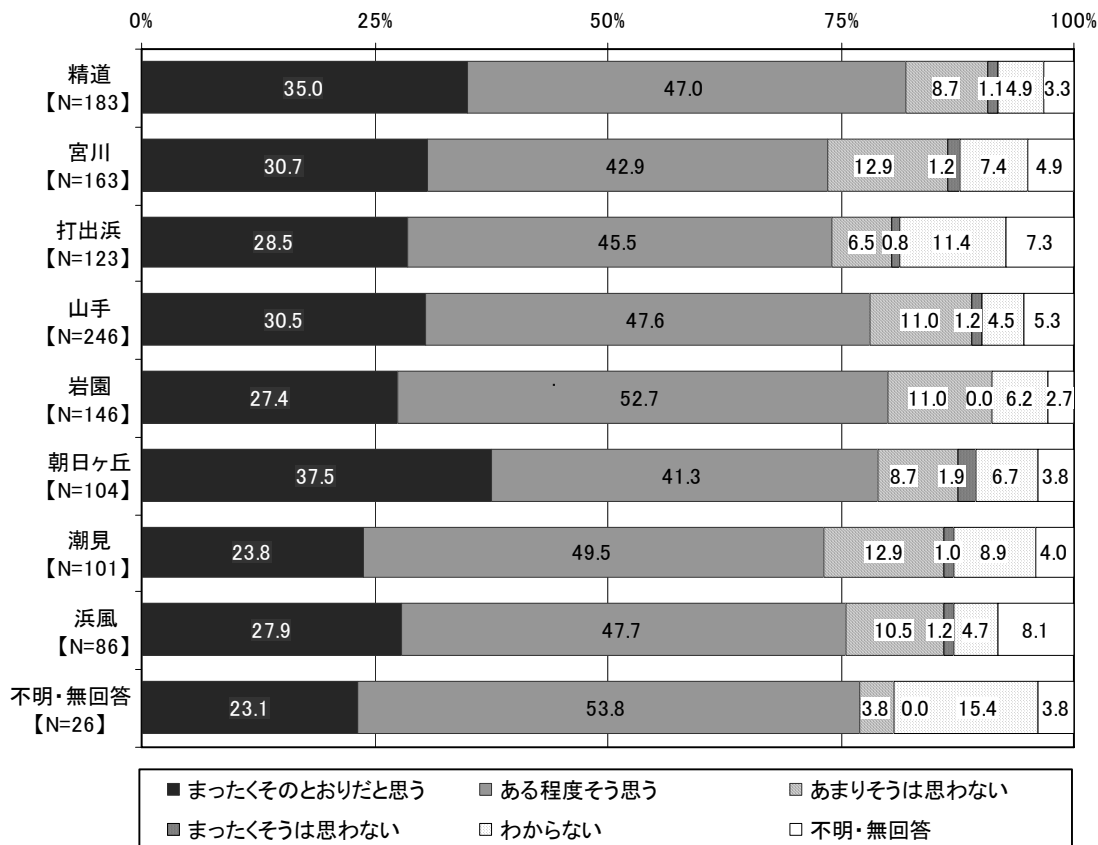
家庭の教育力が低下していると思うかについて、「ある程度そう思う」が47.0%で最も高く、次いで「まったくそのとおりだと思う」が30.3%となっています。

小学校区別でみると、精道、宮川、山手、朝日ヶ丘で「まったくそのとおりだと思う」が3割を超えています。

(SA) N=1,178



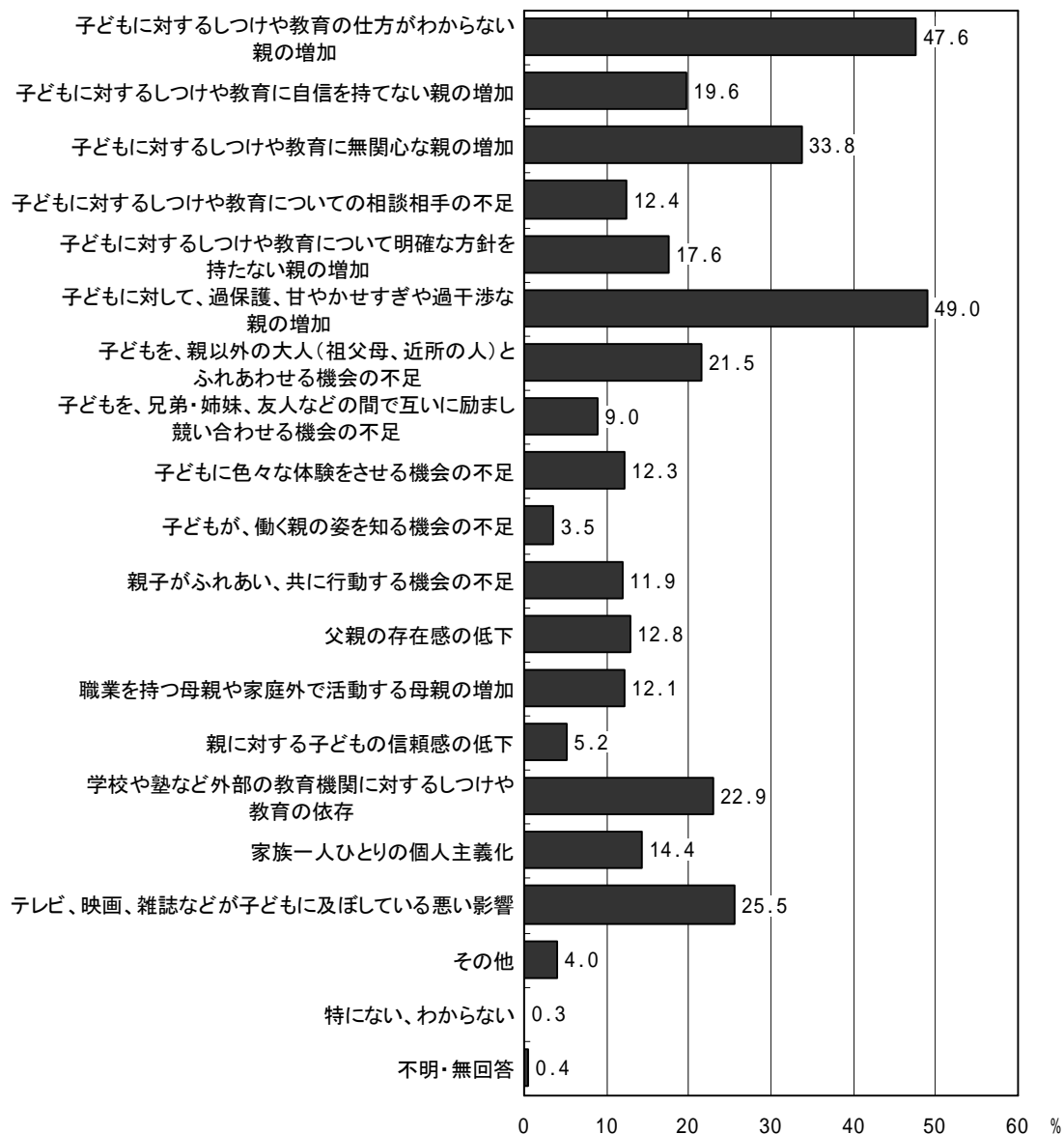
【小学校区別】



問 17 問 16 で「まったくそのとおりだと思う」「ある程度そう思う」を選ばれた方におたずねします。
「家庭の教育力」が低下している理由は何だと思えますか。(MA)

「家庭の教育力」が低下している理由について、「子どもに対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加」が 49.0%で最も高く、次いで「子どもに対するしつけや教育の仕方がわからない親の増加」が 47.6%となっています。

(MA) N=911



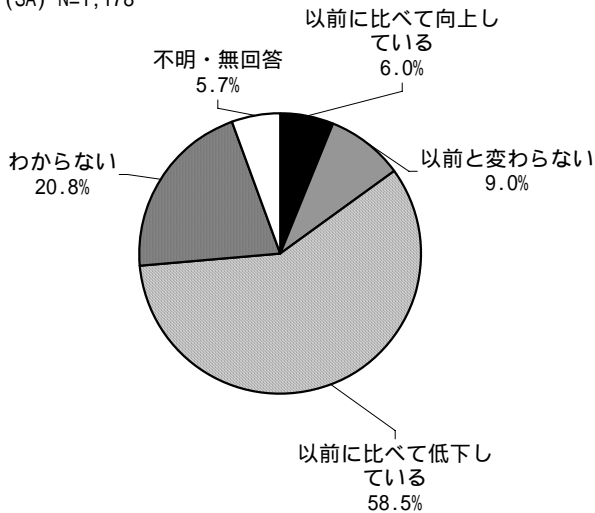
地域の教育力について

問 18 地域の教育力はあなたの子ども時代と比べてどのような状態にあると思われますか。(SA)

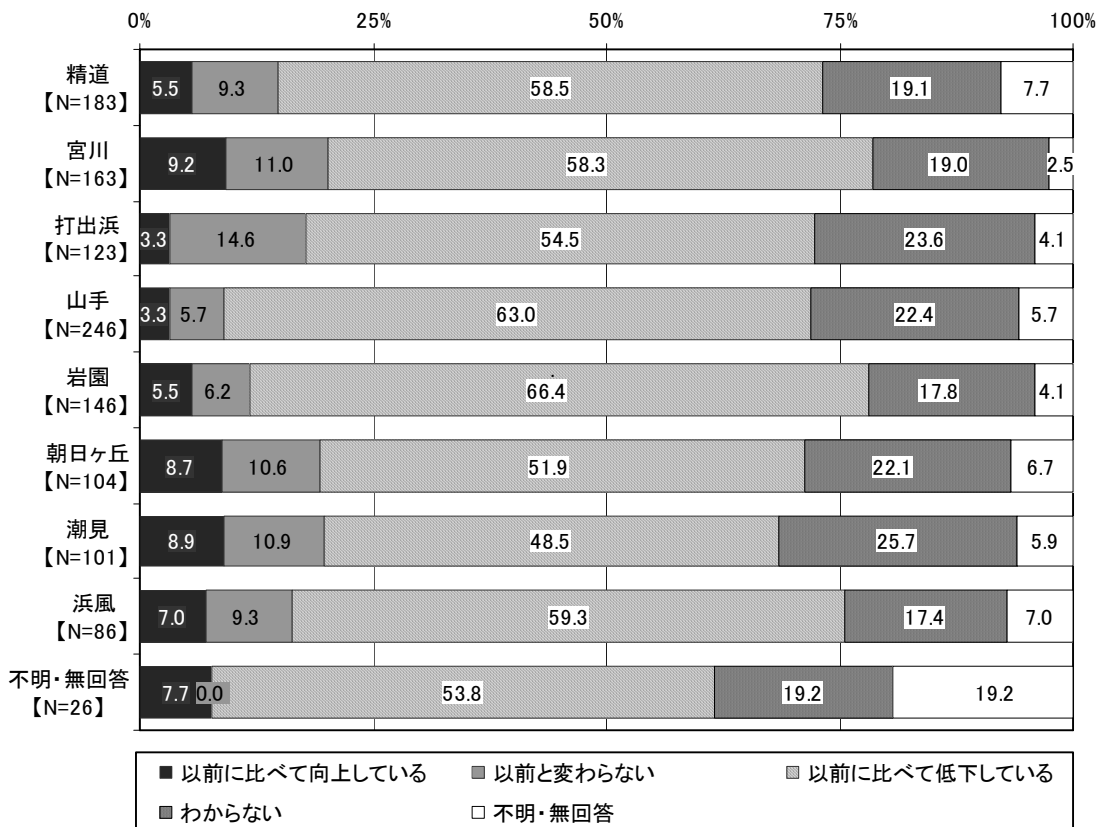
地域の教育力の状態について、「以前に比べて低下している」が 58.5%で最も高く、次いで「わからない」が 20.8%となっています。

小学校区別でみると、「以前に比べて低下している」が、山手，岩園で6割を超えています。

(SA) N=1,178



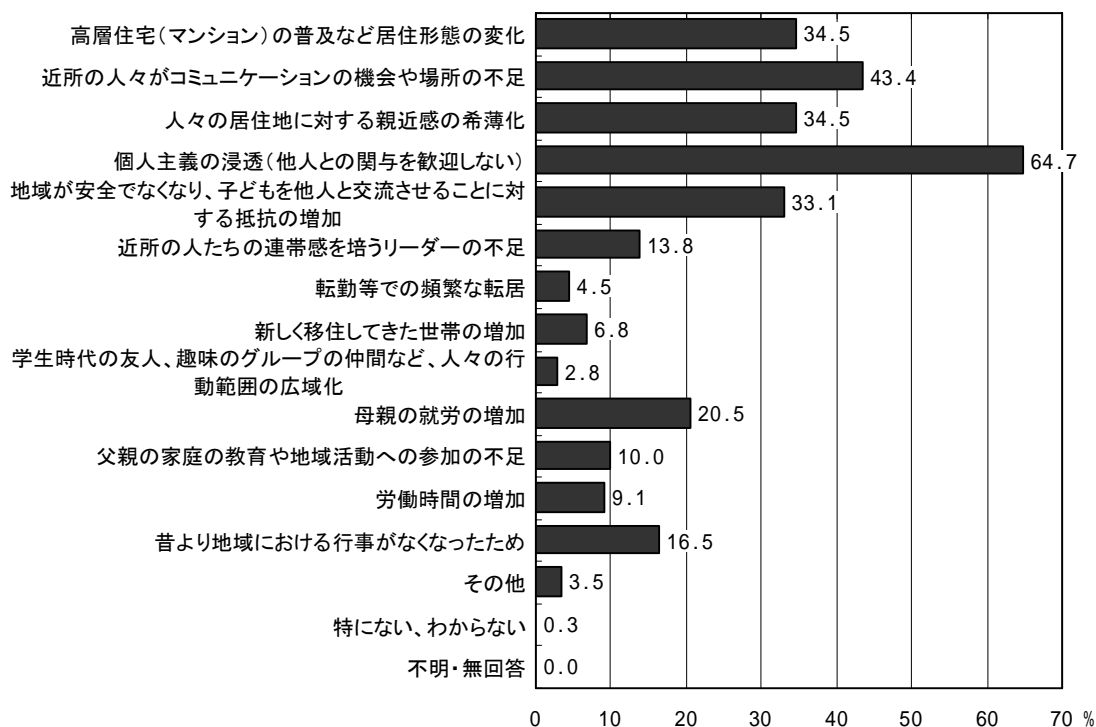
【小学校区別】



問 19 問 18「以前に比べて低下している」を選ばれた方におたずねします。「地域の教育力」が低下している理由は何だと思えますか。(MA)

「地域の教育力」が低下している理由について、「個人主義の浸透(他人との関与を歓迎しない)」が64.7%で最も高く、次いで「近所の人々がコミュニケーションの機会や場所の不足」が43.4%となっています。

(MA) N=689



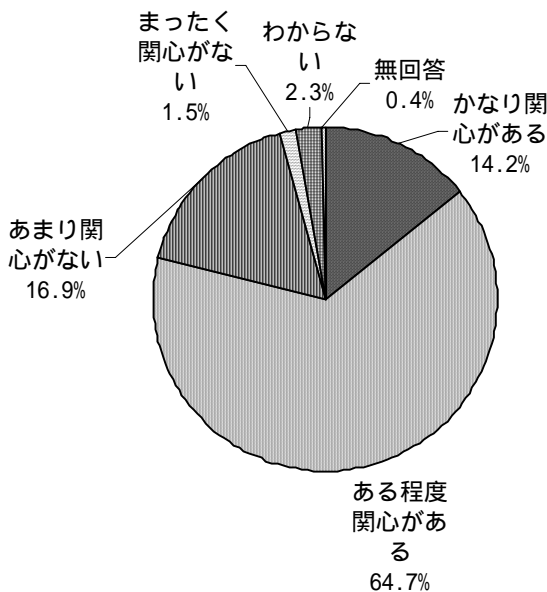
(4) 総合計画策定のための市民アンケート調査(抜粋)

地域のできごとへの関心や隣近所とのつきあいについて

1) 芦屋市内のできごとや動きに対する関心

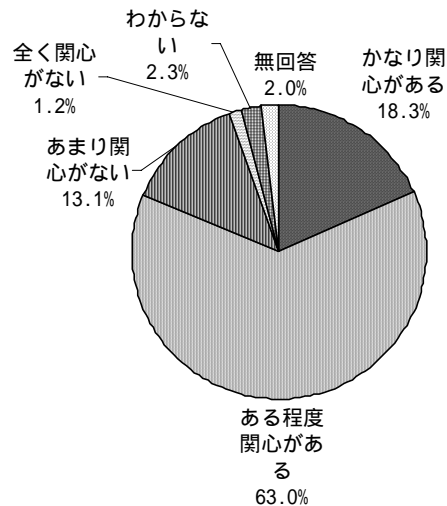
約8割の人が関心を持っている

問7 あなたは、芦屋市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N=1,811】



過去の調査結果(平成16年度調査)

問4 あなたは、芦屋市内のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印をつけてください。 【N=1,203】



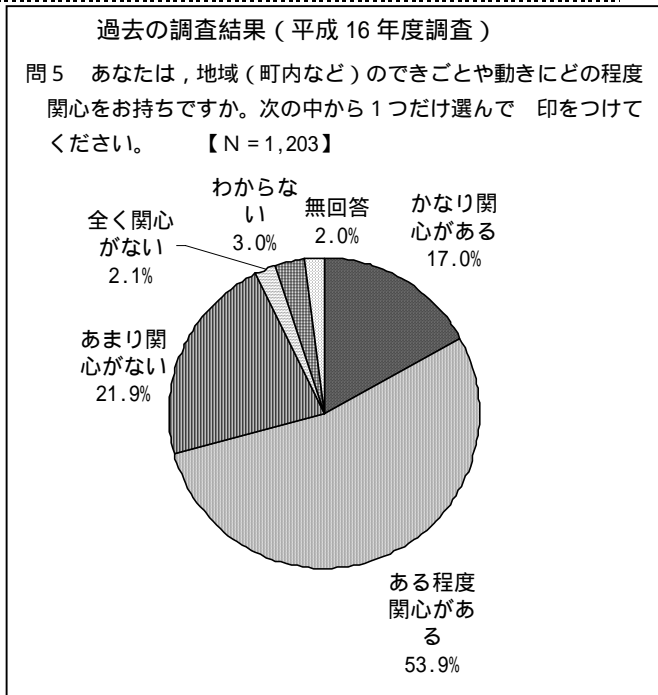
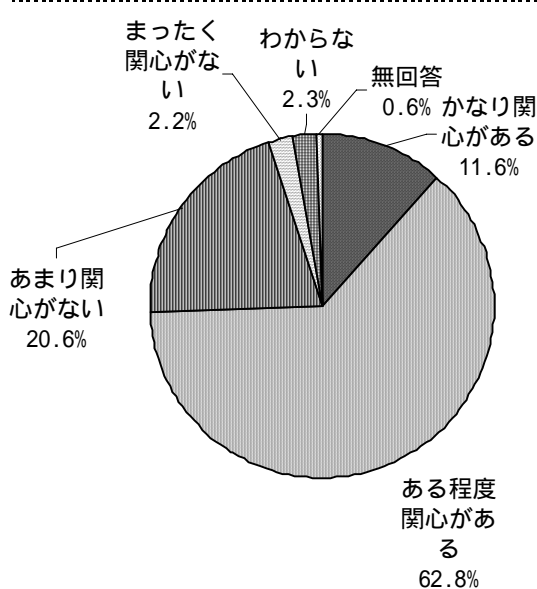
芦屋市内のできごとや動きについて、「ある程度関心がある」が64.7%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が16.9%となっている。

平成16年度調査と比較すると、「かなり関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心のある人」は81.3%から78.9%と2.4ポイント低下している。また、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた「関心のない人」は14.3%から18.4%と4.1ポイント上昇している。

2) 地域のできごとや動きに対する関心

7割を超える人が関心を持っている

問8 あなたは、地域内のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。 【N = 1,811】



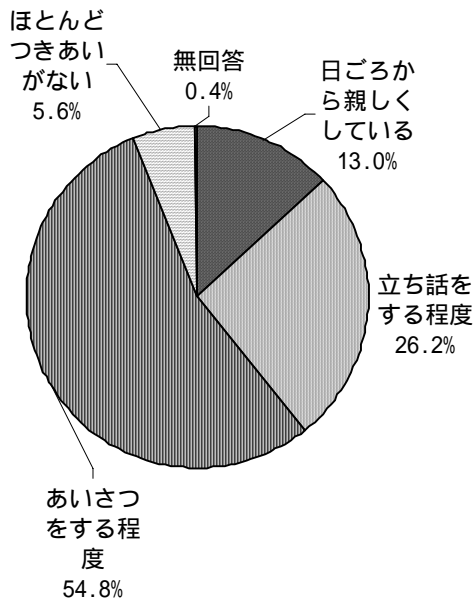
地域のできごとや動きについて、「ある程度関心がある」が62.8%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が20.6%となっている。

平成16年度調査と比較すると、「かなり関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心のある人」は70.9%から74.3%と3.4ポイント上昇している。また、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた「関心のない人」は24.0%から22.8%と1.2ポイント低下している。

3) 隣近所とのつきあいの程度

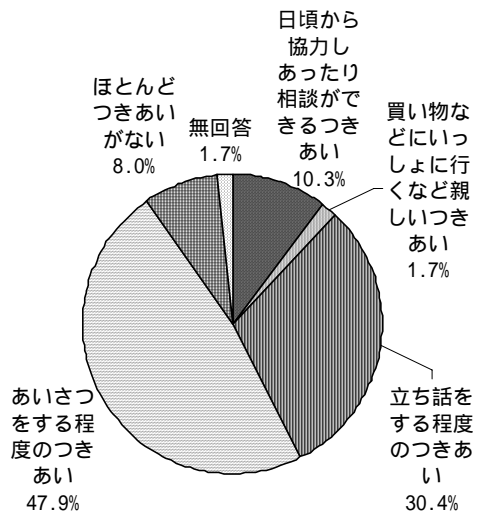
5割以上の人『あいさつをする程度』のつきあい

問9 あなたは普段、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。次の中から1つだけ選んで印を付けてください。【N = 1,811】



過去の調査結果（平成16年度調査）

問6 あなたは普段、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。次の中から1つだけ選んで印をつけてください。【N = 1,203】



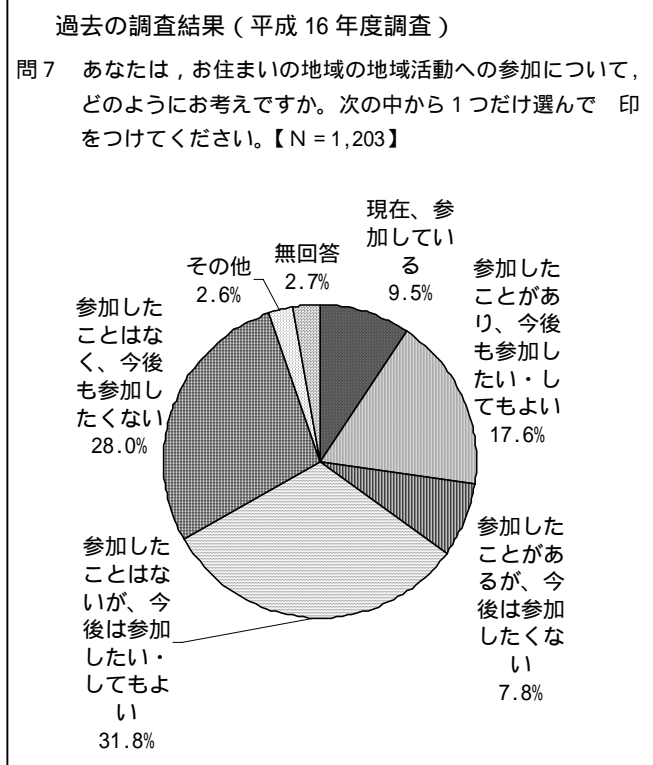
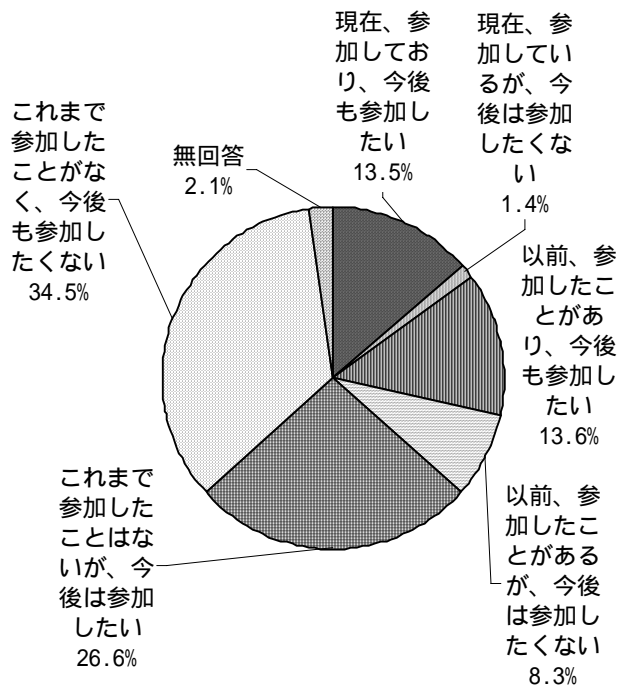
隣近所とのつきあいについて、「あいさつをする程度」が54.8%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が26.2%となっている。

平成16年度調査では、「あいさつをする程度のつきあい」が47.9%と最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあい」が30.4%となっているが、今回の調査でも類似の項目の回答が多くなっている。

4) 地域活動への参加意識

5割を超える人が今後の地域活動に参加意識を持っている

問10 あなたは、お住まいの地域で、地域活動の機会があれば参加しますか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。【N = 1,811】



地域活動への参加意識について、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」が34.5%と最も多く、次いで「これまで参加したことはないが、今後は参加したい」が26.6%となっている。「現在参加している」と「以前、参加したことがある」を合わせた「参加したことがある人」は36.8%であり、「これまで参加したことがない人」は61.1%となっている。また、「現在、参加しており、今後も参加したい」、「以前、参加したことがあるが、今後も参加したい」、「これまで参加したことはないが、今後は参加したい」を合わせた「参加意識を持っている人」は53.7%となっている。

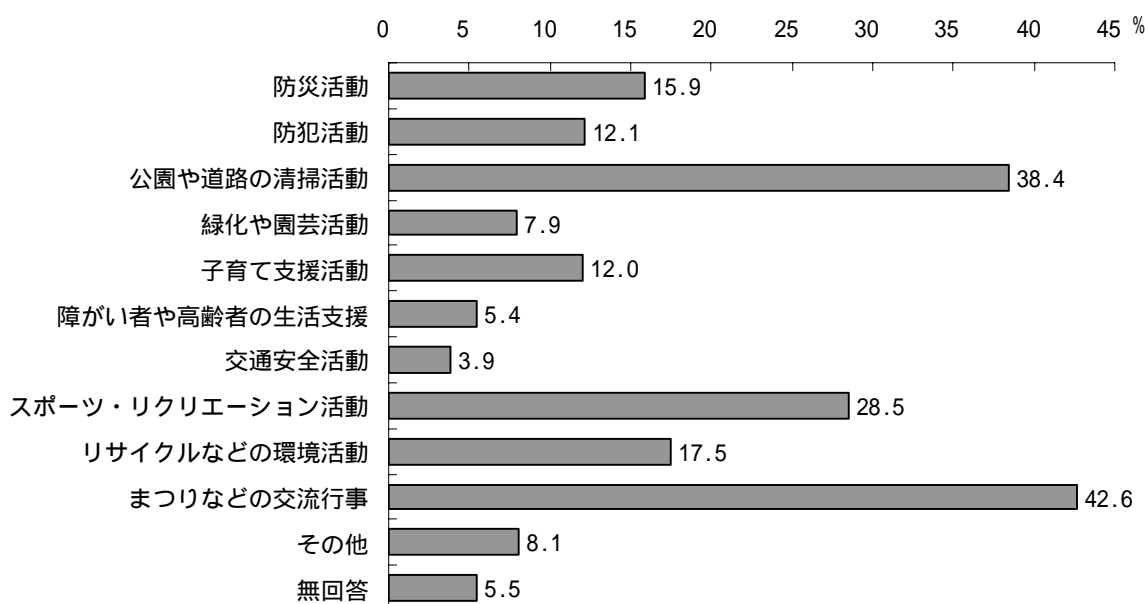
平成16年度調査と比較すると、「参加したことがある人」は34.9%から36.8%と1.9ポイント上昇しているが、「参加意識を持っている人」は「現在、参加している」、「参加したことがあるが、今後も参加したい・してもよい」、「参加したことはないが、今後は参加したい・してもよい」を合わせた58.9%から53.7%と5.2ポイント低下している。また、「これまで参加したことがなく、今後も参加したくない」人は、28.0%から34.5%と6.5ポイント上昇している。

5) 参加している地域活動テーマ(いくつでも)

『まつりなどの交流行事』、『公園や道路の清掃活動』、『スポーツ・リクリエーション活動』などへの参加が高い

問10で(回答番号1・2・3・4)と回答された方にお伺いします。

問10-1 どんな地域活動に参加していますか、または参加していましたか。次の中からいくつでも選んで 印を付けてください。 【N = 667】



参加している・していた地域活動テーマについて、「まつりなどの交流行事」が42.6%と最も多く、次いで「公園や道路の清掃活動」が38.4%、「スポーツ・リクリエーション活動」が28.5%となっている。

その他理由

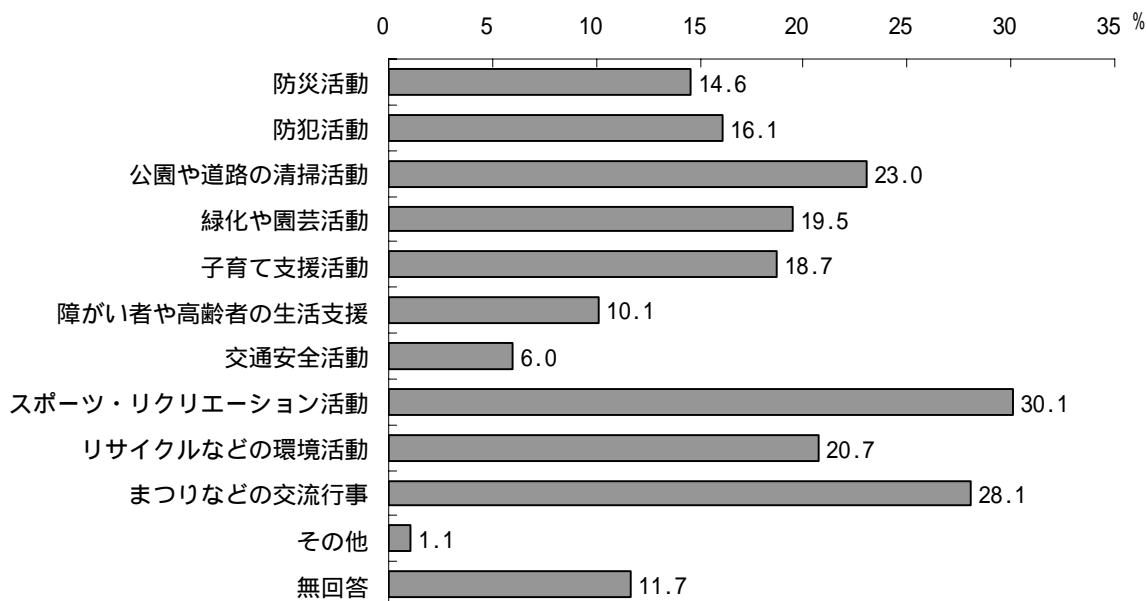
- ・自治会，町内会，老人会，マンション理事会など地域団体の活動（32件）
- ・子ども会，PTAなどの活動（5件）
- ・文化教室，イベントなど（4件）
- ・ボランティアなど（行政ボランティア，共同募金，ベルマーク）（3件）
- ・その他の団体（区画整理反対運動，地区会議，外郭団体）（3件）
- ・その他（まちづくり，地域の福祉）（2件）

6) 参加したい地域活動テーマ(3つまで)

参加を希望するテーマは、年齢や居住地区によって異なる

問10で「参加したい」(回答番号1.3.5.)と回答された方にお伺いします。

問10-2 どのようなテーマであれば参加したいと思いますか。次の中から3つ以内で選び 印を付けてください。 【N = 974】



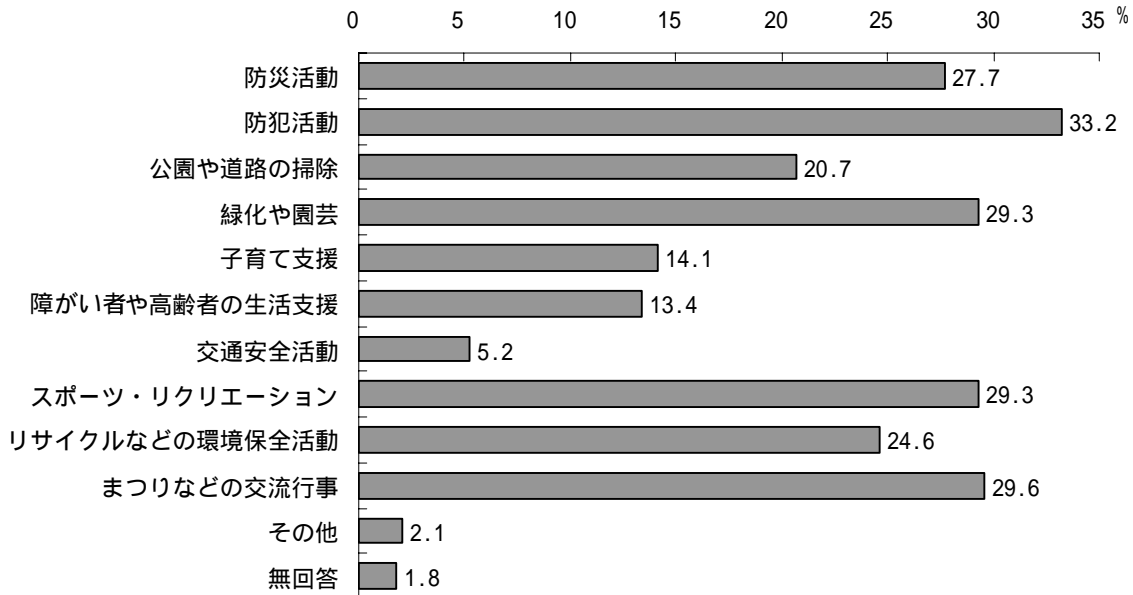
参加したい地域活動テーマについて、「スポーツ・リクリエーション活動」が30.1%と最も多く、次いで「まつりなどの交流行事」が28.1%、「公園や道路の清掃活動」が23.0%となっている。

その他理由

- ・ 広報, 宣伝, 教育啓発
- ・ 文化
- ・ 自治会活動
- ・ 中高生対象の教育活動
- ・ まちづくり
- ・ ボランティア, 傾聴, カウンセリング
- ・ ハイキング
- ・ 隣人祭のようなパーティー
- ・ 子供がもう少し大きくなればどんなことでも
- ・ 体力的に出来そうであればどんなことでも

過去の調査結果（平成 16 年度調査）

問 8 問 7 で「 4 . 参加したことはないが , 参加したい・してもよい」とお答えの方にお聞きします。
どのようなテーマであれば参加してみたいと思いますか。次の中から 3 つまで選んで 印をつけて
ください。 【 N = 382 】



平成 16 年度調査と比較すると , 最も多かった「防犯活動」が 33.2% から 16.1% と 17.1
ポイント低下している。また , 「防災活動」も 27.7% から 14.6% と 13.1 ポイント低下して
いる。

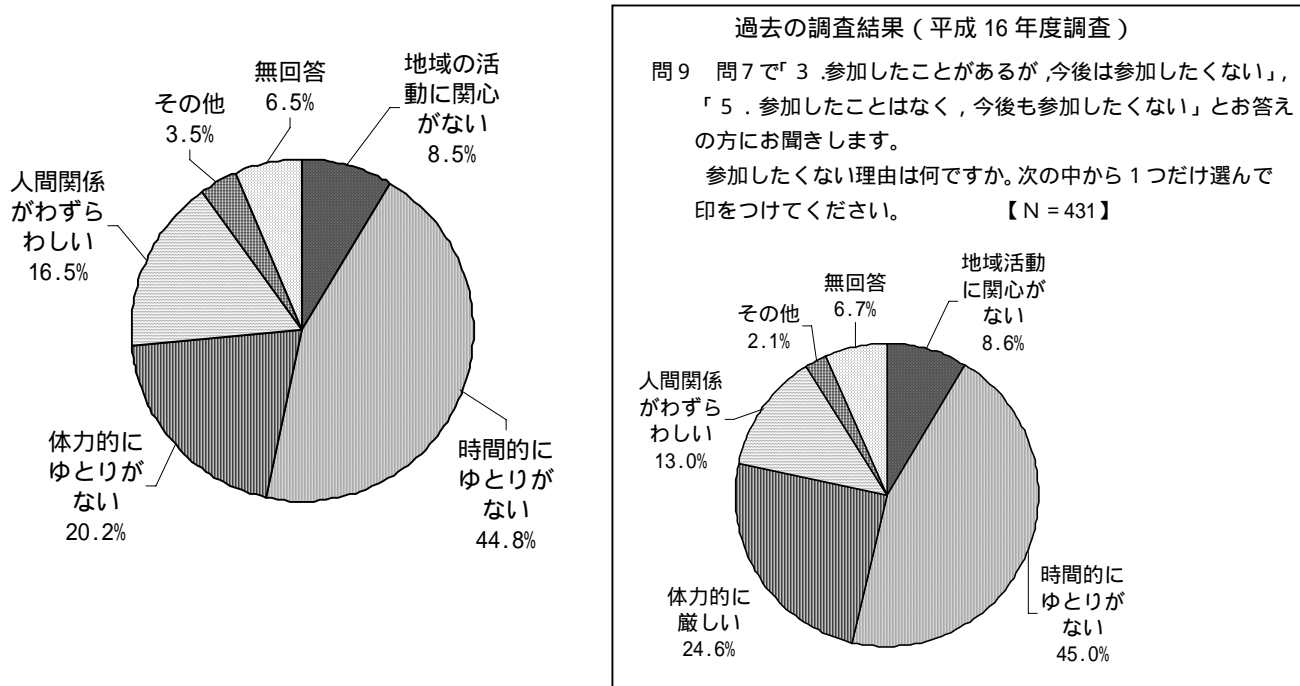
7) 地域活動に参加したくない理由

4割を超える人が『時間的にゆとりがない』

問10で「参加したくない」(回答番号2・4・6)と回答された方にお伺いします。

問10-3 参加したくない主な理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで 印を付けてください。

【N = 799】



地域活動に参加したくない理由は、「時間的にゆとりがない」が44.8%と最も多く、次いで「体力的にゆとりがない」が20.2%となっている。

(5) 次世代育成支援対策推進行動計画のためのアンケート調査(抜粋)

子どもに対して地域に望むこと

(乳幼児：問 37 小学生：問 36 中学生：問 22)

(複数回答)

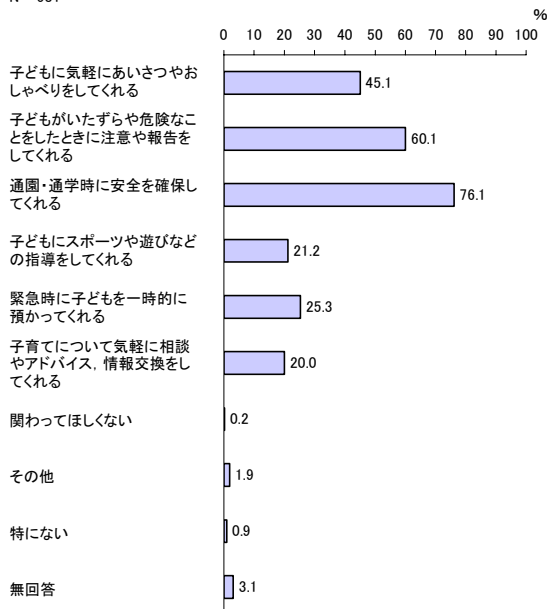
乳幼児では、「通園・通学時に安全を確保してくれる」の割合が76.1%と最も高く、次いで「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が60.1%、「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」の割合が45.1%となっています。

小学生では、「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が66.5%と最も高く、次いで「通園・通学時に安全を確保してくれる」の割合が66.3%、「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」の割合が43.8%となっています。

中学生では、「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が71.4%と最も高く、次いで「通園・通学時に安全を確保してくれる」の割合が56.2%、「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」の割合が44.9%となっています。

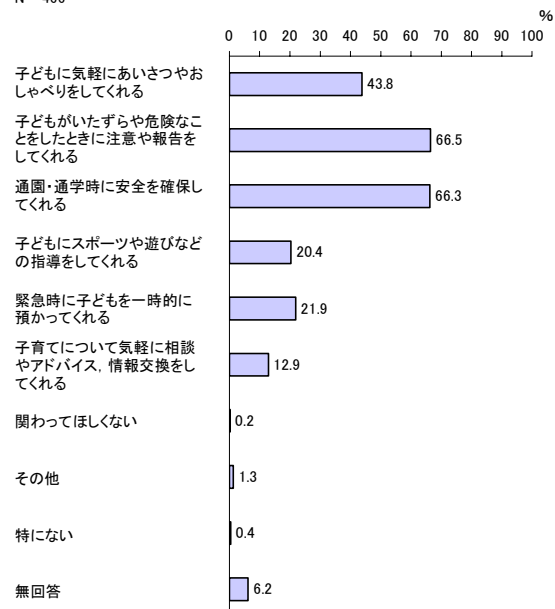
乳幼児

N = 581



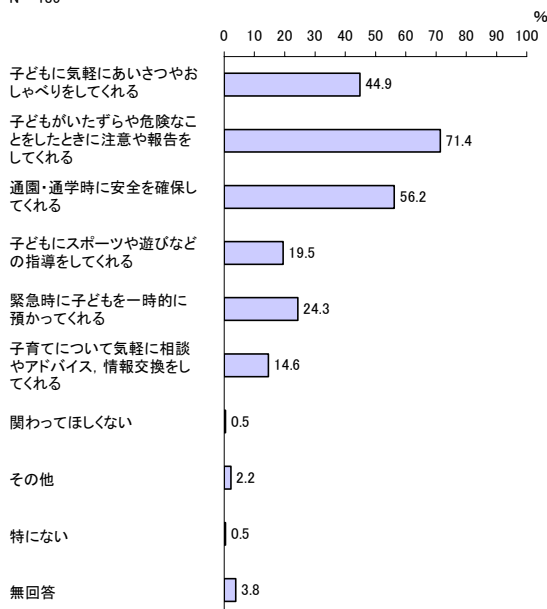
小学生

N = 466



中学生

N = 185



子どもや青少年に関する問題の原因や背景として考えること
 (小学生：問 37 中学生：問 23)

(複数回答)

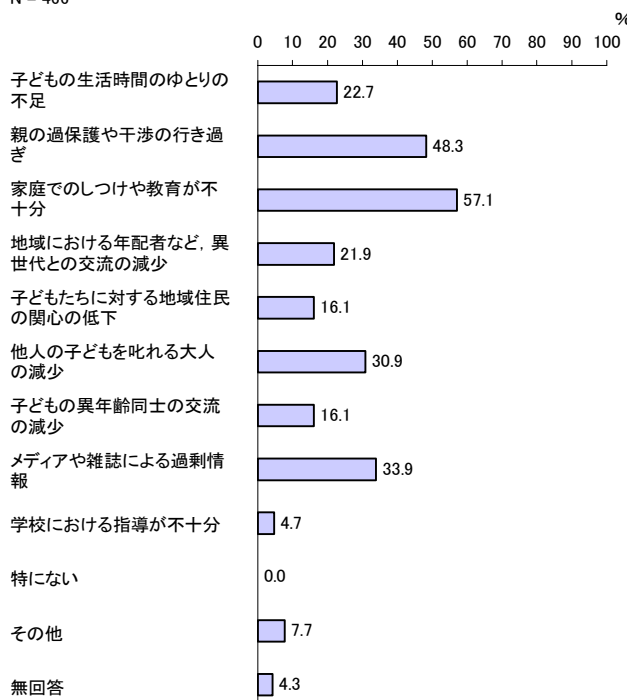
小学生では、「家庭でのしつけや教育が不十分」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「親の過保護や干渉の行き過ぎ」の割合が 48.3%、「メディアや雑誌による過剰情報」の割合が 33.9%となっています。

中学生では、「家庭でのしつけや教育が不十分」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「メディアや雑誌による過剰情報」の割合が 48.6%、「他人の子どもを叱れる大人の減少」の割合が 37.3%となっています。

家族類型別にみると、小学生では、ひとり親家庭で、「子どもたちに対する地域住民の関心の低下」の割合が高く 2 割以上、「メディアや雑誌による過剰情報」の割合が高く 4 割以上となっています。

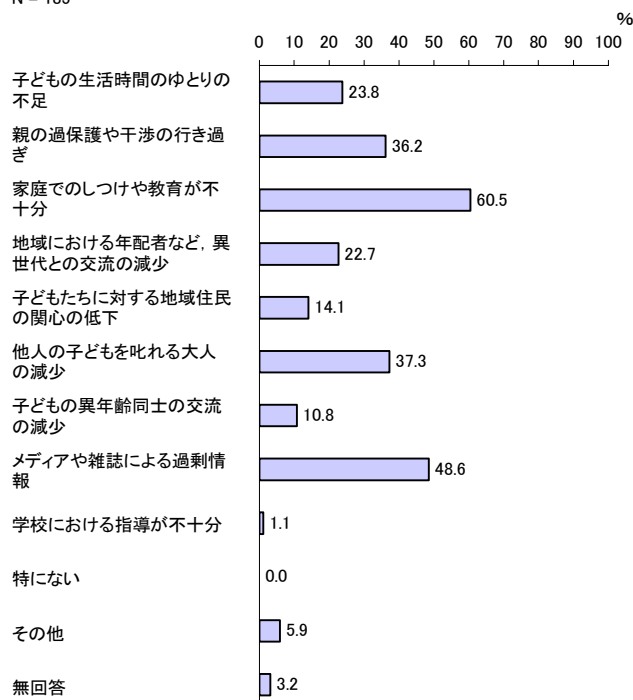
小学生

N = 466



中学生

N = 185



【家族類型別】

単位：%

家族類型		有効回答数(件)	子どもの生活時間のゆとりの不足	親の過保護や干渉の行き過ぎ	家庭でのしつけや教育が不十分	地域における年配者など、異世代との交流の減少	子どもたちに対する地域住民の関心の低下	他人の子どもを叱れる大人の減少
小学生	ひとり親家庭	45	20.0	42.2	53.3	11.1	22.2	37.8
	フルタイム共働き家庭	60	11.7	48.3	58.3	26.7	15.0	35.0
	フルタイム・パートタイム共働き家庭	113	17.7	49.6	58.4	27.4	16.8	31.0
	専業主婦(夫)家庭	222	27.5	48.6	58.6	21.6	15.3	29.7
	その他家庭	26	34.6	50.0	42.3	7.7	11.5	19.2

家族類型		子どもの異年齢同士の交流の減少	メディアや雑誌による過剰情報	学校における指導が不十分	特になし	その他	無回答
小学生	ひとり親家庭	15.6	42.2	6.7	-	2.2	4.4
	フルタイム共働き家庭	13.3	35.0	6.7	-	5.0	11.7
	フルタイム・パートタイム共働き家庭	18.6	31.0	1.8	-	2.7	9.7
	専業主婦(夫)家庭	17.1	32.9	5.9	-	4.5	5.4
	その他家庭	3.8	38.5	-	-	11.5	15.4

子育てにおいて、家庭で大切にしていること、学校で大切にしてほしいこと
(小学生：問 38 中学生：問 24)

(複数回答)

小学生では、子育てにおいて、家庭で大切にしていることについては、「挨拶やお礼をきちんと言えること」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「家族や他人を思いやり、やさしくすること」の割合が 47.4%、「規則正しい生活態度を身につけること」の割合が 42.5%となっています。

学校で大切にしてほしいことについては、「のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「善悪の判断力をつけること」の割合が 35.8%、「挨拶やお礼をきちんと言えること」の割合が 31.1%となっています。

中学生では、子育てにおいて、家庭で大切にしていることについては、「挨拶やお礼をきちんと言えること」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「規則正しい生活態度を身につけること」の割合が 47.6%、「善悪の判断力をつけること」の割合が 43.8%となっています。

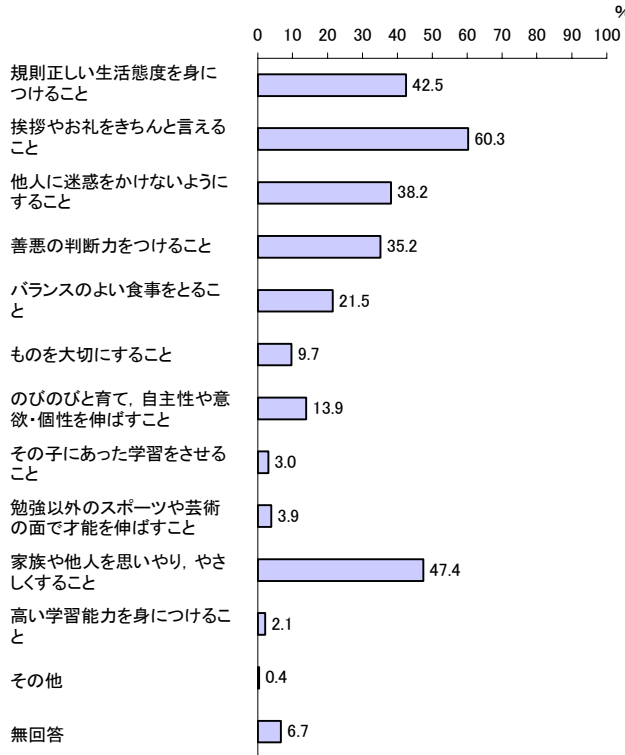
学校で大切にしてほしいことについては、中学生では、「のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「善悪の判断力をつけること」の割合が 33.5%、「その子にあった学習をさせること」の割合が 31.4%となっています。

男女別にみると、小学生では、子育てにおいて、家庭で大切にしていることについては、男子で、「他人に迷惑をかけないようにすること」の割合が高く 4 割以上となっています。また、女子で、「挨拶やお礼をきちんと言えること」の割合が高く 6 割以上となっています。学校で大切にしてほしいことについては、男子で、「善悪の判断力をつけること」の割合が高く 4 割以上となっています。また、女子で、「規則正しい生活態度を身につけること」の割合が高く約 3 割となっています。中学生では、子育てにおいて、家庭で大切にしていることについては、男子で、「ものを大切にすること」の割合が高く 5 割以上、「家族や他人を思いやり、やさしくすること」の割合が高く 3 割以上となっています。学校で大切にしてほしいことについては、男子で、「善悪の判断力をつけること」の割合が高く約 4 割、「その子にあった学習をさせること」の割合が高く 3 割以上となっています。

小学生

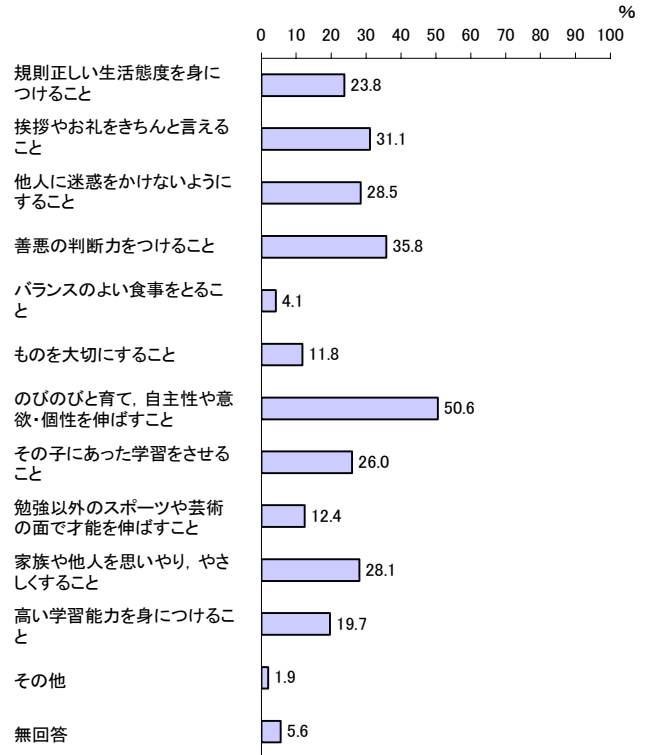
家庭で大切にしていること

N = 466



学校で大切にしてほしいこと

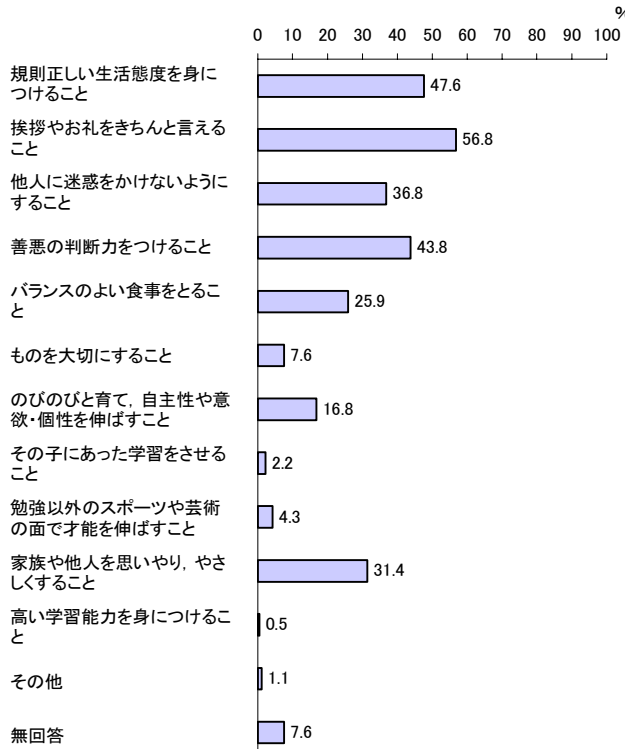
N = 466



中学生

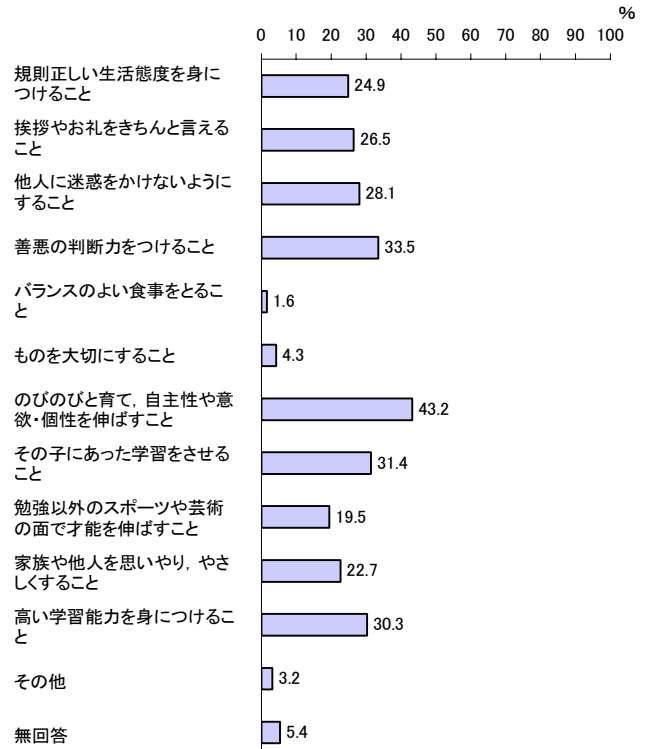
家庭で大切にしていること

N = 185



学校で大切にしてほしいこと

N = 185



家庭で大切にしていること【男女別】

単位：%

性別		有効回答数(件)	規則正しい生活態度を身につけること	挨拶やお礼をきちんとと言えること	他人に迷惑をかけるないようにすること	善悪の判断力をつけること	バランスのよい食事をとること	ものを大切にすること
小学生	男子	231	45.9	56.3	43.3	33.3	20.8	8.2
	女子	234	39.3	64.5	33.3	37.2	22.2	11.1
中学生	男子	51.0	58.3	36.5	44.8	27.1	8.3	51.0
	女子	43.7	55.2	37.9	43.7	24.1	6.9	43.7

性別		のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと	その子にあった学習をさせること	勉強以外のスポーツや芸術の面で才能を伸ばすこと	家族や他人を思いやりやさしくすること	高い学習能力を身につけること	その他	無回答
小学生	男子	14.3	4.8	1.7	47.6	1.7	0.9	6.5
	女子	13.7	1.3	6.0	47.4	2.6	-	6.4
中学生	男子	15.6	2.1	2.1	34.4	-	2.1	5.2
	女子	18.4	2.3	6.9	28.7	1.1	-	9.2

学校で大切にしてほしいこと【男女別】

単位：%

性別		有効回答数(件)	規則正しい生活態度を身につけること	挨拶やお礼をきちんとと言えること	他人に迷惑をかけるないようにすること	善悪の判断力をつけること	バランスのよい食事をとること	ものを大切にすること
小学生	男子	231	19.9	33.8	30.7	40.7	4.3	11.3
	女子	234	27.8	28.6	26.5	31.2	3.8	12.4
中学生	男子	96	25.0	25.0	30.2	37.5	3.1	5.2
	女子	87	25.3	28.7	26.4	29.9	-	3.4

性別		のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと	その子にあった学習をさせること	勉強以外のスポーツや芸術の面で才能を伸ばすこと	家族や他人を思いやりやさしくすること	高い学習能力を身につけること	その他	無回答
小学生	男子	48.1	26.0	10.0	27.7	20.8	1.7	5.6
	女子	53.4	26.1	15.0	28.6	18.8	2.1	5.1
中学生	男子	41.7	35.4	21.9	22.9	28.1	3.1	3.1
	女子	44.8	27.6	17.2	23.0	33.3	2.3	6.9